

平成 23 年度
美濃加茂市第 5 次総合計画意識調査

報告書

平成 24 年 6 月

美濃加茂市

目 次

I 調査の概要

1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 調査項目	1
4 回収状況	1
5 集計方法	2
6 報告書の見方	3

II 調査分析のまとめ

1 基本属性	5
2 くらし向き	8
3 定住意向	20
4 第5次総合計画について	28
5 政策ごとの指標の「満足度」	33
1. 満足度の得点化	33
2. 指標の満足度評価（目標別）	35
6 情報化について	67
7 外国人市民との共生について	75
8 住宅の耐震化について	80
9 「文化の森」について	90
10 文化会館について	94

参考資料

1. 美濃加茂市5次総意識調査 アンケート調査票
2. 平成20年度調査との対応表

I 調査の概要

1 調査目的

第5次総合計画の政策ごとの指標の満足度を計ることにより、全体目標の進捗度を把握し、第5次総合計画の政策や施策の見直しなどに活用します。また、行政を推進するための方向性を確認するテーマについて市民ニーズを把握、分析し、施策の検討資料とすることを目的としています。

2 調査方法

①調査地域	美濃加茂市全域
②調査対象	美濃加茂市に在住する満18歳以上の人
③抽出方法	住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法
④配布数	1,500票
⑤配布方法	郵送配布、郵送回収
⑥実施期間	平成24年2月28日～3月21日
⑦有効回収数（率）	681票本（45.4%）

3 調査項目

①基本属性	回答者の性別、年代、居住地域、家族構成、同居している子どもの状況、居住年数、住まいの状況、職業について8項目。
②くらし向き	今のくらしの状況などを把握する4項目。
③定住意向	美濃加茂市の住みよさなどを把握する3項目。
④第5次総合計画について	第5次総合計画の施策の中で特に力を入れてほしい分野を把握する1項目。
⑤満足度調査	第5次総合計画における共通目標と4つの基本目標及び市役所の経営方針に基づく指標の満足度を把握する39項目。
⑥テーマ別調査	行政を推進するための方向性を確認する5テーマ23項目。

4 回収状況

（1）性別回収状況

性別	配布数	回収数	回収率	有効回収数※	有効回収率
男性	745票	305票	40.9%	305票	40.9%
女性	755票	359票	47.5%	359票	47.5%
不明・無回答	－	18票	－	17票	－
全体	1,500票	682票	45.5%	681票	45.4%

（２）年代別回収状況

年代	配布数	回収数	回収率	有効回収数※	有効回収率
20歳代以下	244 票	67 票	27.5%	67 票	27.5%
30歳代	267 票	99 票	37.1%	99 票	37.1%
40歳代	246 票	87 票	35.4%	87 票	35.4%
50歳代	220 票	99 票	45.0%	99 票	45.0%
60歳代	242 票	152 票	62.8%	152 票	62.8%
70歳代以上	281 票	164 票	58.4%	164 票	58.4%
不明・無回答	－	14 票	－	13 票	－
全体	1,500 票	682 票	45.5%	681 票	45.4%

（３）地域別回収状況

地区	配布数	回収数	回収率	有効回収数※	有効回収率
太田	321 票	141 票	43.9%	141 票	43.9%
古井	439 票	189 票	43.1%	189 票	43.1%
山之上	78 票	40 票	51.3%	40 票	51.3%
蜂屋	192 票	92 票	47.9%	92 票	47.9%
加茂野	250 票	90 票	36.0%	90 票	36.0%
伊深	37 票	19 票	51.4%	19 票	51.4%
三和	21 票	9 票	42.9%	9 票	42.9%
下米田・牧野	162 票	87 票	53.7%	87 票	53.7%
不明・無回答	－	15 票	－	14 票	－
全体	1,500 票	682 票	45.5%	681 票	45.4%

※有効回収数とは、回収されたが記入のない調査票を除いて集計した数です。

5 集計方法

単純集計に加え、基本属性によるクロス集計を行いました。クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。なお、クロス集計については、質問ごとに特徴的な項目のみ本報告書に掲載しました。

6 報告書の見方

- ・グラフに表示されている n 値とは、標本数のことを示しています。また、() 内の数字は回答数の内訳を示しています。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、すべての比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答数の合計と単純集計（全体）の回答数が合致しないことがあります。
- ・クロス集計の表では、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（その他、わからない、特になし、無回答を除く）
- ・職業別のクロス集計においての「わからない」については有効回答数が少ないためコメントを差し控えます。
- ・標本誤差については、下記算出式より算出します。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

σ : 標本誤差
 N : 母集団
 n : 標本数
 p : 回答比率
 κ : 信頼率による変数

信頼率による変数 κ は、信頼率 95%では 1.96、信頼率 99%では 2.58 と定義されています。

今回のアンケート調査における信頼率を 95%とすると、各回答比率別の標本誤差は以下のとおりとなります。

標本数	回答比率(%)				
	10% or 90%	20% or 80%	30% or 70%	40% or 60%	50%
681	±2.24	±2.98	±3.42	±3.65	±3.73

これは、ある設問において「A」という回答の割合が 50%であれば、18 歳以上の美濃加茂市民に同じ質問をしても、統計学的には「A」という回答の割合は、95%の確率で±3.73%の範囲内（46.27%～53.73%）にあることを示しています。

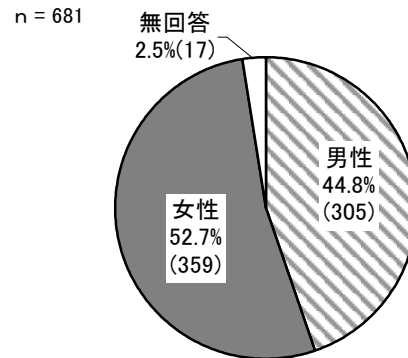
- ・本報告書では、市民意識の変化を確認するために、前回調査との比較を行っています。本報告書における「前回調査」としているのは平成 20 年度「美濃加茂市第 5 次総合計画策定にかかる市民意識調査報告書」です。ただし、コメントにおいては、今回の調査は前回調査と標本数が異なるため、傾向を確認するに留めています。

Ⅱ 調査分析のまとめ

1 基本属性

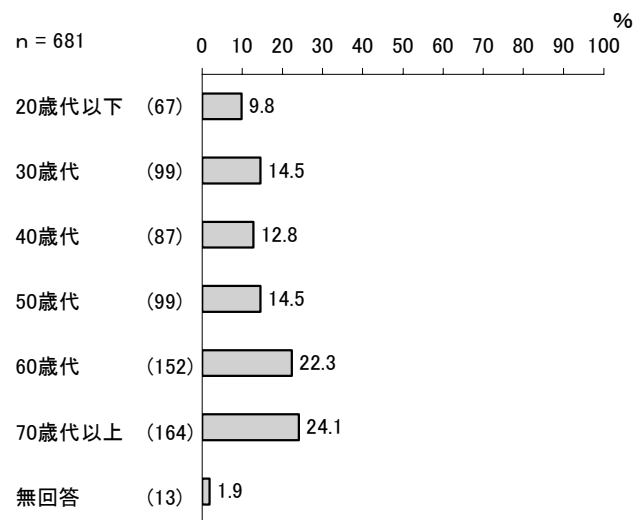
問1 性別

「男性」の割合が44.8%、「女性」の割合が52.7%となっています。



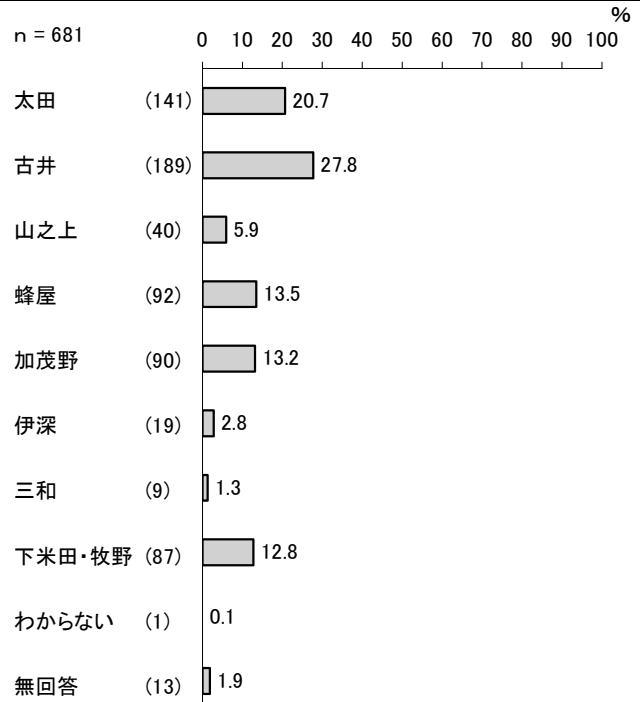
問2 年代

「70 歳代以上」の割合が24.1%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が22.3%、「30 歳代」「50 歳代」の割合が14.5%となっています。



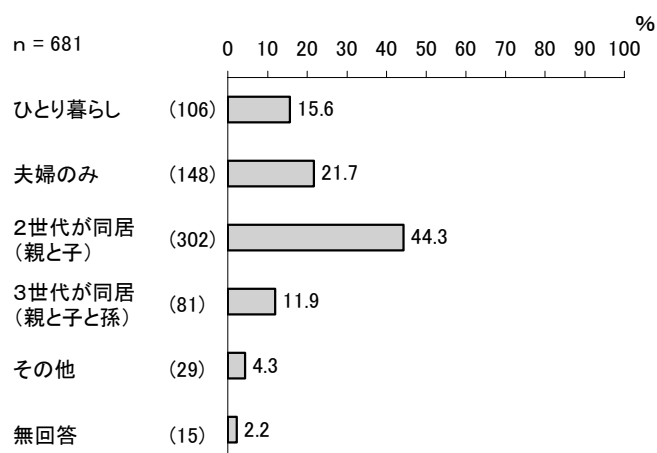
問3 居住地域

「古井」の割合が27.8%と最も高く、次いで「太田」の割合が20.7%、「蜂屋」の割合が13.5%となっています。



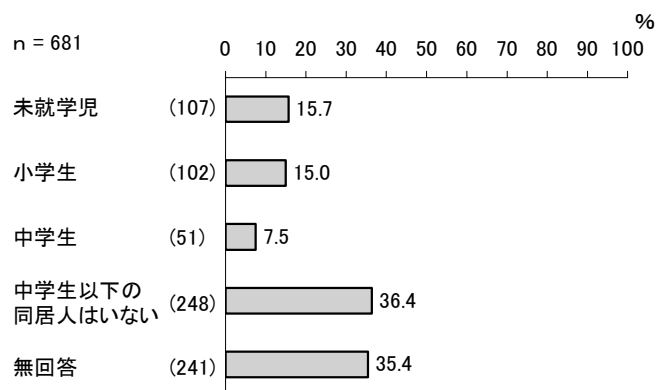
問4 家族構成

「2世代が同居（親と子）」の割合が44.3%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が21.7%、「ひとり暮らし」の割合が15.6%となっています。



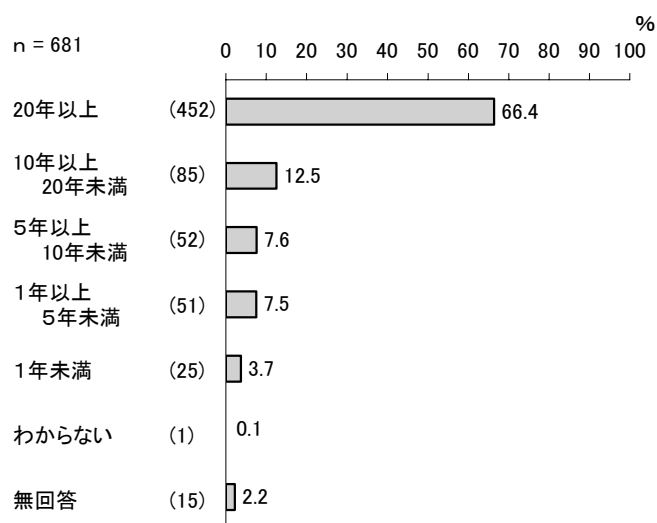
問5 同居している子どもの状況

「中学生以下の同居人はいない」の割合が36.4%と最も高く、次いで「未就学児」の割合が15.7%、「小学生」の割合が15.0%となっています。



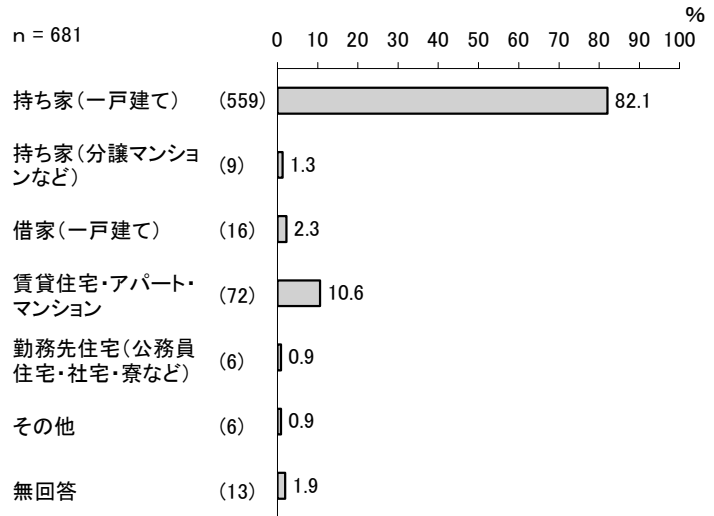
問6 居住年数

「20年以上」の割合が66.4%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が12.5%、「5年以上10年未満」の割合が7.6%となっています。



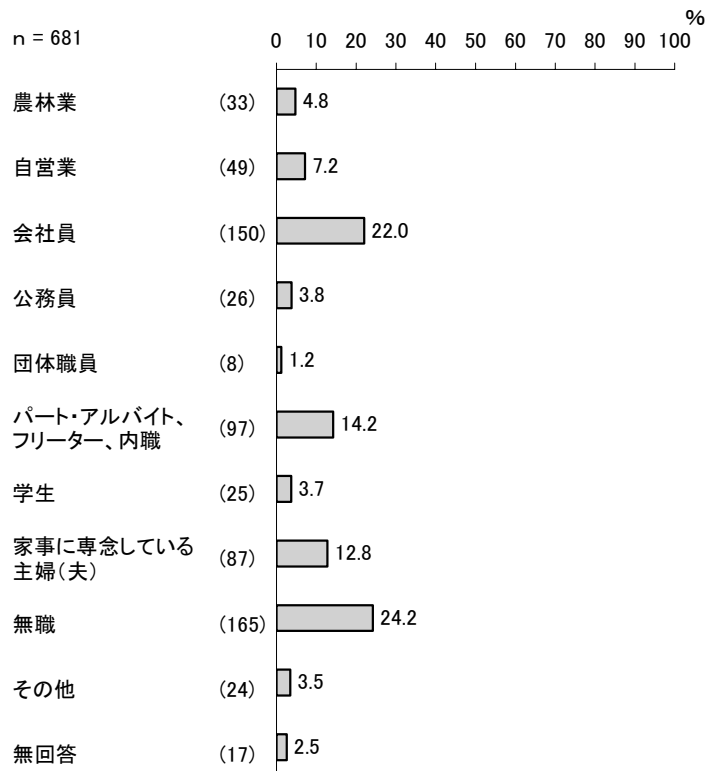
問7 住まいの状況

「持ち家（一戸建て）」の割合が82.1%と最も高く、次いで「賃貸住宅・アパート・マンション」の割合が10.6%、「借家（一戸建て）」の割合が2.3%となっています。



問8 職業

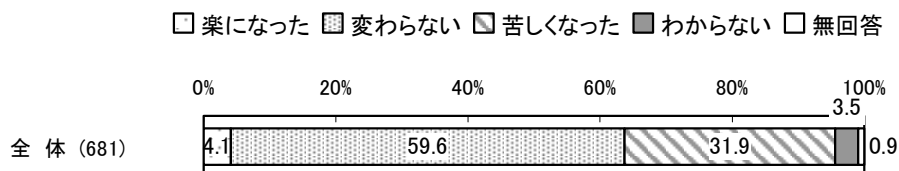
「無職」の割合が24.2%と最も高く、次いで「会社員」の割合が22.0%、「パート・アルバイト、フリーター、内職」の割合が14.2%となっています。



2 くらし向き

問9 去年のくらしとの比較

「変わらない」の割合が59.6%と最も高く、次いで「苦しくなった」の割合が31.9%、「楽になった」の割合が4.1%となっています。

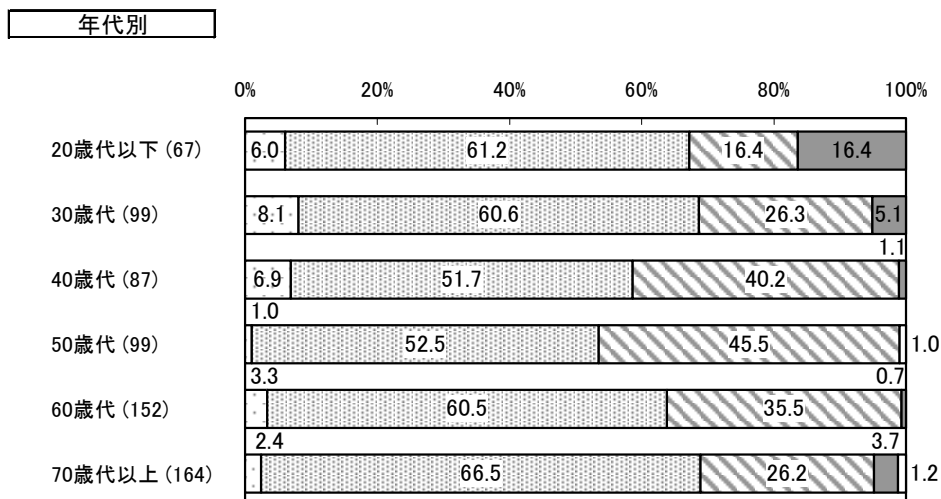
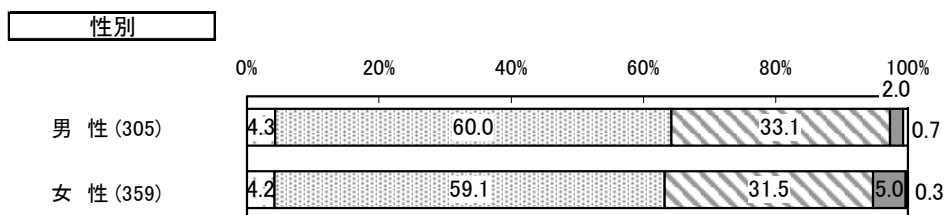


①性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ40歳代、50歳代で「苦しくなった」の割合が高く、4割を超えています。

□ 楽になった □ 変わらない □ 苦しくなった □ わからない □ 無回答

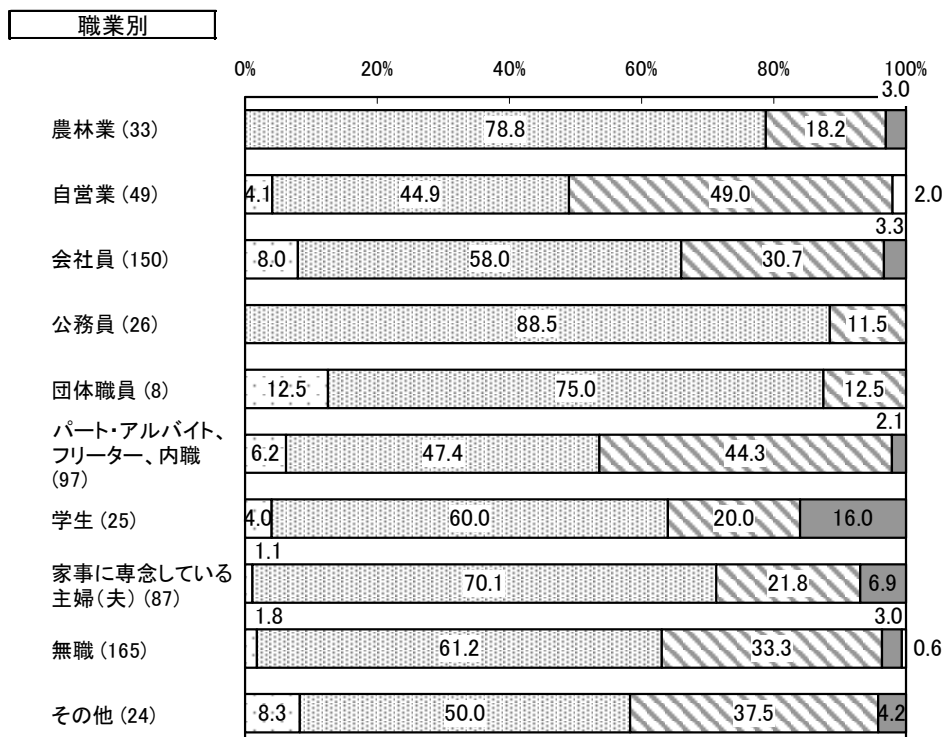
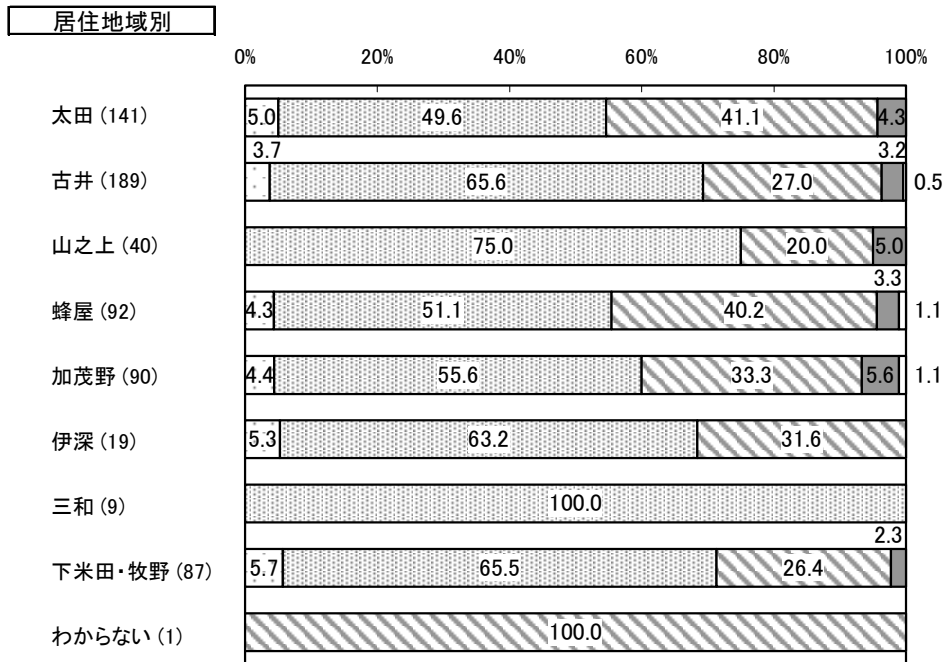


②居住地域別・職業別

居住地域別でみると、他の地域に比べ太田、蜂屋で「苦しくなった」の割合が高く、約4割となっています。

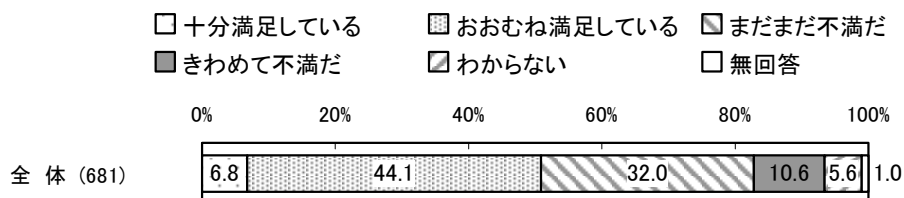
職業別でみると、他の職業に比べ自営業、パート・アルバイト、フリーター、内職で「苦しくなった」の割合が高く、4割を超えています。

□ 楽になった □ 変わらない □ 苦しくなった □ わからない □ 無回答



問 10 今の暮らしについて思うこと

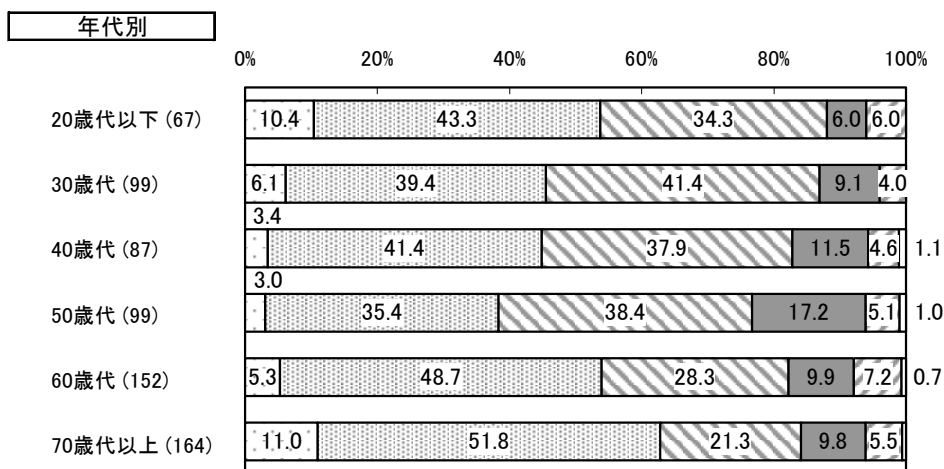
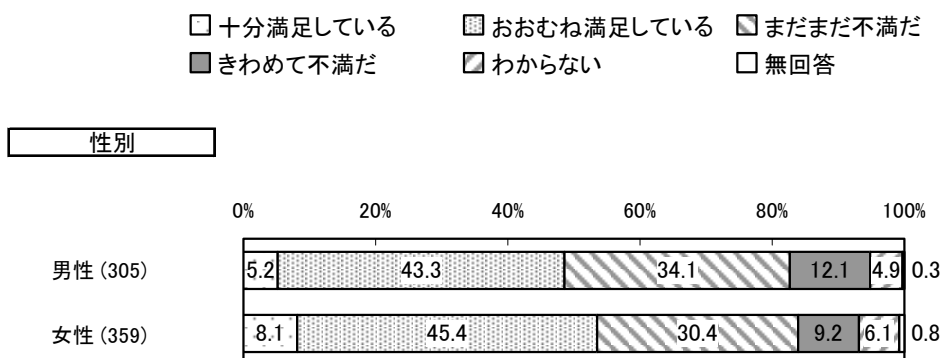
「十分満足している」と「おおむね満足している」をあわせた今の暮らしについて満足している人の割合が 50.9%、「まだまだ不満だ」と「きわめて不満だ」をあわせた今の暮らしについて不満を感じている人の割合が 42.6%となっています。



①性別・年代別

性別でみると、男性に比べ女性で今の暮らしについて満足している人の割合が高く、5 割を超えています。

年代別でみると、他の年代に比べ 30 歳代から 50 歳代で今の暮らしについて不満を感じている人の割合が高く、30 歳代、40 歳代で約 5 割、50 歳代で 5 割を超えています。

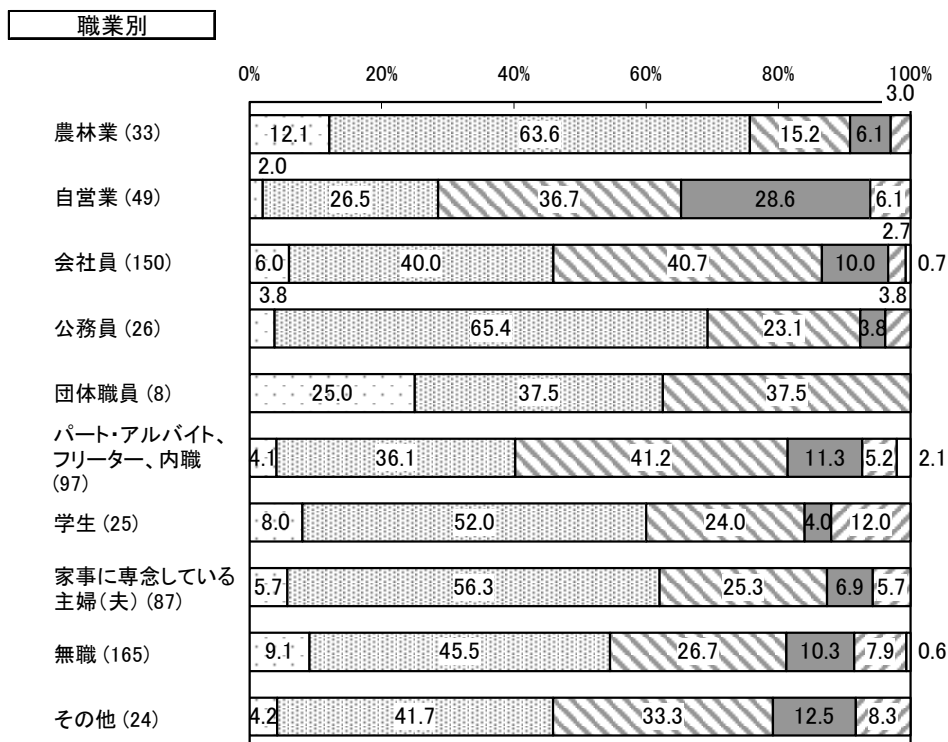
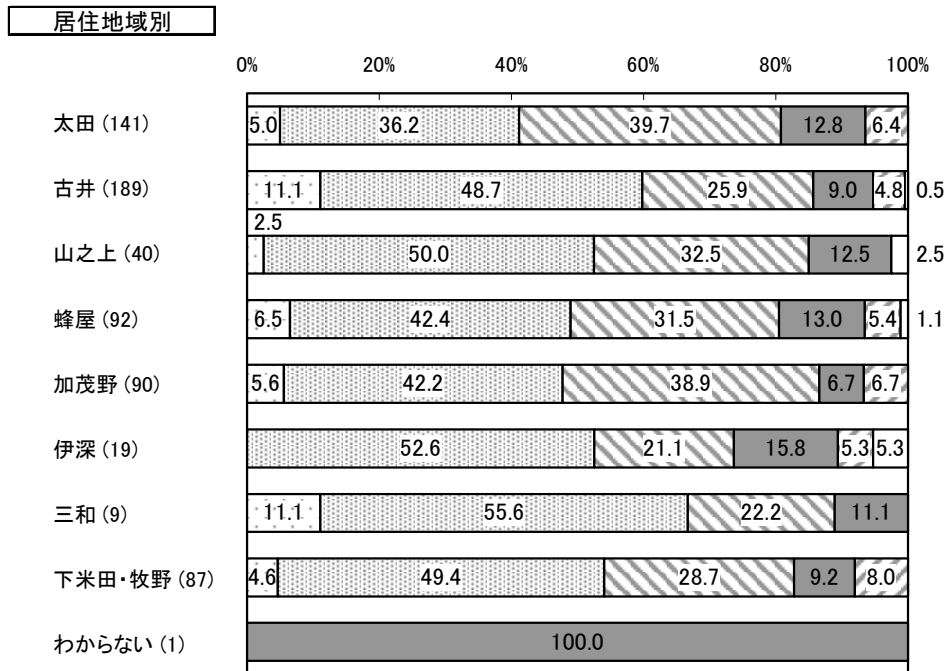


②居住地域別・職業別

居住地域別でみると、他の地域に比べ古井、山之上、伊深、三和、下米田・牧野で今の暮らしについて満足している人の割合が高く、5割を超えています。

職業別でみると、他の職業に比べ農林業で今の暮らしについて満足している人の割合が高く、7割を超えています。一方、自営業、会社員、パート・アルバイト、フリーター、内職で今の暮らしについて不満を感じている人の割合が高く、5割を超えています。

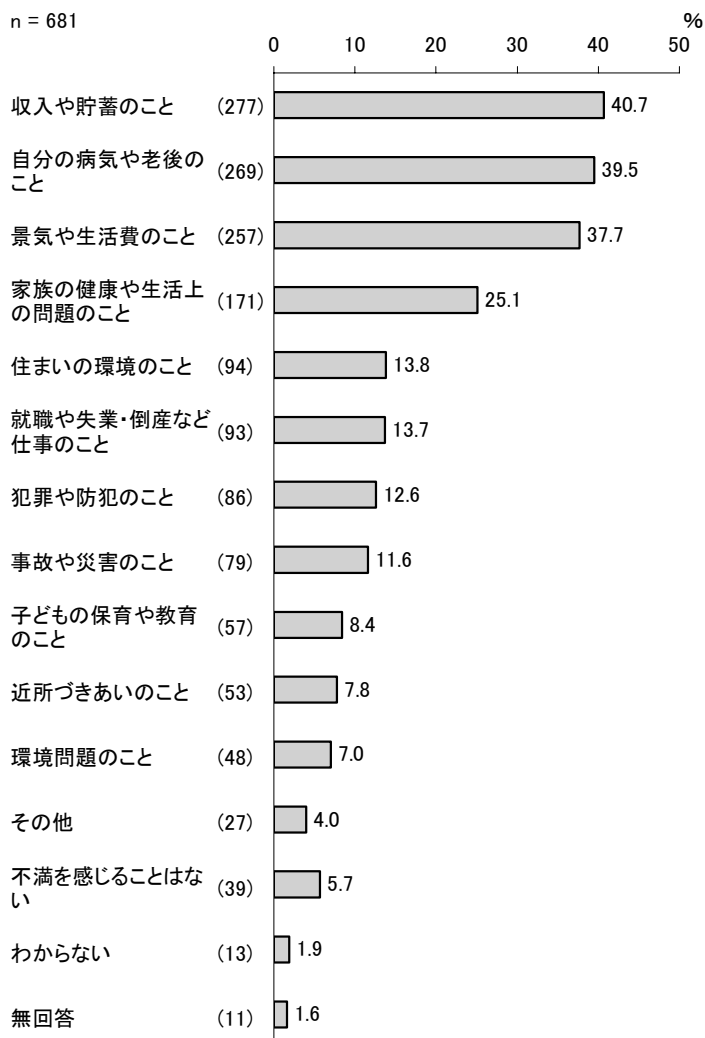
□ 十分満足している ▨ おおむね満足している ▩ まだまだ不満だ
■ きわめて不満だ □ わからない □ 無回答



問 11 日ごろの暮らしの中で不満を感じていること

「収入や貯蓄のこと」の割合が40.7%と最も高く、次いで「自分の病気や老後のこと」の割合が39.5%、「景気や生活費のこと」の割合が37.7%となっています。

n = 681



①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「景気や生活費のこと」「自分の病気や老後のこと」の割合が高く、4割を超えています。一方、男性に比べ女性で「子どもの保育や教育のこと」の割合が高くなっています。

年代別でみると、年代がさがるにつれ「収入や貯蓄のこと」「景気や生活費のこと」「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合が高くなる傾向がみられます。また、30歳代で「子どもの保育や教育のこと」「犯罪や防犯のこと」の割合が高くなっています。さらに、50歳代以上で「家族の健康や生活上の問題のこと」「自分の病気や老後のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数 (件)	収入や貯蓄のこと	景気や生活費のこと	就職や失業・倒産など仕事のこと	家族の健康や生活上の問題のこと	自分の病気や老後のこと	子どもの保育や教育のこと	近所づきあいのこと
性別	男性	305	42.0	40.7	16.1	25.9	43.0	5.6	7.2
	女性	359	39.8	35.4	12.0	24.5	36.8	11.1	8.6
年代別	20歳代以下	67	53.7	47.8	28.4	17.9	9.0	3.0	4.5
	30歳代	99	51.5	48.5	21.2	14.1	18.2	32.3	13.1
	40歳代	87	46.0	37.9	25.3	18.4	26.4	17.2	11.5
	50歳代	99	48.5	48.5	17.2	32.3	37.4	5.1	5.1
	60歳代	152	38.8	37.5	6.6	31.6	51.3	1.3	3.9
	70歳代以上	164	23.8	22.0	1.8	28.0	62.8	0.6	9.8

区分		住まいの環境のこと	環境問題のこと	犯罪や防犯のこと	事故や災害のこと	その他	不満を感じることはない	わからない	無回答
性別	男性	13.4	6.2	10.8	9.2	4.9	5.2	2.0	1.3
	女性	14.5	7.8	14.2	13.6	3.3	6.1	1.9	1.1
年代別	20歳代以下	14.9	4.5	11.9	10.4	6.0	9.0	1.5	—
	30歳代	15.2	4.0	23.2	11.1	1.0	5.1	1.0	—
	40歳代	20.7	9.2	13.8	8.0	1.1	3.4	1.1	—
	50歳代	14.1	9.1	5.1	6.1	11.1	7.1	—	—
	60歳代	11.8	8.6	10.5	14.5	5.3	3.3	3.3	2.0
	70歳代以上	11.0	6.1	12.2	14.6	1.2	7.3	3.0	3.0

②居住地域別

居住地域別でみると、他の地域に比べ太田、蜂屋で「収入や貯蓄のこと」の割合が高く、5割を超えています。また、古井、伊深、下米田・牧野で「自分の病気や老後のこと」の割合が、蜂屋で「子どもの保育や教育のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数 (件)	収入や貯蓄のこと	景気や生活費のこと	就職や失業・倒産など 仕事のこと	家族の健康や生活上 の問題のこと	自分の病気や老後の こと	子どもの保育や教育 のこと	近所つきあいのこと
居住地域別	太田	141	52.5	45.4	12.1	27.0	39.7	7.8	8.5
	古井	189	31.7	31.7	12.7	19.6	42.9	6.9	11.1
	山之上	40	35.0	37.5	15.0	25.0	35.0	5.0	5.0
	蜂屋	92	56.5	39.1	17.4	29.3	28.3	19.6	3.3
	加茂野	90	40.0	37.8	16.7	27.8	35.6	7.8	2.2
	伊深	19	26.3	47.4	21.1	26.3	52.6	10.5	10.5
	三和	9	44.4	33.3	11.1	33.3	33.3	—	22.2
	下米田・牧野	87	32.2	37.9	10.3	26.4	49.4	4.6	10.3
	わからない	1	—	—	—	—	—	—	—
区分		住まいの環境のこと	環境問題のこと	犯罪や防犯のこと	事故や災害のこと	その他	不満を感じることは ない	わからない	無回答
居住地域別	太田	15.6	4.3	14.2	10.6	2.8	4.3	2.8	1.4
	古井	13.8	5.8	13.8	11.6	6.9	6.3	2.1	1.6
	山之上	12.5	5.0	12.5	12.5	—	10.0	2.5	2.5
	蜂屋	4.3	6.5	12.0	13.0	1.1	6.5	2.2	1.1
	加茂野	18.9	13.3	15.6	12.2	3.3	2.2	—	1.1
	伊深	15.8	5.3	10.5	15.8	10.5	—	5.3	—
	三和	11.1	22.2	—	11.1	11.1	11.1	—	—
	下米田・牧野	16.1	8.0	6.9	9.2	3.4	8.0	1.1	—
	わからない	100.0	—	—	—	—	—	—	—

③職業別

職業別でみると、他の職業に比べ自営業で「収入や貯蓄のこと」「景気や生活費のこと」の割合が高くなっています。また、自営業、会社員、学生で「就職や失業・倒産など仕事のこと」の割合が高くなっています。農林業、団体職員、無職では「自分の病気や老後のこと」の割合が高く、5割を超えています。

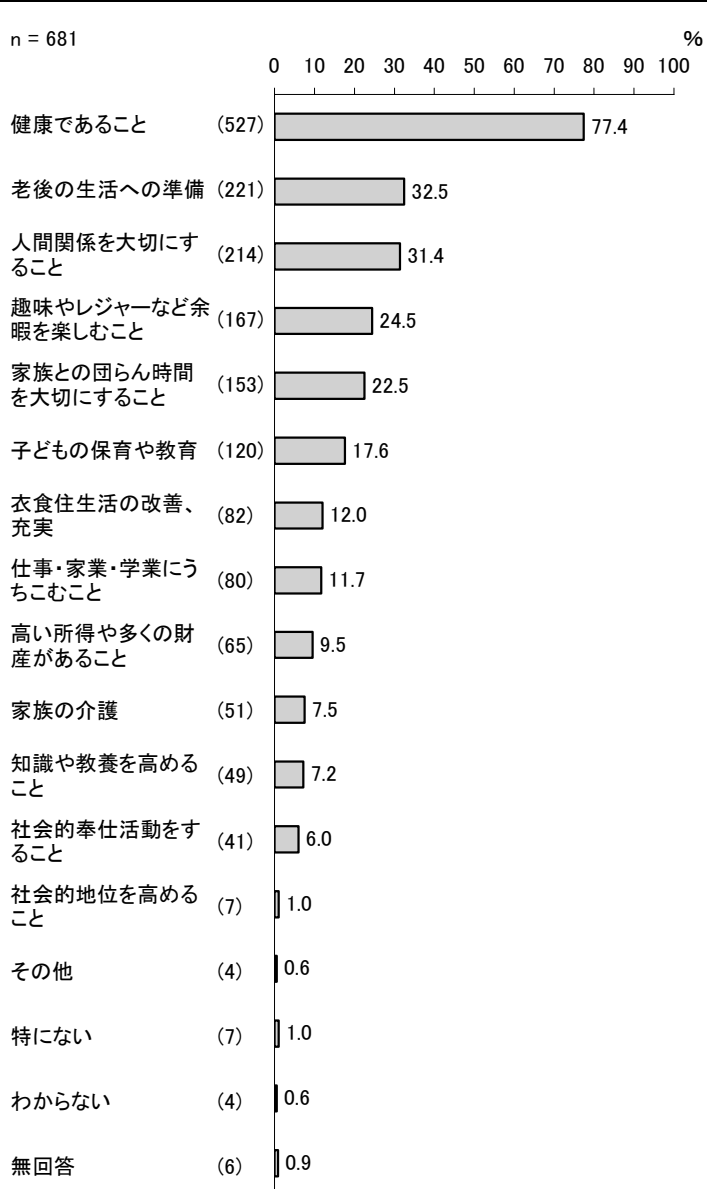
単位：％

区分		有効回答数 (件)	収入や貯蓄のこと	景気や生活費のこと	就職や失業・倒産など 仕事のこと	家族の健康や生活上 の問題のこと	自分の病気や老後の こと	子どもの保育や教育 のこと	近所づきあいのこと
職業別	農林業	33	21.2	30.3	3.0	33.3	57.6	3.0	15.2
	自営業	49	61.2	55.1	20.4	28.6	30.6	10.2	4.1
	会社員	150	50.0	44.7	25.3	25.3	30.7	11.3	5.3
	公務員	26	30.8	38.5	7.7	7.7	30.8	19.2	11.5
	団体職員	8	37.5	25.0	—	25.0	50.0	12.5	—
	パート・アルバイト、 フリーター、内職	97	52.6	41.2	14.4	22.7	34.0	13.4	12.4
	学生	25	32.0	32.0	32.0	16.0	4.0	4.0	—
	家事に専念している 主婦（夫）	87	37.9	37.9	11.5	32.2	33.3	12.6	9.2
	無職	165	27.3	29.7	2.4	25.5	57.0	1.8	7.3
	その他	24	54.2	20.8	16.7	12.5	54.2	—	12.5

区分		住まいの環境のこと	環境問題のこと	犯罪や防犯のこと	事故や災害のこと	その他	不満を感じることは ない	わからない	無回答
職業別	農林業	12.1	3.0	18.2	6.1	6.1	9.1	3.0	—
	自営業	14.3	8.2	12.2	10.2	10.2	6.1	—	—
	会社員	16.0	8.0	13.3	12.7	2.7	5.3	—	—
	公務員	26.9	7.7	15.4	7.7	3.8	7.7	—	—
	団体職員	12.5	25.0	12.5	12.5	—	12.5	—	—
	パート・アルバイト、 フリーター、内職	12.4	4.1	11.3	6.2	6.2	3.1	1.0	—
	学生	4.0	8.0	12.0	8.0	12.0	12.0	4.0	—
	家事に専念している 主婦（夫）	13.8	8.0	12.6	14.9	—	5.7	3.4	1.1
	無職	11.5	7.3	9.1	13.9	3.0	6.1	4.2	3.6
	その他	20.8	4.2	20.8	12.5	4.2	—	—	4.2

問 12 今後暮らしの中で力を入れていきたいと思うこと

「健康であること」の割合が77.4%と最も高く、次いで「老後の生活への準備」の割合が32.5%、「人間関係を大切にすること」の割合が31.4%となっています。



①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「高い所得や多くの財産があること」「老後の生活への準備」「趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ女性で「家族との団らん時間を大切にすること」「子どもの保育や教育」「人間関係を大切にすること」の割合が高くなっています。

年代別でみると、年代があがるにつれ「健康であること」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ20歳代以下で「高い所得や多くの財産があること」「仕事・家業・学業にうちこむこと」の割合が、30歳代で「家族との団らん時間を大切にすること」「子どもの保育や教育」の割合が、50歳代、60歳代で「老後の生活への準備」の割合が、70歳代以上で「人間関係を大切にすること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数 (件)	高い所得や多くの財産があること	社会的地位を高めること	仕事・家業・学業にうちこむこと	知識や教養を高めること	健康であること	老後の生活への準備	家族の介護	家族との団らん時間を大切にすること
性別	男性	305	16.1	1.6	13.8	8.5	76.4	35.7	7.2	19.0
	女性	359	4.5	0.6	10.3	6.1	79.4	29.5	7.8	25.6
年代別	20歳代以下	67	29.9	4.5	38.8	19.4	47.8	6.0	1.5	29.9
	30歳代	99	20.2	—	17.2	8.1	65.7	16.2	5.1	36.4
	40歳代	87	16.1	—	16.1	4.6	81.6	17.2	3.4	26.4
	50歳代	99	6.1	2.0	14.1	7.1	82.8	50.5	7.1	18.2
	60歳代	152	2.0	0.7	2.6	7.9	86.8	50.0	10.5	18.4
	70歳代以上	164	1.2	0.6	2.4	2.4	84.1	34.8	11.0	15.2

区分		子どもの保育や教育	衣食住生活の改善、充実	趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと	社会的奉仕活動をする	人間関係を大切にすること	その他	特にな	わからない	無回答
性別	男性	12.5	9.8	29.2	7.5	26.2	0.7	1.0	0.3	0.7
	女性	22.8	14.2	20.9	4.7	35.7	0.6	1.1	0.6	0.3
年代別	20歳代以下	20.9	17.9	31.3	3.0	26.9	—	1.5	1.5	—
	30歳代	51.5	14.1	21.2	2.0	25.3	—	1.0	—	1.0
	40歳代	43.7	16.1	19.5	2.3	21.8	—	—	—	—
	50歳代	8.1	15.2	20.2	9.1	26.3	2.0	—	1.0	—
	60歳代	3.9	9.9	30.9	7.2	30.3	—	1.3	—	—
	70歳代以上	1.8	6.7	23.8	8.5	45.7	1.2	1.8	1.2	1.2

②居住地域別

居住地域別でみると、他の地域に比べ山之上、蜂屋で「仕事・家業・学業にうちこむこと」の割合が、蜂屋で「子どもの保育や教育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数 (件)	高い所得や多くの財産があること	社会的地位を高めること	仕事・家業・学業にうちこむこと	知識や教養を高めること	健康であること	老後の生活への準備	家族の介護	家族との団らん時間を大切にすること
居住地域別	太田	141	14.9	0.7	10.6	9.9	76.6	37.6	7.8	23.4
	古井	189	5.8	1.1	7.9	5.8	81.5	30.2	7.4	22.2
	山之上	40	10.0	—	22.5	2.5	77.5	35.0	5.0	27.5
	蜂屋	92	10.9	1.1	23.9	8.7	68.5	29.3	5.4	25.0
	加茂野	90	12.2	1.1	10.0	8.9	74.4	28.9	8.9	20.0
	伊深	19	10.5	—	10.5	10.5	84.2	47.4	5.3	10.5
	三和	9	—	—	11.1	—	77.8	44.4	11.1	—
	下米田・牧野	87	6.9	2.3	6.9	4.6	85.1	32.2	9.2	24.1
	わからない	1	—	—	—	—	—	—	—	—
区分		子どもの保育や教育	衣食住生活の改善、充実	趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと	社会的奉仕活動をする	人間関係を大切にすること	その他	特にな	わからない	無回答
居住地域別	太田	18.4	13.5	22.0	5.7	27.0	—	—	0.7	—
	古井	13.8	10.1	27.5	7.4	32.3	0.5	1.1	1.1	0.5
	山之上	15.0	10.0	30.0	10.0	22.5	—	—	—	—
	蜂屋	34.8	15.2	21.7	1.1	26.1	1.1	1.1	1.1	—
	加茂野	18.9	10.0	24.4	7.8	32.2	1.1	2.2	—	1.1
	伊深	5.3	5.3	36.8	—	47.4	—	5.3	—	—
	三和	11.1	22.2	33.3	11.1	44.4	—	—	—	—
	下米田・牧野	12.6	14.9	20.7	5.7	39.1	1.1	1.1	—	1.1
	わからない	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—

③職業別

職業別でみると、他の職業に比べ学生で「高い所得や多くの財産があること」「仕事・家業・学業にうちこむこと」の割合が、家事に専念している主婦（夫）で「家族との団らん時間を大切にすること」「子どもの保育や教育」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数 (件)	高い所得や多くの財産があること	社会的地位を高めること	仕事・家業・学業にうちこむこと	知識や教養を高めること	健康であること	老後の生活への準備	家族の介護	家族との団らん時間を大切にすること
職業別	農林業	33	6.1	—	6.1	3.0	84.8	45.5	12.1	9.1
	自営業	49	18.4	4.1	22.4	8.2	71.4	36.7	6.1	18.4
	会社員	150	24.0	1.3	15.3	5.3	72.0	34.7	7.3	22.7
	公務員	26	—	—	15.4	15.4	76.9	30.8	7.7	23.1
	団体職員	8	—	—	37.5	12.5	50.0	25.0	—	50.0
	パート・アルバイト、フリーター、内職	97	5.2	—	9.3	4.1	81.4	37.1	6.2	21.6
	学生	25	32.0	8.0	64.0	32.0	40.0	—	—	20.0
	家事に専念している主婦（夫）	87	2.3	—	6.9	9.2	80.5	25.3	6.9	39.1
	無職	165	1.2	0.6	1.2	3.6	85.5	34.5	9.7	18.2
	その他	24	4.2	—	8.3	12.5	87.5	25.0	4.2	12.5

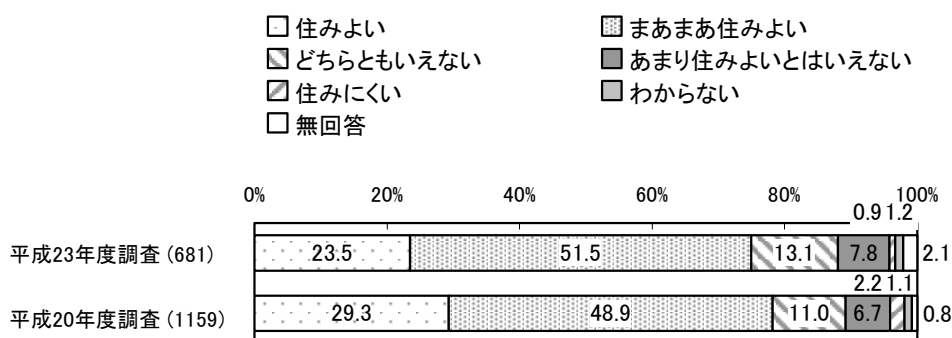
区分		子どもの保育や教育	衣食住生活の改善、充実	趣味やレジャーなど余暇を楽しむこと	社会的奉仕活動をする	人間関係を大切にすること	その他	特にな	わからない	無回答
職業別	農林業	6.1	6.1	36.4	9.1	36.4	—	—	—	—
	自営業	16.3	10.2	20.4	6.1	28.6	—	—	—	—
	会社員	22.0	14.7	25.3	5.3	18.7	—	0.7	0.7	—
	公務員	30.8	7.7	30.8	7.7	34.6	—	—	—	3.8
	団体職員	25.0	—	—	12.5	37.5	—	—	—	—
	パート・アルバイト、フリーター、内職	25.8	19.6	19.6	5.2	25.8	1.0	1.0	—	—
	学生	4.0	8.0	32.0	4.0	36.0	—	—	4.0	—
	家事に専念している主婦（夫）	40.2	13.8	19.5	2.3	34.5	—	1.1	—	—
	無職	3.0	7.3	28.5	7.9	38.8	1.2	2.4	1.2	1.2
	その他	4.2	20.8	20.8	8.3	58.3	4.2	—	—	—

3 定住意向

問 13 美濃加茂市の住みやすさ

「住みよい」と「まあまあ住みよい」をあわせた住みよいと感じている人の割合が 75.0%、「どちらともいえない」の割合が 13.1%、「あまり住みよいとはいえない」と「住みにくい」をあわせた住みよいと感じていない人の割合が 8.7%となっています。

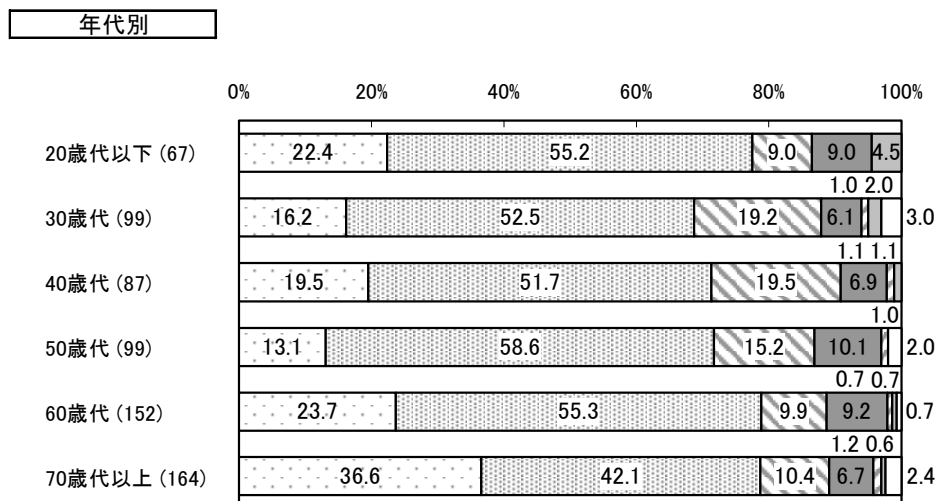
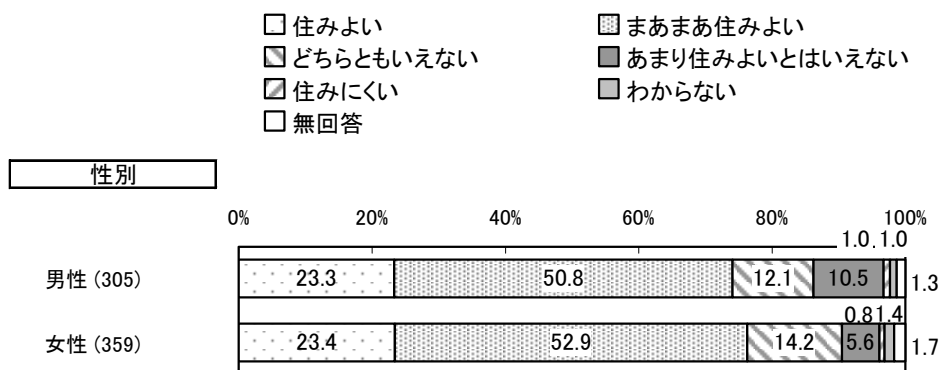
前回調査と比較すると、「住みよい」が減少傾向にあります。



①性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ 30 歳代から 50 歳代で住みよいと感じている人の割合が低く、約 7 割となっています。



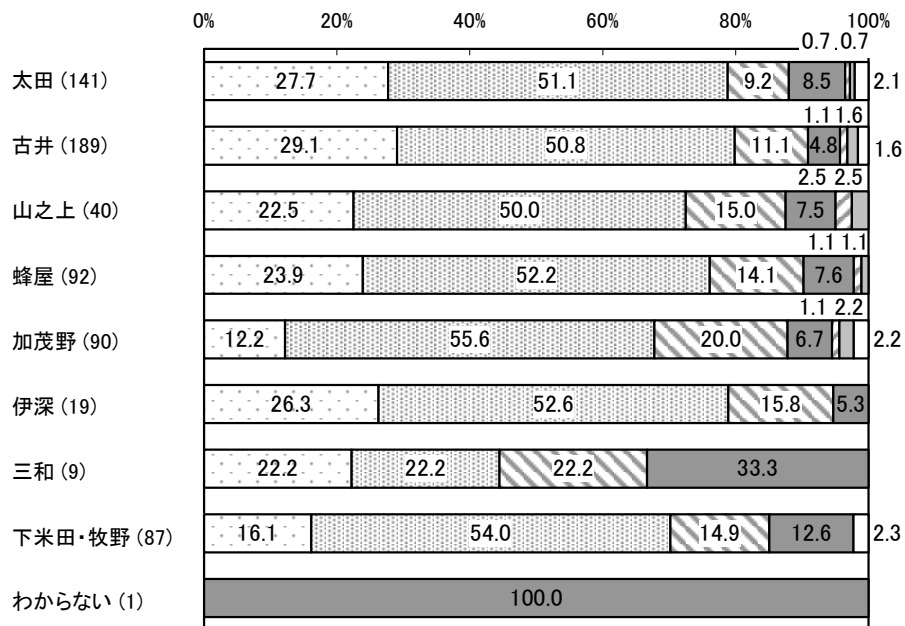
②居住地域別・家族構成別

居住地域別でみると、他の地域に比べ太田、古井、伊深で住みよいと感じている人の割合が高く、約8割となっています。

家族構成別でみると、大きな差異はみられません。

- ☐ 住みよい
- ☐ どちらともいえない
- ☐ 住みにくい
- ☐ 無回答
- ☐ まあまあ住みよい
- ☐ あまり住みよいとはいえない
- ☐ わからない

居住地域別



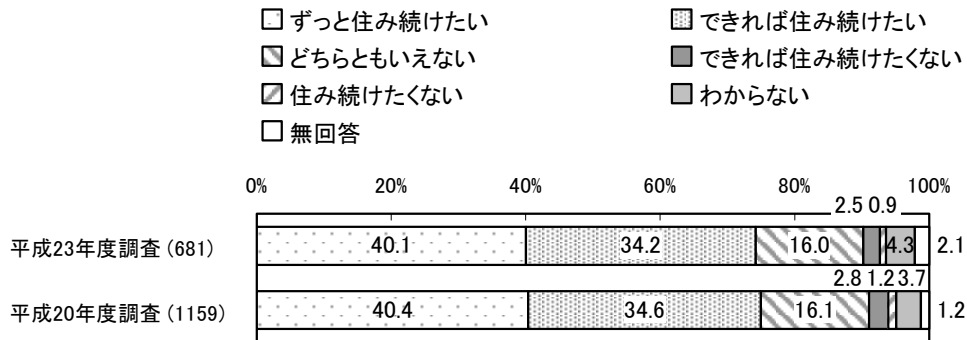
家族構成別



問 14 美濃加茂市に住みたいか

「ずっと住みたい」と「できれば住みたい」をあわせた住みたいと感じている人の割合が 74.3%、「どちらともいえない」の割合が 16.0%、「できれば住み続けたくない」と「住み続けたくない」をあわせた住み続けたくないと感じている人の割合が 3.4%となっています。

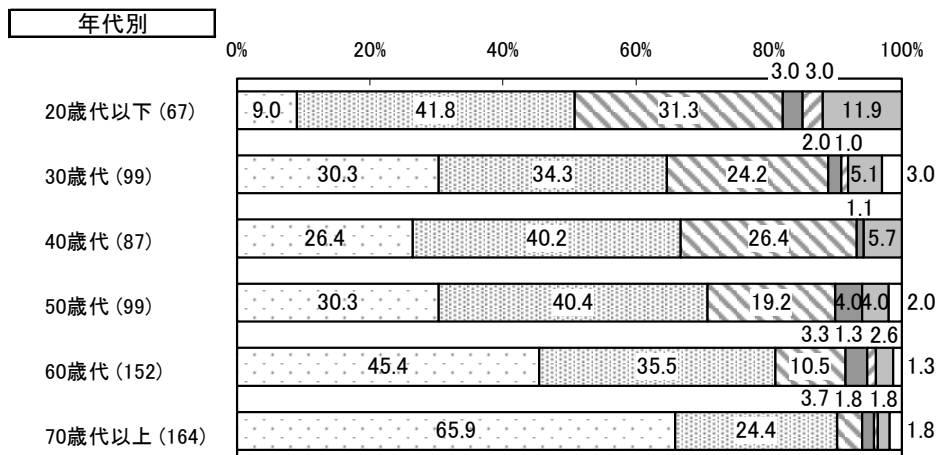
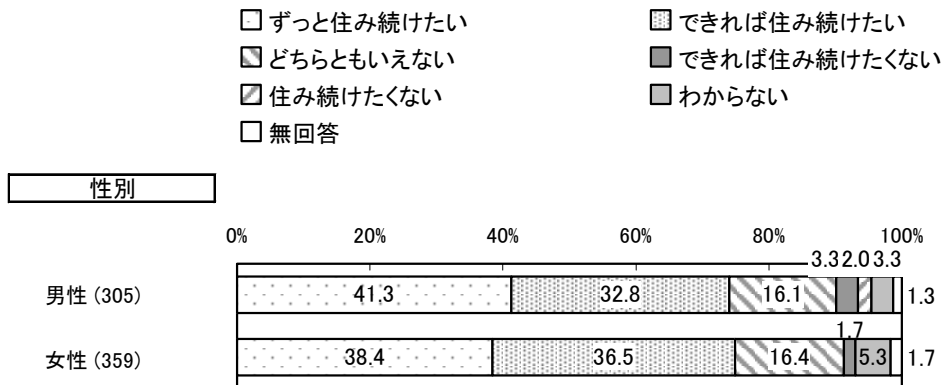
前回調査と比較すると、大きな差異はみられません。



①性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、年代があがるにつれ住みたいと感じている人の割合が高くなる傾向がみられます。

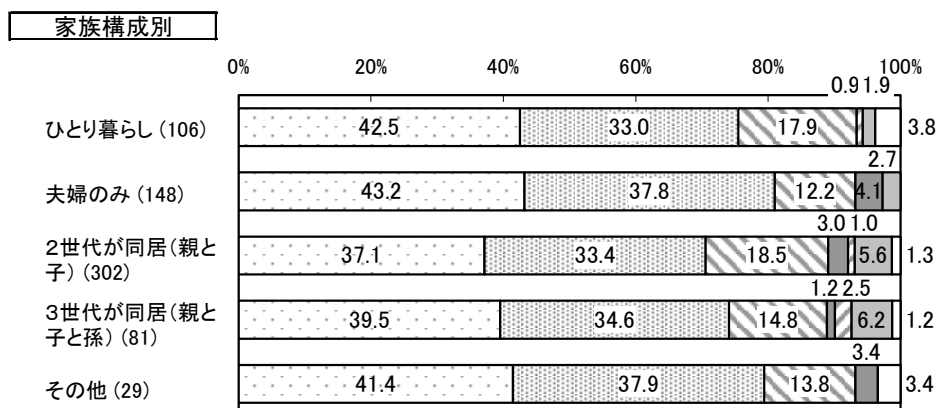
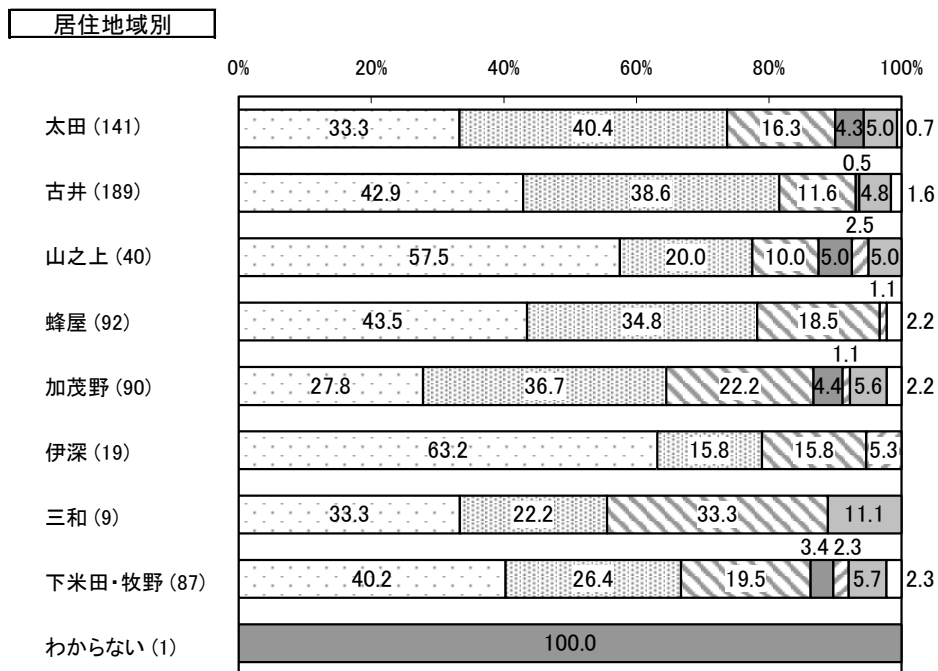


②居住地域別・家族構成別

居住地域別でみると、他の地域に比べ古井、山之上、蜂屋、伊深で住みたいと感じている人の割合が高く、約 8 割となっています。

家族構成別でみると、他に比べ夫婦のみで住みたいと感じている人の割合が高く、約 8 割となっています。

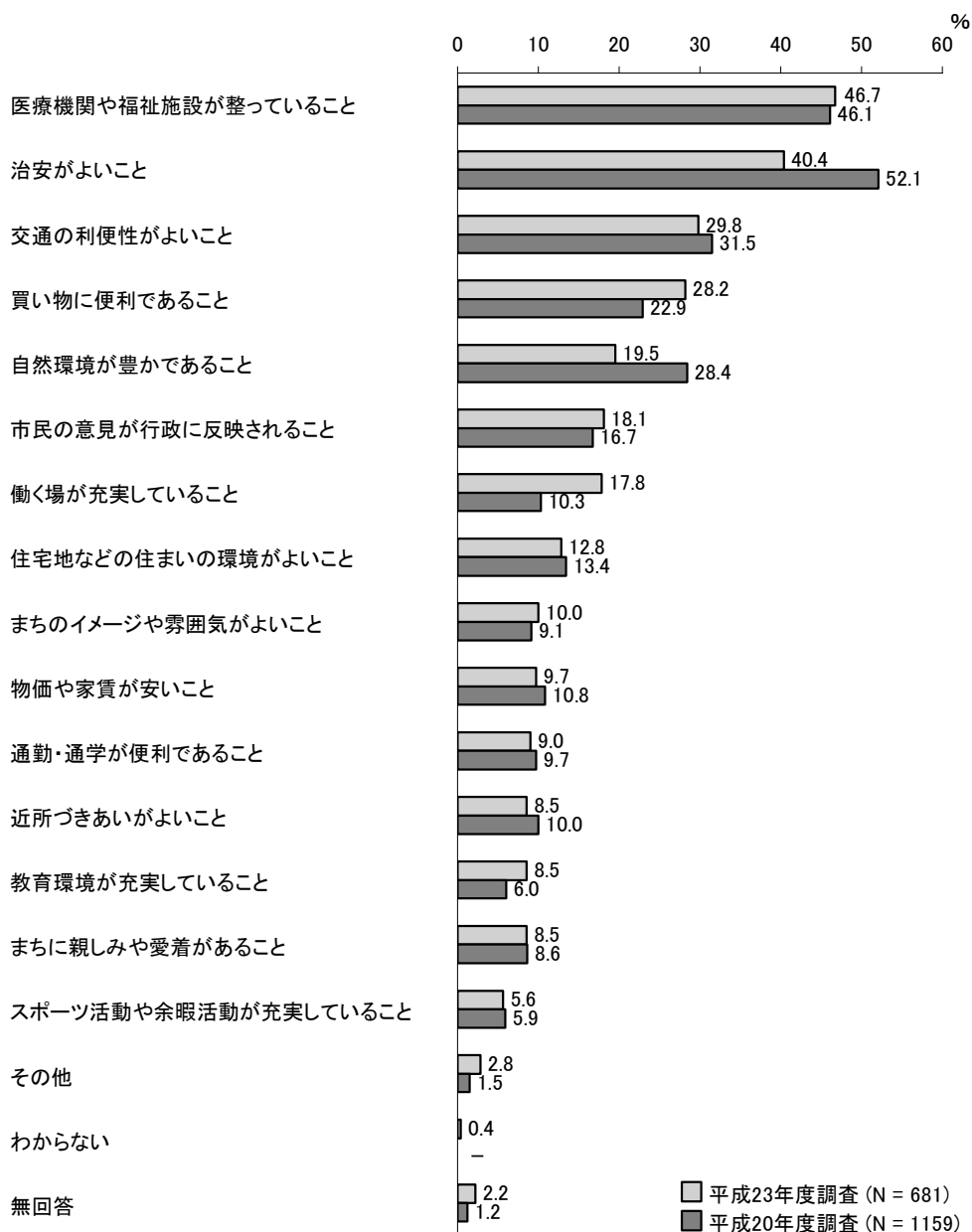
- ☐ ずっと住みたい
☐ どちらともいえない
☐ 住みたいくない
☐ 無回答
- ☐ できれば住みたい
☐ できれば住みたいくない
☐ わからない



問 15 美濃加茂市に住み続けるために必要なこと

「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が46.7%と最も高く、次いで「治安がよいこと」の割合が40.4%、「交通の利便性がよいこと」の割合が29.8%となっています。

前回調査と比較すると、「働く場が充実していること」「買い物に便利であること」の割合が増加しています。一方、「治安がよいこと」「自然環境が豊かであること」の割合が減少しています。



※ 平成20年度調査には「わからない」の選択肢はありません。

①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「自然環境が豊かであること」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ女性で「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が高く、約5割となっています。

年代別でみると、他の年代に比べ40歳代以下で「通勤・通学が便利であること」の割合が、20歳代以下で「スポーツ活動や余暇活動が充実していること」「物価や家賃が安いこと」の割合が高くなっています。また、30歳代、40歳代で「教育環境が充実していること」の割合が、60歳代で「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が、70歳代以上で「自然環境が豊かであること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数(件)	自然環境が豊かであること	交通の利便性がよいこと	住宅地などの住まいの環境がよいこと	まちのイメージや雰囲気がよいこと	買い物に便利であること	治安がよいこと	近所づきあいがよいこと	働く場が充実していること	通勤・通学が便利であること
性別	男性	305	23.6	28.9	15.4	9.8	26.2	42.0	6.6	18.0	6.6
	女性	359	16.4	30.9	10.9	9.7	30.4	40.1	9.2	18.1	11.4
年代別	20歳代以下	67	19.4	37.3	11.9	10.4	28.4	46.3	6.0	25.4	20.9
	30歳代	99	10.1	30.3	13.1	13.1	16.2	47.5	6.1	26.3	17.2
	40歳代	87	12.6	39.1	9.2	6.9	28.7	43.7	4.6	18.4	20.7
	50歳代	99	17.2	29.3	12.1	15.2	20.2	42.4	4.0	31.3	7.1
	60歳代	152	20.4	25.7	16.4	9.9	30.9	42.1	7.9	14.5	1.3
	70歳代以上	164	30.5	26.2	12.2	5.5	38.4	31.1	15.2	4.9	1.8

区分		医療機関や福祉施設が整っていること	教育環境が充実していること	スポーツ活動や余暇活動が充実していること	物価や家賃が安いこと	まちに親しみや愛着があること	市民の意見が行政に反映されること	その他	わからない	無回答
性別	男性	43.3	7.2	6.2	10.2	8.9	17.4	2.6	0.3	1.3
	女性	51.0	9.7	5.0	9.7	8.1	18.4	3.1	0.3	1.9
年代別	20歳代以下	26.9	7.5	17.9	19.4	6.0	4.5	1.5	—	—
	30歳代	42.4	23.2	7.1	13.1	9.1	17.2	3.0	—	3.0
	40歳代	52.9	19.5	5.7	12.6	9.2	8.0	—	—	—
	50歳代	46.5	2.0	5.1	13.1	6.1	24.2	7.1	1.0	2.0
	60歳代	57.9	5.3	3.3	7.2	8.6	23.7	2.6	—	0.7
	70歳代以上	46.3	1.2	1.8	3.0	9.8	19.5	2.4	1.2	3.0

②居住地域別

居住地域別でみると、他の地域に比べ加茂野、伊深で「交通の利便性がよいこと」の割合が高く、4割を超えています。また、山之上で「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が高く、約6割となっています。

単位：％

区分		有効回答数 (件)	自然環境が豊かであること	交通の利便性がよいこと	住宅地などの住まいの環境がよいこと	まちなイメージや雰囲気がいよいこと	買い物に便利であること	治安がよいこと	近所づきあいがよいこと	働く場が充実していること	通勤・通学が便利であること
居住地域別	太田	141	18.4	25.5	14.2	12.8	27.0	42.6	6.4	15.6	8.5
	古井	189	19.6	28.6	13.2	9.0	33.9	43.9	9.5	14.3	5.8
	山之上	40	27.5	27.5	12.5	10.0	27.5	25.0	5.0	27.5	10.0
	蜂屋	92	17.4	27.2	12.0	8.7	28.3	43.5	4.3	25.0	12.0
	加茂野	90	16.7	42.2	13.3	8.9	28.9	40.0	6.7	17.8	13.3
	伊深	19	36.8	52.6	5.3	5.3	26.3	47.4	10.5	21.1	10.5
	三和	9	22.2	33.3	—	11.1	22.2	44.4	11.1	22.2	—
	下米田・牧野	87	20.7	26.4	13.8	9.2	19.5	35.6	14.9	17.2	9.2
	わからない	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0

区分		医療機関や福祉施設が整っていること	教育環境が充実していること	スポーツ活動や余暇活動が充実していること	物価や家賃が安いこと	まちに親しみや愛着があること	市民の意見が行政に反映されること	その他	わからない	無回答
居住地域別	太田	46.1	9.2	9.2	15.6	9.2	24.1	3.5	0.7	0.7
	古井	43.9	6.3	3.2	6.9	6.9	16.4	3.2	0.5	2.6
	山之上	57.5	2.5	7.5	10.0	5.0	25.0	5.0	—	—
	蜂屋	48.9	10.9	6.5	17.4	10.9	14.1	—	—	1.1
	加茂野	52.2	13.3	5.6	6.7	8.9	8.9	3.3	—	1.1
	伊深	42.1	5.3	5.3	—	10.5	21.1	—	—	—
	三和	55.6	22.2	—	11.1	—	11.1	—	—	—
	下米田・牧野	46.0	6.9	2.3	4.6	9.2	20.7	3.4	1.1	3.4
	わからない	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—

③家族構成別

家族構成別でみると、他に比べ2世代が同居（親と子）で「通勤・通学が便利であること」の割合が高くなっています。また、夫婦のみ、3世代が同居（親と子と孫）で「医療機関や福祉施設が整っていること」の割合が、夫婦のみで「市民の意見が行政に反映されること」の割合が高くなっています。

単位：％

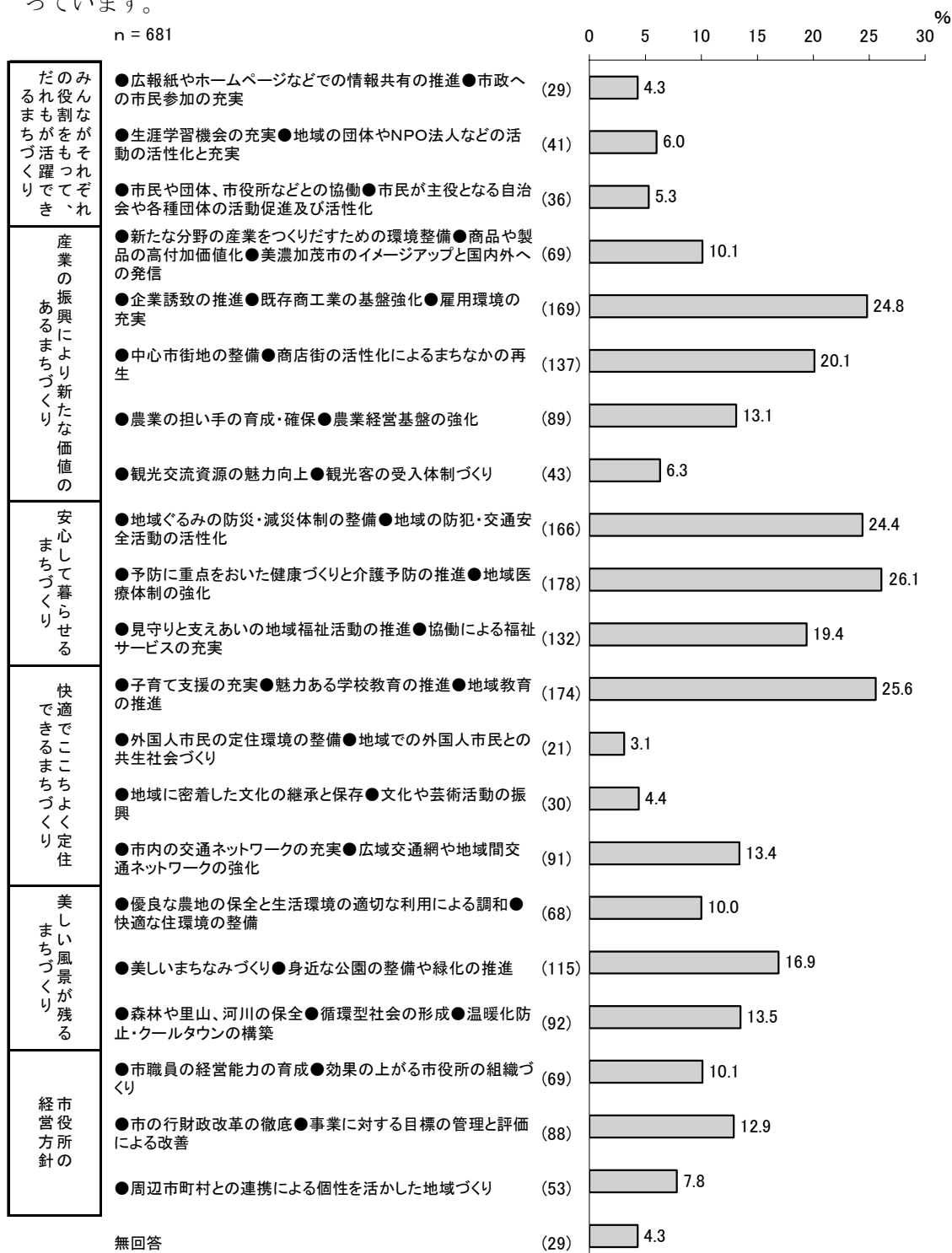
区分		有効回答数 (件)	自然環境が豊かであること	交通の利便性がよいこと	住宅地などの住まいの環境がよいこと	まちのイメージや雰囲気がよいこと	買い物に便利であること	治安がよいこと	近所づきあいがよいこと	働く場が充実していること	通勤・通学が便利であること
家族構成別	ひとり暮らし	106	20.8	31.1	11.3	8.5	35.8	36.8	10.4	7.5	3.8
	夫婦のみ	148	22.3	30.4	13.5	8.8	33.8	37.8	9.5	16.2	0.7
	2世代が同居 (親と子)	302	15.9	30.5	14.6	8.6	23.2	43.4	7.9	20.5	14.2
	3世代が同居 (親と子と孫)	81	24.7	27.2	7.4	12.3	24.7	42.0	3.7	27.2	8.6
	その他	29	31.0	27.6	10.3	24.1	37.9	41.4	6.9	13.8	20.7

区分		医療機関や福祉施設が整っていること	教育環境が充実していること	スポーツ活動や余暇活動が充実していること	物価や家賃が安いこと	まちに親しみや愛着があること	市民の意見が行政に反映されること	その他	わからない	無回答
家族構成別	ひとり暮らし	42.5	1.9	0.9	12.3	7.5	15.1	2.8	—	3.8
	夫婦のみ	55.4	4.1	6.1	10.1	6.8	25.7	3.4	0.7	—
	2世代が同居 (親と子)	45.4	12.6	6.6	8.6	9.3	16.6	2.3	0.7	1.7
	3世代が同居 (親と子と孫)	53.1	9.9	6.2	12.3	7.4	14.8	2.5	—	1.2
	その他	27.6	10.3	6.9	6.9	13.8	10.3	3.4	—	3.4

4 第5次総合計画について

問 16 第5次総合計画の10年後のあるべき姿、「まあいいまち みのかも」をつくっていくために、次の取り組みの中で、「特に力を入れてほしいこと」を選び、その項目の番号を□に記入してください。(3つまで)

「予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化」の割合が26.1%と最も高く、次いで「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が25.6%、「企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実」の割合が24.8%、「地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化」の割合が24.4%となっています。



①性別

性別でみると、女性に比べ男性で「新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信」「企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実」「中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生」「市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ女性で「予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化」「見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実」「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数（件）	見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実	予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化	地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化	観光交流資源の魅力向上、観光客の受入体制づくり	農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化	中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生	企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実	新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信	市民や団体、市役所などとの協働、市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化	生涯学習機会の充実、地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実	広報紙やホームページなどでの情報共有の推進、市政への市民参加の充実
性別	男性	305	14.1	21.6	22.0	8.5	11.8	23.3	30.2	15.4	6.2	5.2	3.6
	女性	359	24.0	30.4	26.5	4.5	13.9	17.3	20.9	5.8	4.7	6.7	4.7

区分		無回答
性別	男性	3.3
	女性	3.9

②年代別

年代別でみると、他の年代に比べ 30 歳代で「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が高く、約 6 割となっています。また、50 歳代で「企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実」の割合が、40 歳代、70 歳代以上で「予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化」の割合が高くなっています。

単位：％

区分													
			有効回答数（件）										
年代別	20 歳代以下	67	4.5	3.0	7.5	10.4	25.4	26.9	9.0	4.5	17.9	17.9	14.9
	30 歳代	99	2.0	4.0	2.0	12.1	28.3	20.2	8.1	6.1	29.3	20.2	9.1
	40 歳代	87	2.3	9.2	3.4	10.3	25.3	21.8	6.9	4.6	26.4	35.6	20.7
	50 歳代	99	4.0	7.1	8.1	9.1	33.3	18.2	10.1	7.1	20.2	24.2	17.2
	60 歳代	152	4.6	5.9	4.6	9.9	27.6	17.8	18.4	9.2	22.4	25.7	25.7
	70 歳代以上	164	6.7	6.1	6.7	9.8	15.2	18.9	17.1	4.9	27.4	30.5	22.6

区分													
		子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進	外国人市民の定住環境の整備、地域での外国人市民との共生社会づくり	地域に密着した文化の継承と保存、文化や芸術活動の振興	市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化	優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備	美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進	森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築	市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり	市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善	周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり	無回答	
年代別	20 歳代以下	34.3	7.5	7.5	17.9	10.4	23.9	10.4	11.9	11.9	6.0	1.5	
	30 歳代	57.6	1.0	4.0	16.2	6.1	23.2	7.1	7.1	11.1	6.1	1.0	
	40 歳代	39.1	2.3	2.3	17.2	11.5	14.9	12.6	8.0	6.9	4.6	－	
	50 歳代	14.1	6.1	3.0	9.1	10.1	14.1	17.2	8.1	13.1	6.1	8.1	
	60 歳代	16.4	2.6	5.3	13.2	9.2	11.2	15.8	13.8	18.4	7.9	2.0	
	70 歳代以上	11.6	1.8	4.9	11.6	12.8	18.3	14.0	11.0	12.8	11.0	7.9	

③居住地域別

居住地域別でみると、他の地域に比べ太田で「中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生」の割合が、山之上で「農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化」の割合が、蜂屋で「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が高くなっています。また、加茂野で「市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数（件）	見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実	予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化	地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化	観光交流資源の魅力向上、観光客の受入体制づくり	農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化	中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生	企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実	新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信	市民や団体、市役所などとの協働、市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化	生涯学習機会の充実、地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実	広報紙やホームページなどの情報共有の推進、市政への市民参加の充実
居住地域別	太田	141	4.3	8.5	2.8	14.2	21.3	32.6	7.1	9.2	25.5	17.0	23.4
	古井	189	3.7	5.8	4.2	11.6	25.4	22.2	12.7	6.9	22.2	20.1	27.0
	山之上	40	2.5	2.5	10.0	7.5	40.0	5.0	30.0	7.5	20.0	17.5	22.5
	蜂屋	92	—	5.4	7.6	7.6	22.8	15.2	13.0	4.3	29.3	22.8	26.1
	加茂野	90	7.8	5.6	4.4	5.6	25.6	15.6	10.0	3.3	26.7	21.1	27.8
	伊深	19	10.5	—	10.5	—	42.1	10.5	15.8	10.5	42.1	5.3	21.1
	三和	9	22.2	—	—	11.1	22.2	11.1	11.1	—	33.3	11.1	11.1
	下米田・牧野	87	4.6	6.9	8.0	11.5	21.8	13.8	17.2	4.6	17.2	21.8	33.3
	わからない	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

区分		子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進	外国人市民の定住環境の整備、地域での外国人市民との共生社会づくり	地域に密着した文化の継承と保存、文化や芸術活動の振興	市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化	優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備	美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進	森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築	市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり	市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善	周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり	無回答
居住地域別	太田	29.1	4.3	3.5	12.8	9.9	19.1	12.1	8.5	15.6	4.3	2.8
	古井	22.2	3.7	5.3	11.1	8.5	19.0	13.2	9.0	12.7	9.0	4.8
	山之上	25.0	5.0	2.5	7.5	—	7.5	17.5	20.0	15.0	5.0	2.5
	蜂屋	37.0	4.3	4.3	13.0	7.6	13.0	13.0	13.0	12.0	7.6	2.2
	加茂野	27.8	2.2	3.3	22.2	14.4	15.6	12.2	7.8	11.1	8.9	4.4
	伊深	10.5	—	15.8	10.5	15.8	5.3	10.5	21.1	21.1	10.5	—
	三和	11.1	—	11.1	11.1	22.2	11.1	55.6	—	11.1	22.2	—
	下米田・牧野	19.5	—	3.4	16.1	14.9	21.8	11.5	10.3	10.3	6.9	5.7
	わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

④くらしの満足度別

くらしの満足度別でみると、わからないを除いて、今のくらしに満足している人ほど「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」の割合が高くなる傾向がみられます。また、きわめて不満だと感じている人で「見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実」の割合が高くなっています。

「十分満足している」と「おおむね満足している」をあわせた今のくらしについて満足している人の割合が、「まだまだ不満だ」と「きわめて不満だ」をあわせた今のくらしについて不満を感じている人に比べ「予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進、地域医療体制の強化」「子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進」で高くなっています。一方、不満を感じている人の割合が、満足している人に比べ「中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生」「森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築」で高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数（件）	有の推進、市政への市民参加の充実	広報紙やホームページなどでの情報共有の推進	生涯学習機会の充実、地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実	市民や団体、市役所などとの協働、市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化	新たな分野の産業をつくりだすための環境整備、商品や製品の高付加価値化、美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信	企業誘致の推進、既存商工業の基盤強化、雇用環境の充実	中心市街地の整備、商店街の活性化によるまちなかの再生	農業の担い手の育成・確保、農業経営基盤の強化	観光交流資源の魅力向上、観光客の受入体制づくり	地域の防犯・交通安全活動の活性化	地域ぐるみの防災・減災体制の整備、地域の防犯・交通安全活動の活性化	予防の推進、地域医療体制の強化	見守りと支えあいの地域福祉活動の推進、協働による福祉サービスの充実
くらしの満足度別	十分満足している	46	6.5	2.2	4.3	15.2	21.7	19.6	10.9	2.2	19.6	28.3	17.4		
	おおむね満足している	300	5.0	8.7	4.3	8.3	26.7	17.3	15.3	6.3	25.0	27.7	19.3		
	まだまだ不満だ	218	2.8	3.2	6.4	10.6	22.9	24.8	10.6	5.0	22.9	28.4	17.4		
	きわめて不満だ	72	2.8	8.3	6.9	12.5	23.6	16.7	13.9	13.9	22.2	16.7	25.0		
	わからない	38	7.9	2.6	5.3	10.5	26.3	23.7	10.5	5.3	39.5	21.1	21.1		

区分		子育て支援の充実、魅力ある学校教育の推進、地域教育の推進	外国人市民の定住環境の整備、地域での外国人市民との共生社会づくり	地域に密着した文化の継承と保存、文化や芸術活動の振興	市内の交通ネットワークの充実、広域交通網や地域間交通ネットワークの強化	優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和、快適な住環境の整備	美しいまちなみづくり、身近な公園の整備や緑化の推進	森林や里山、河川の保全、循環型社会の形成、温暖化防止・クールタウンの構築	市職員の経営能力の育成、効果の上がる市役所の組織づくり	市の行財政改革の徹底、事業に対する目標の管理と評価による改善	周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり	無回答
くらしの満足度別	十分満足している	30.4	2.2	6.5	8.7	6.5	23.9	6.5	8.7	13.0	8.7	6.5
	おおむね満足している	30.0	2.7	6.0	12.3	9.7	14.3	16.7	8.3	10.7	9.0	3.0
	まだまだ不満だ	23.9	3.7	3.7	12.8	10.1	20.2	13.3	13.8	14.7	6.4	2.3
	きわめて不満だ	12.5	4.2	—	15.3	11.1	13.9	4.2	8.3	16.7	5.6	11.1
	わからない	18.4	2.6	2.6	26.3	13.2	15.8	15.8	7.9	13.2	7.9	5.3

5 政策ごとの指標の「満足度」

1. 満足度の得点化

問 17 次の各項目の取り組みについて、「満足度」を5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ○で囲んでください。また今後、特に期待する取り組みについて、右側の欄に○をつけてください。（○はいくつでも）

39 項目の指標について、「満足度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度の得点化の手順■

満足度		得点
満足	→	5 点
やや満足	→	4 点
普通	→	3 点
やや不満	→	2 点
不満	→	1 点
無回答	→	計算対象外

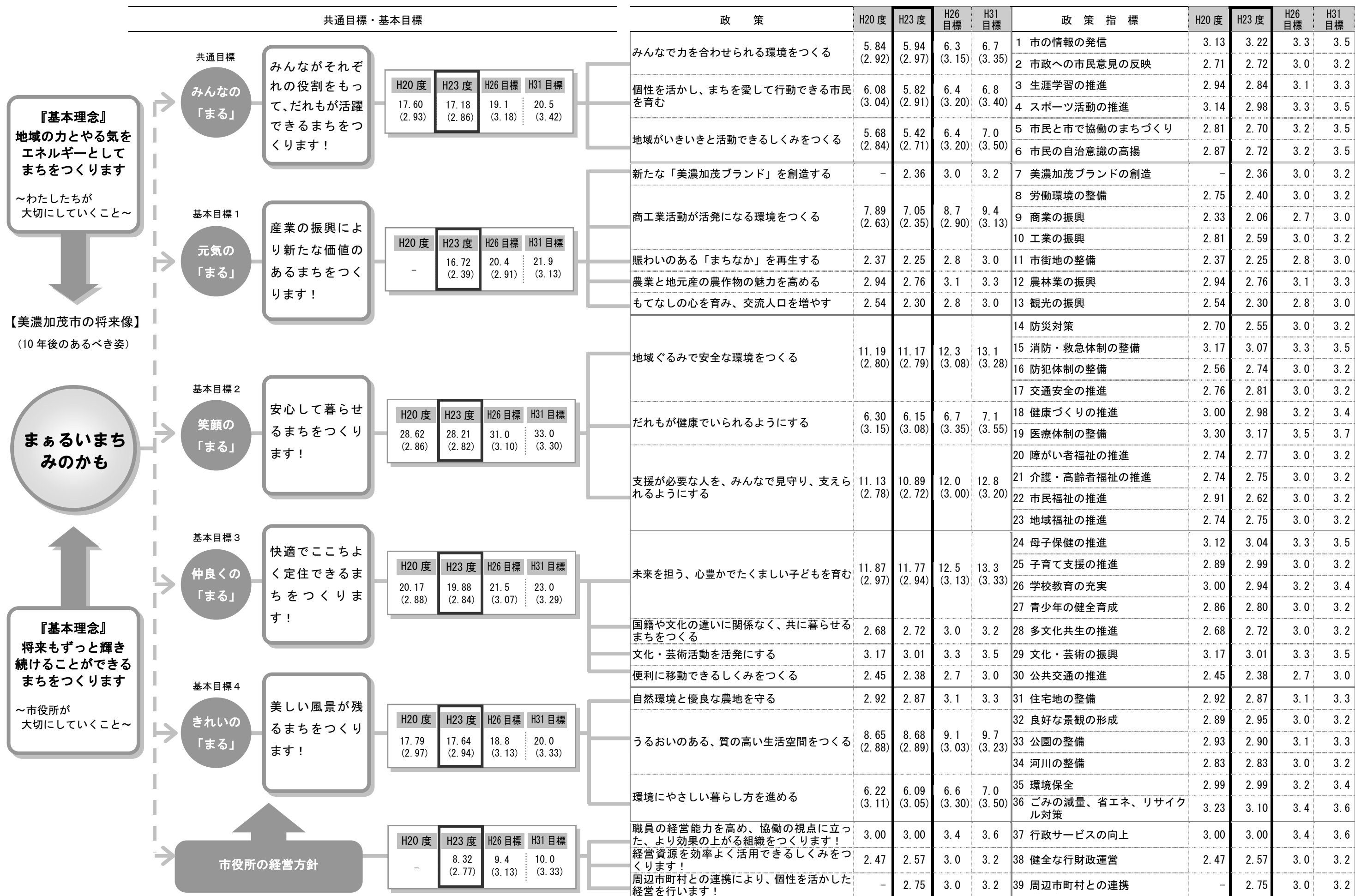
■得点の算出式■

$ \begin{aligned} &5 \text{ 点} \times \text{「満足」の回答数} + 4 \text{ 点} \times \text{「やや満足」の回答数} \\ &\quad + 3 \text{ 点} \times \text{「普通」の回答数} + 2 \text{ 点} \times \text{「やや不満」の回答数} \\ &\quad + 1 \text{ 点} \times \text{「不満」の回答数} \\ \hline &\text{無回答を除いた設問の回答総数} \end{aligned} $
--

例えば、仮に全員が「満足」を選んだ場合、その満足度の得点は 5.00 点になります。
得点については、小数点以下第 3 位を四捨五入して表示しています。

39 項目の指標について、共通目標と 4 つの基本目標及び市役所の経営方針ごとに集計、分析を行いました。

図 1. 第 5 次総合計画 体系図及び調査結果・目標値



2. 指標の満足度評価（目標別）

共通
目標

みんなの「まる」

■みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまち■

共通目標では、「市の情報の発信」が3.22と他の項目より高い満足度を示しています。

前回調査と比較すると、前回に比べ「生涯学習の推進」「スポーツ活動の推進」「市民と市で協働のまちづくり」「市民の自治意識の高揚」で満足度が減少しています。

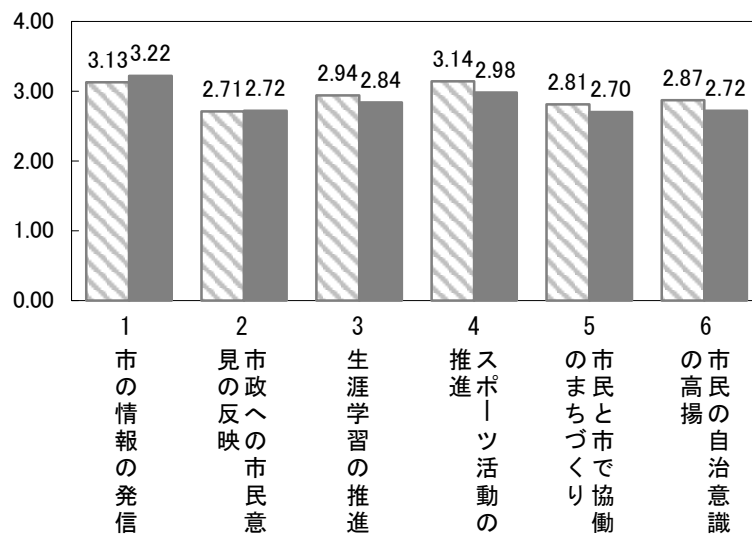
性別でみると、6項目中4項目で男性より女性のほうがやや満足度が高い傾向がみられます。

年代別でみると、他の年代に比べ70歳代以上で比較的満足度が高く、30歳代から50歳代では比較的満足度が低い傾向がみられます。

居住地域別でみると、他の居住地域に比べ太田、山之上、加茂野、伊深で比較的満足度が低い傾向がみられます。

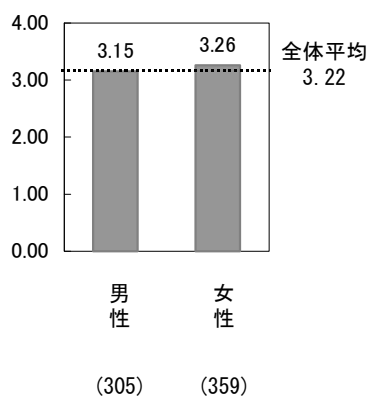
【指標ごとの満足度】

▨ 平成20年度調査（n = 1159） ■ 平成23年度調査（n = 681）

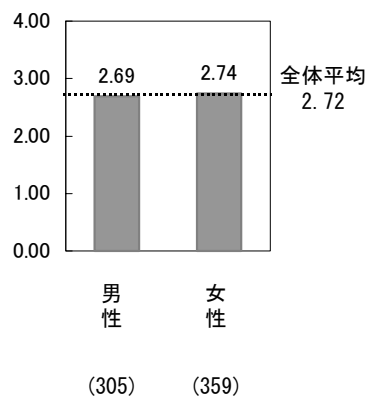


【性別】

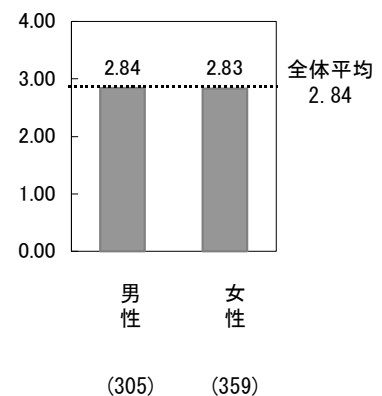
1. 市の情報の発信



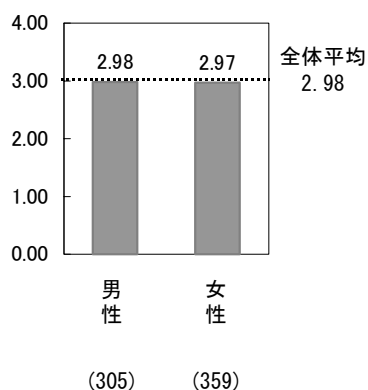
2. 市政への市民意見の反映



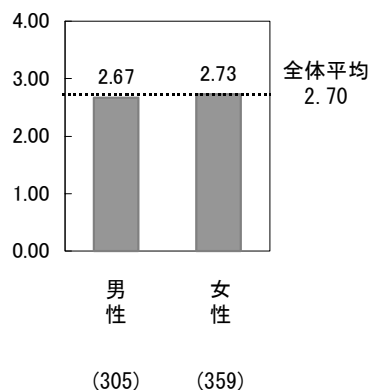
3. 生涯学習の推進



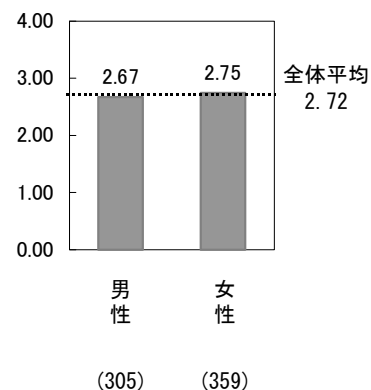
4. スポーツ活動の推進



5. 市民と市で協働のまちづくり

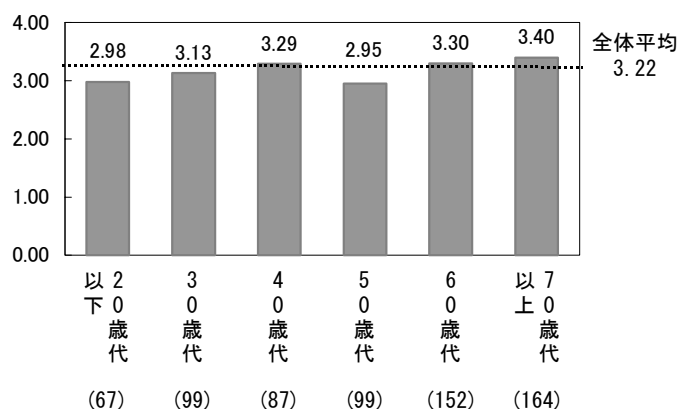


6. 市民の自治意識の高揚

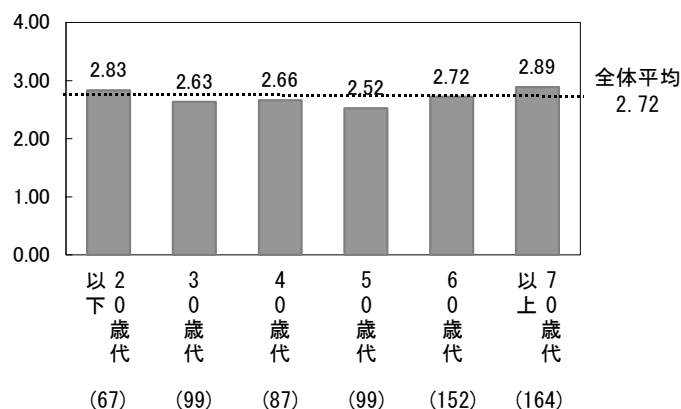


【年代別】

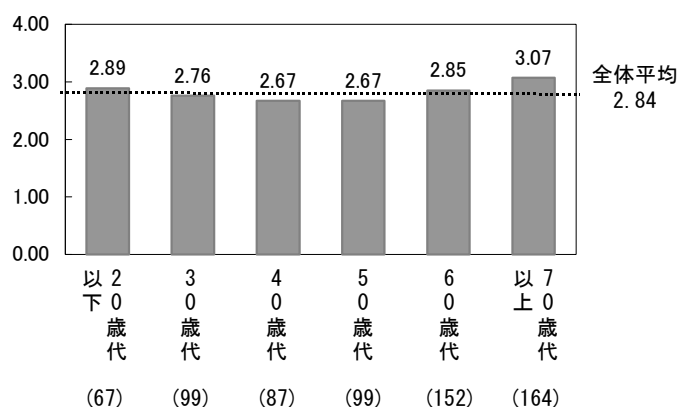
1. 市の情報の発信



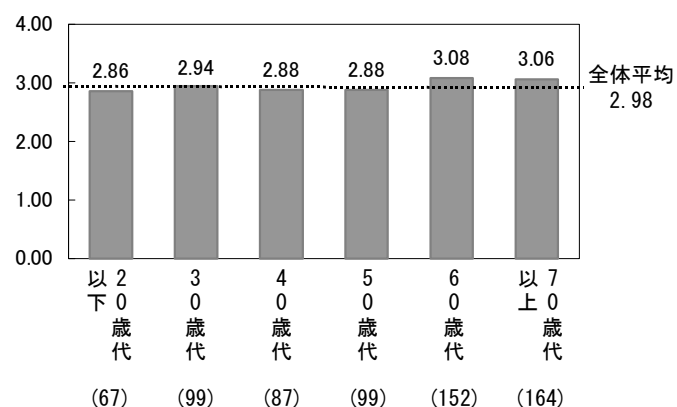
2. 市政への市民意見の反映



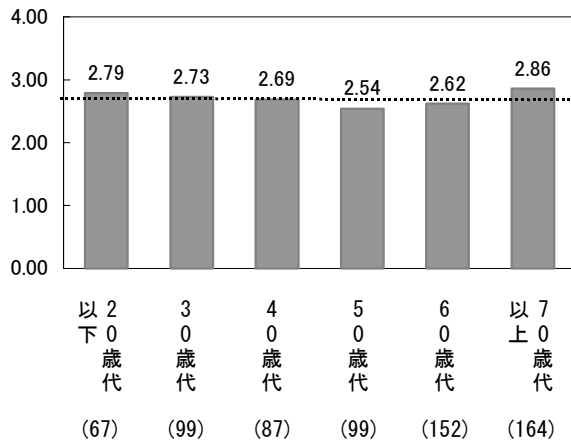
3. 生涯学習の推進



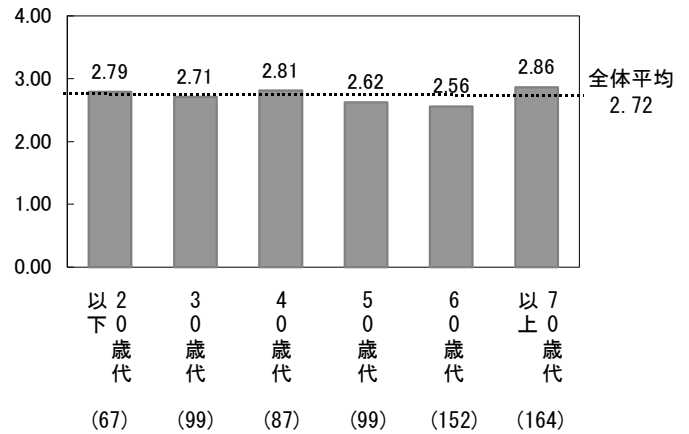
4. スポーツ活動の推進



5. 市民と市で協働のまちづくり

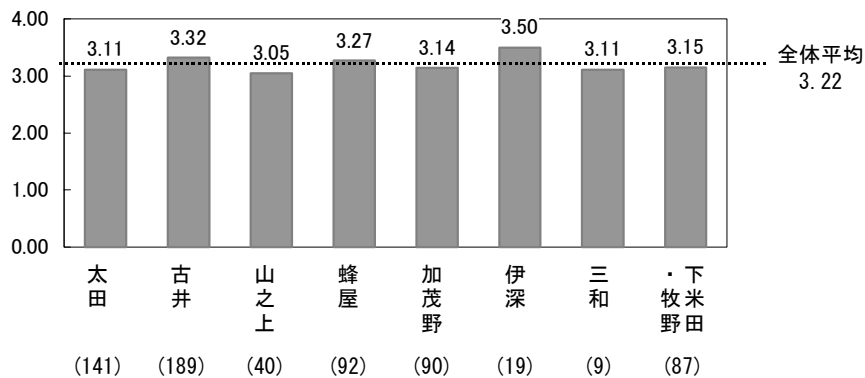


6. 市民の自治意識の高揚

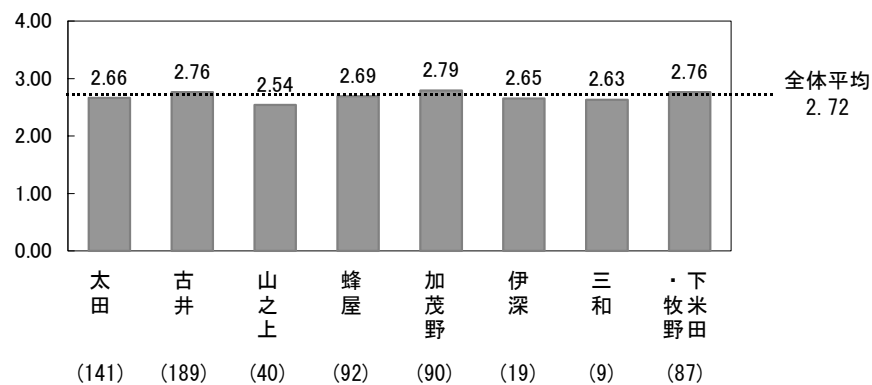


【居住地域別】

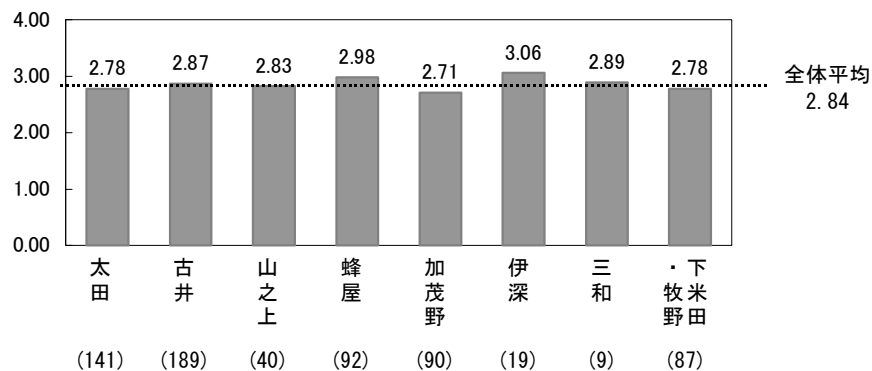
1. 市の情報の発信



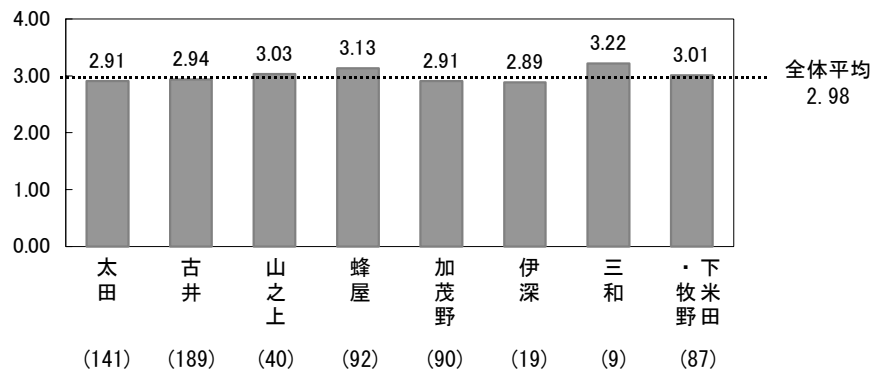
2. 市政への市民意見の反映



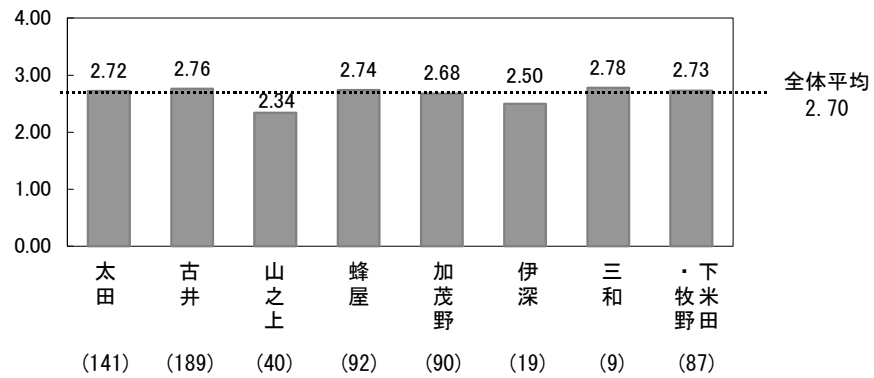
3. 生涯学習の推進



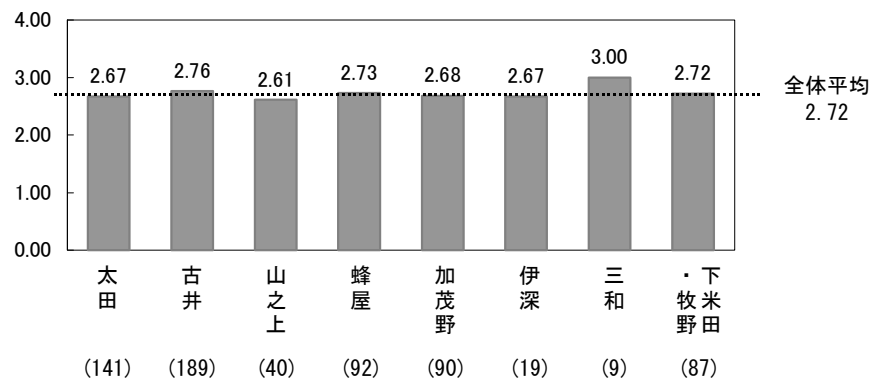
4. スポーツ活動の推進



5. 市民と市で協働のまちづくり



6. 市民の自治意識の高揚



基本目標

1

元気の「まる」

■産業の振興により新たな価値のあるまち■

基本目標1では、「農林業の振興」が2.76と他の項目より高い満足度を示しています。

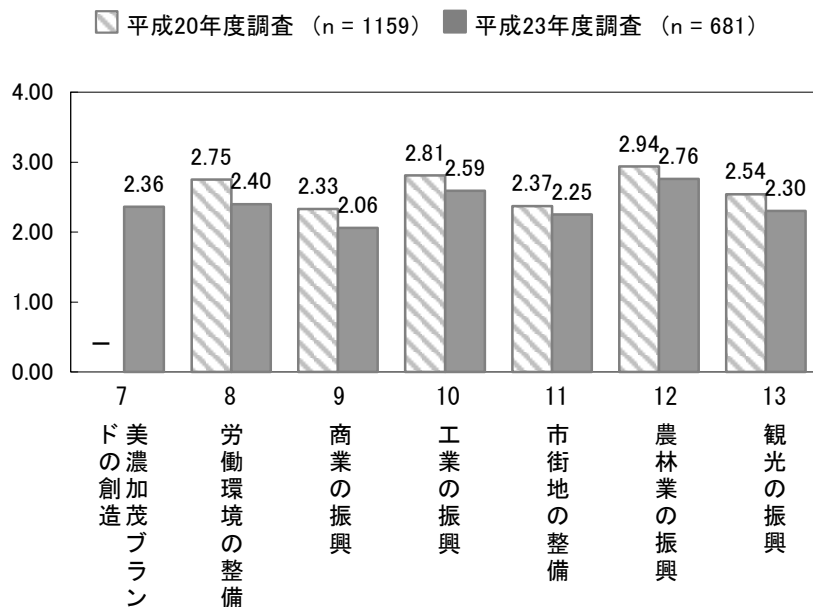
前回調査と比較すると、前回に比べすべての項目で満足度が減少しています。

性別でみると、7項目中4項目で男性より女性のほうがやや満足度が高い傾向がみられます。

年代別でみると、他の年代に比べ40歳代から60歳代で比較的満足度が低い傾向がみられます。

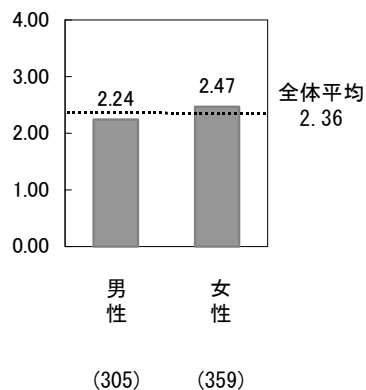
居住地域別でみると、他の居住地域に比べ蜂屋で比較的満足度が高く、太田、山之上、加茂野で比較的満足度が低い傾向がみられます。

【指標ごとの満足度】

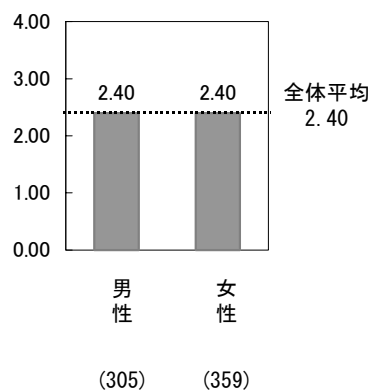


【性別】

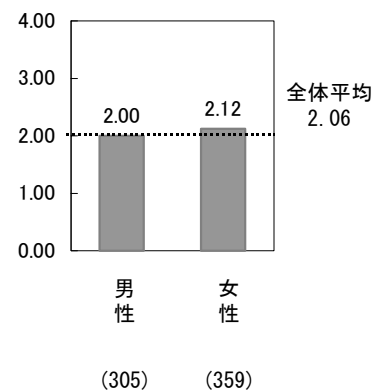
7. 美濃加茂ブランドの創造



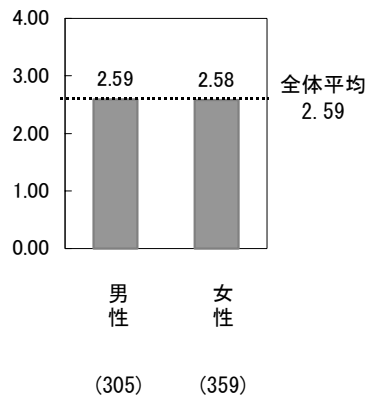
8. 労働環境の整備



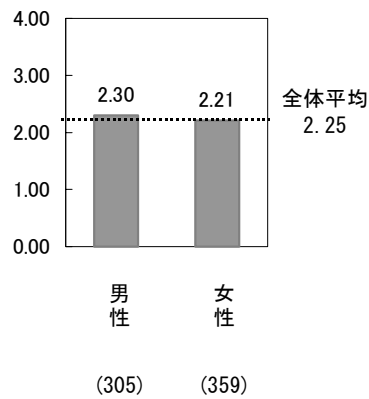
9. 商業の振興



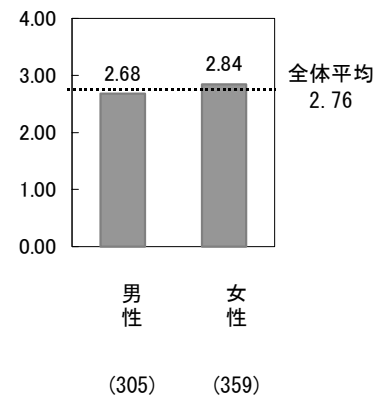
10. 工業の振興



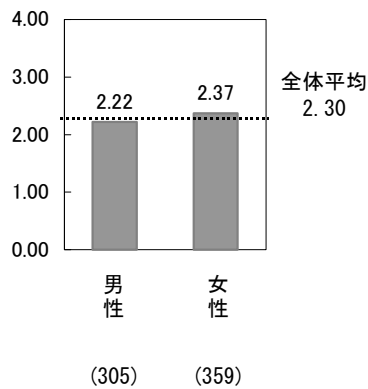
11. 市街地の整備



12. 農林業の振興

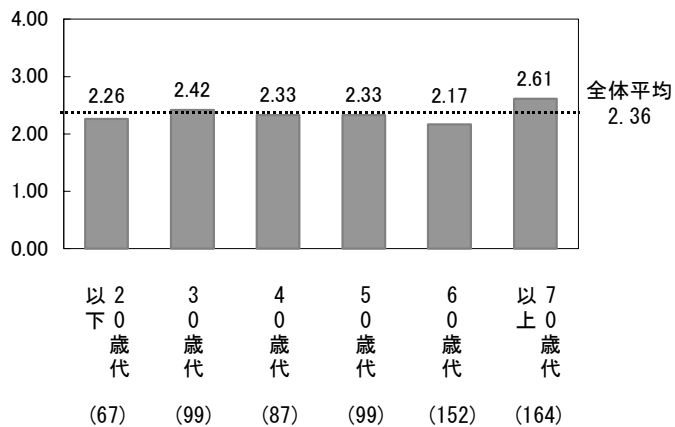


13. 観光の振興

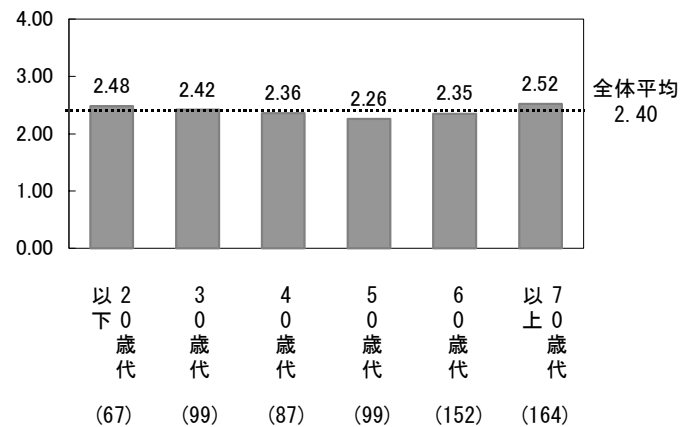


【年代別】

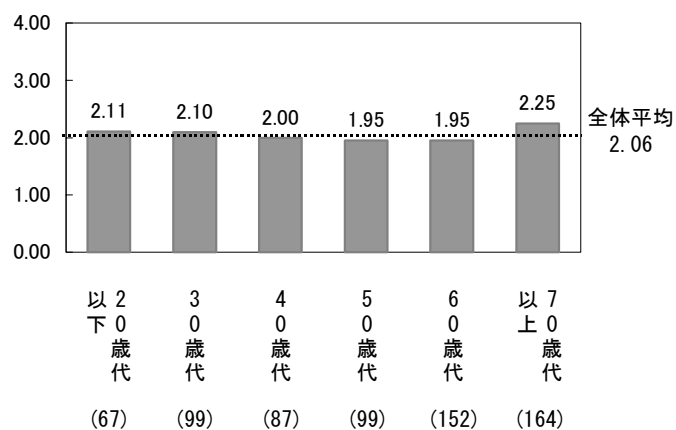
7. 美濃加茂ブランドの創造



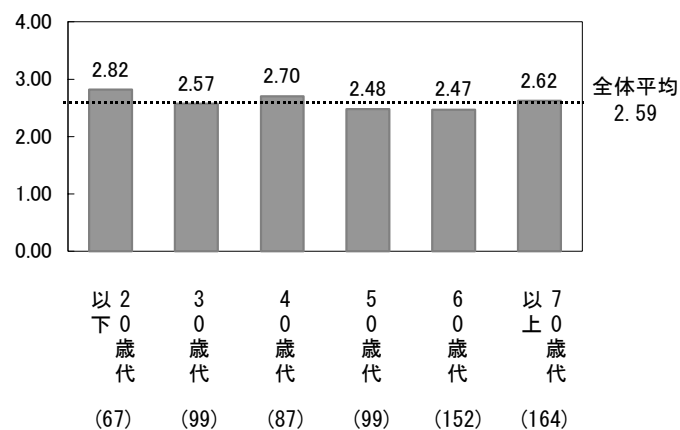
8. 労働環境の整備



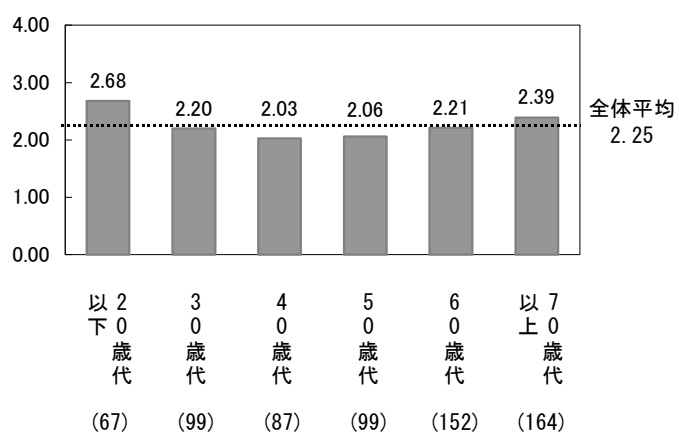
9. 商業の振興



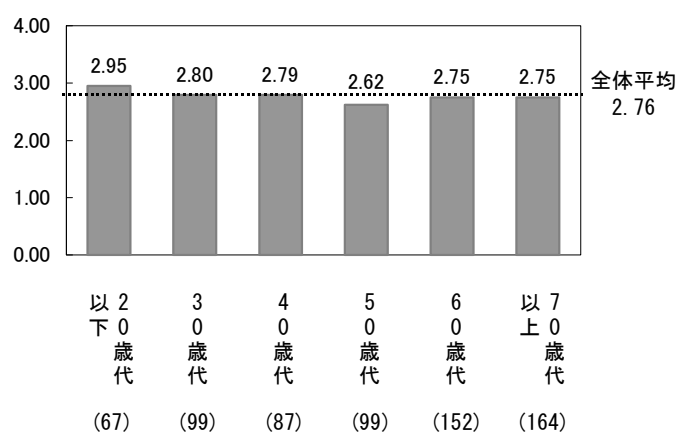
10. 工業の振興



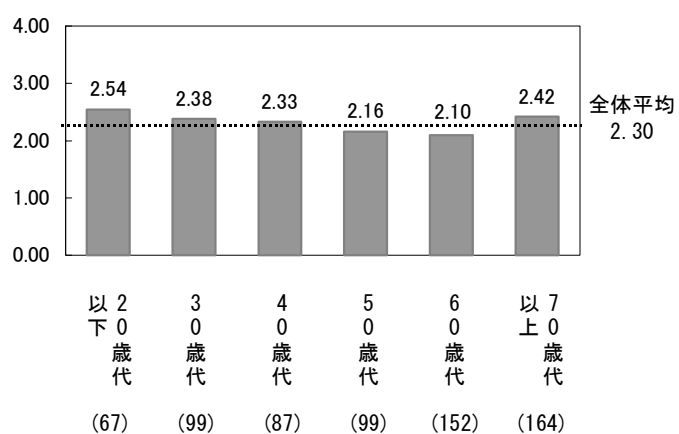
11. 市街地の整備



12. 農林業の振興

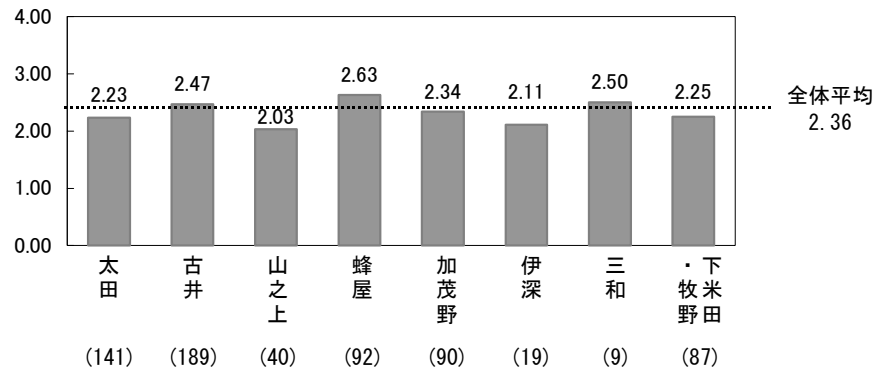


13. 観光の振興

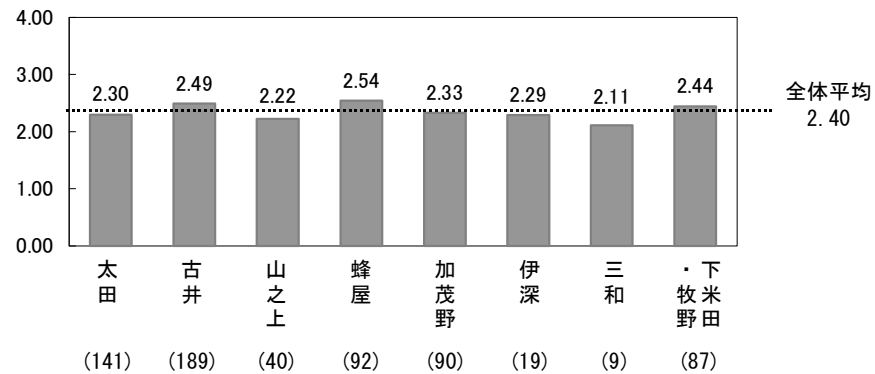


【居住地域別】

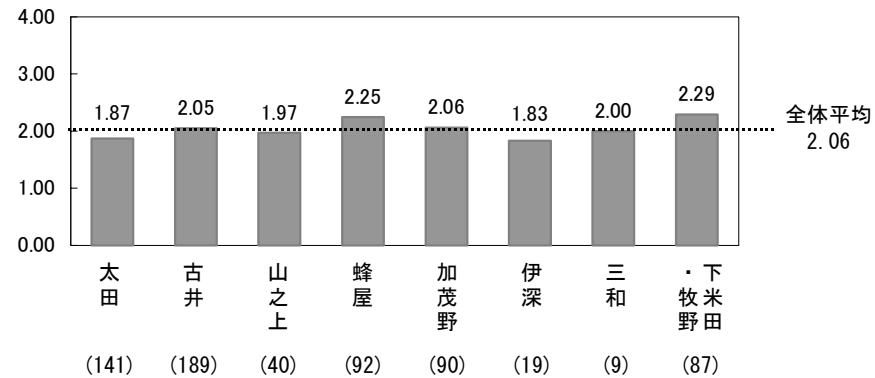
7. 美濃加茂ブランドの創造



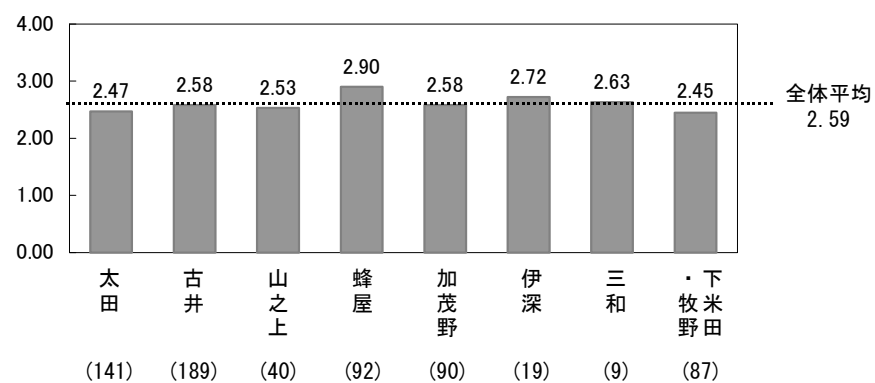
8. 労働環境の整備



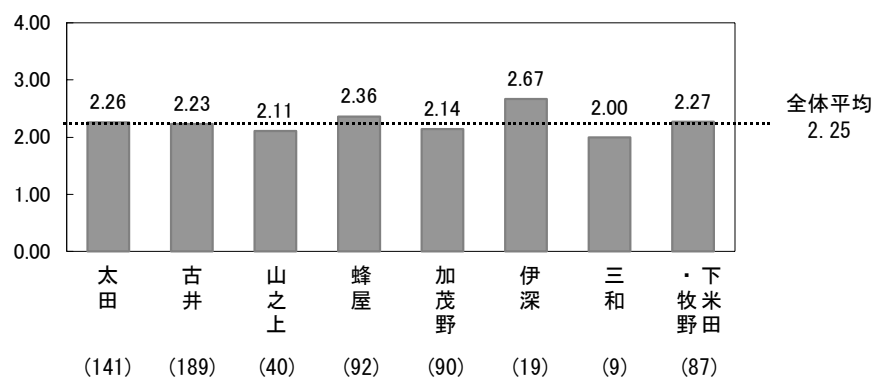
9. 商業の振興



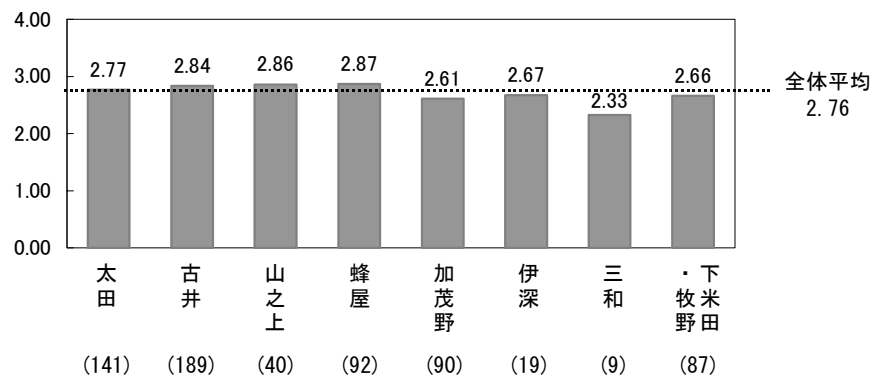
10. 工業の振興



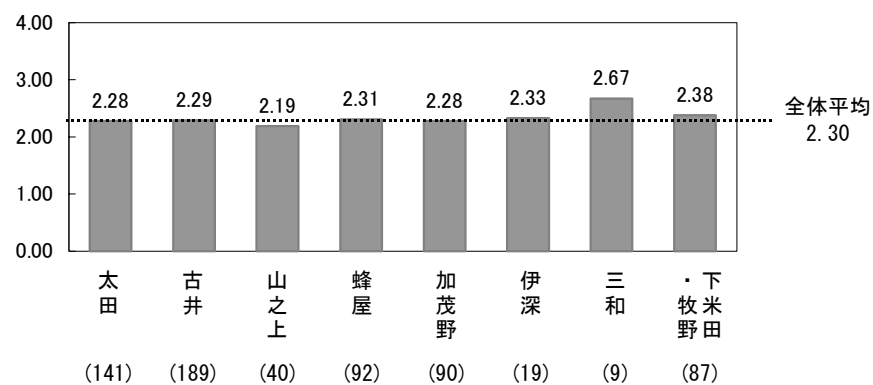
11. 市街地の整備



12. 農林業の振興



13. 観光の振興



基本目標2では、「医療体制の整備」が3.17、「消防・救急体制の整備」が3.07と他の項目より高い満足度を示しています。

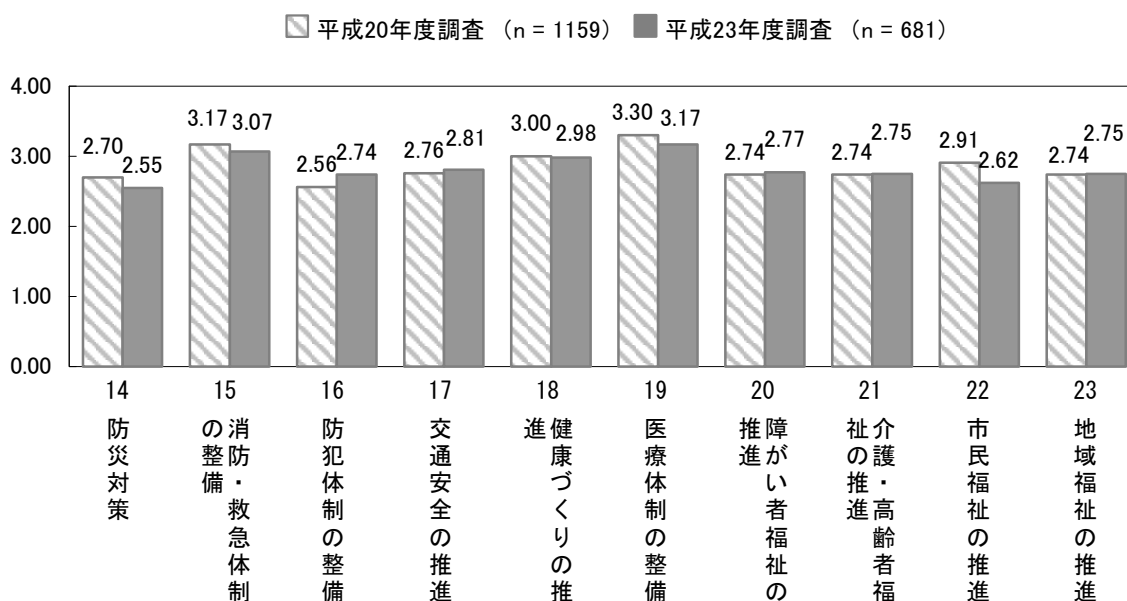
前回調査と比較すると、前回に比べ「防犯体制の整備」で満足度が増加している一方、「防災対策」「消防・救急体制の整備」「医療体制の整備」「市民福祉の推進」で満足度が減少しています。

性別でみると、10項目中7項目で女性に比べ男性のほうがやや満足度が高い傾向がみられます。

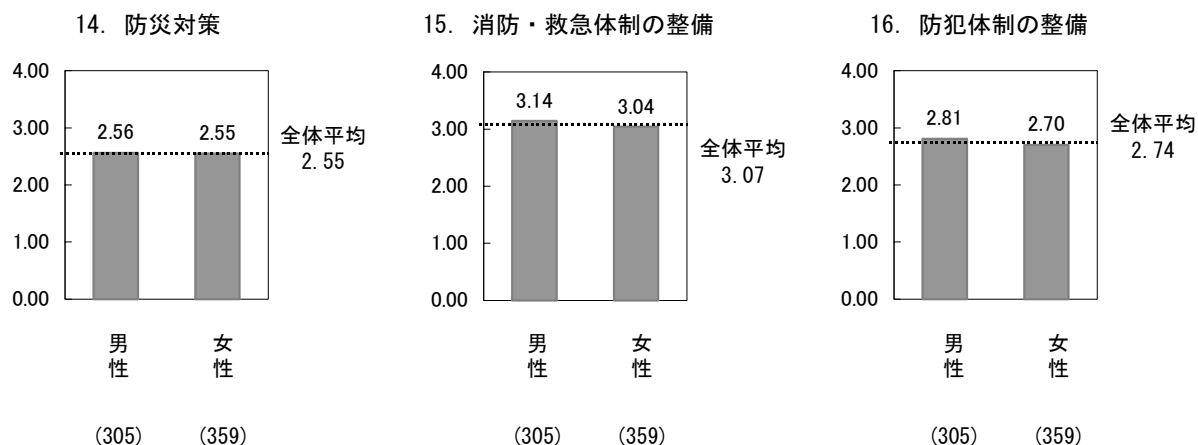
年代別でみると、他の年代に比べ70歳代以上で比較的満足度が高く、30歳代から50歳代で比較的満足度が低い傾向がみられます。

居住地域別でみると、他の居住地域に比べ太田、加茂野、下米田・牧野で全体に比べ比較的満足度が低い傾向がみられます。

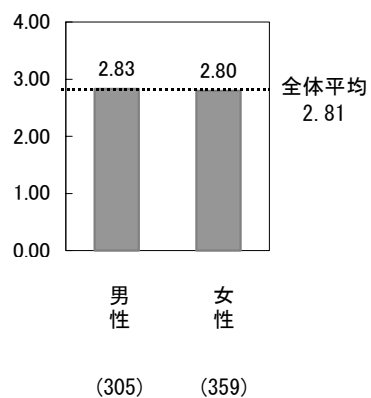
【指標ごとの満足度】



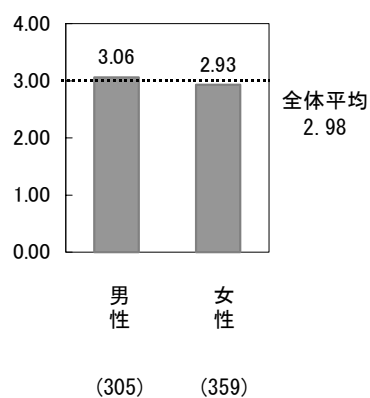
【性別】



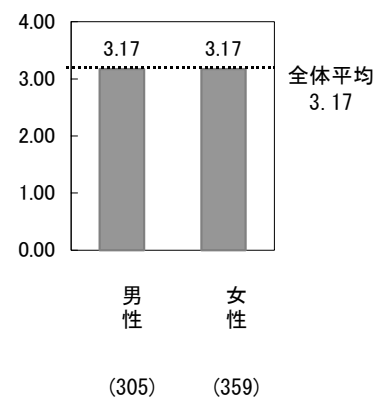
17. 交通安全の推進



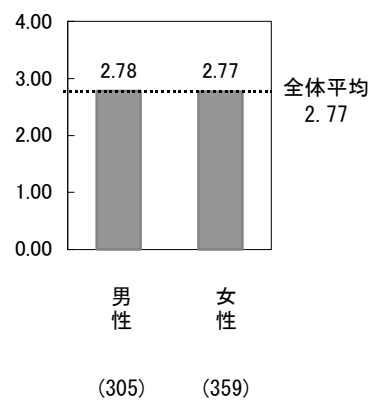
18. 健康づくりの推進



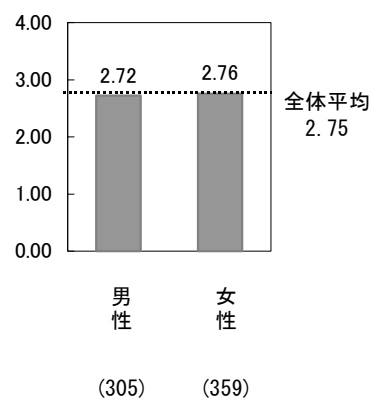
19. 医療体制の整備



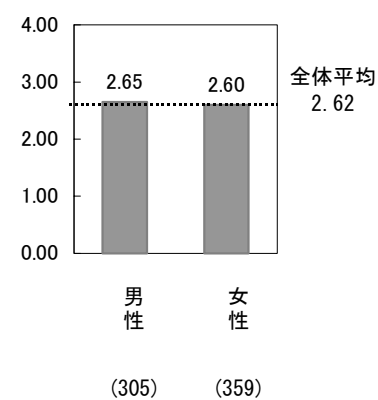
20. 障がい者福祉の推進



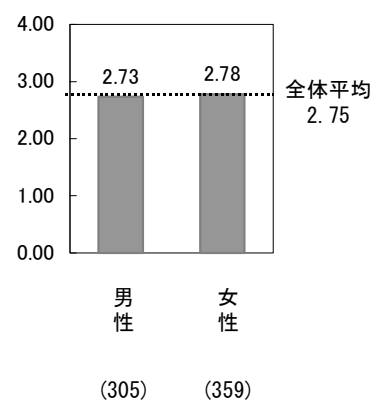
21. 介護・高齢者福祉の推進



22. 市民福祉の推進

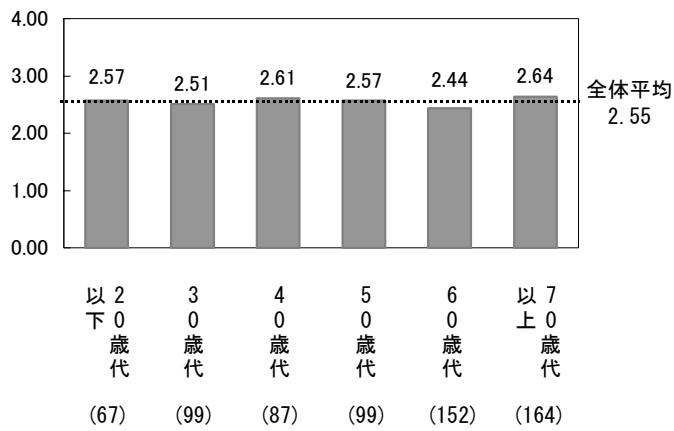


23. 地域福祉の推進

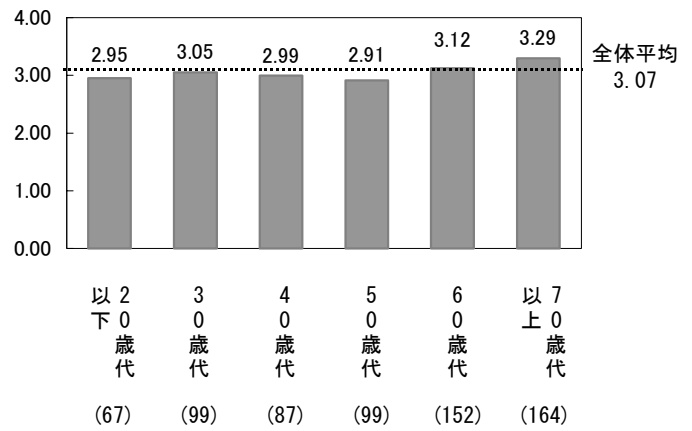


【年代別】

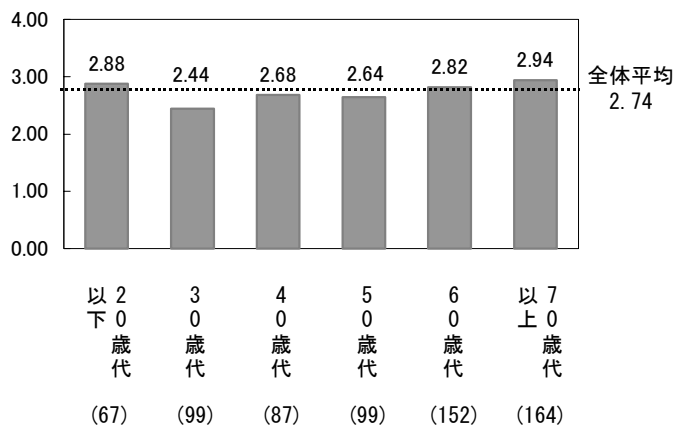
14. 防災対策



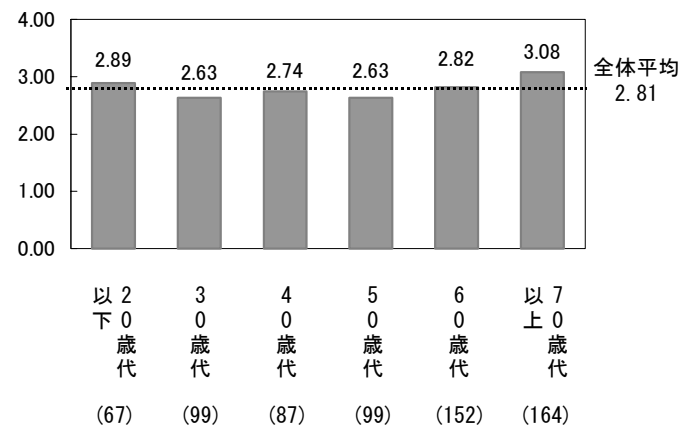
15. 消防・救急体制の整備



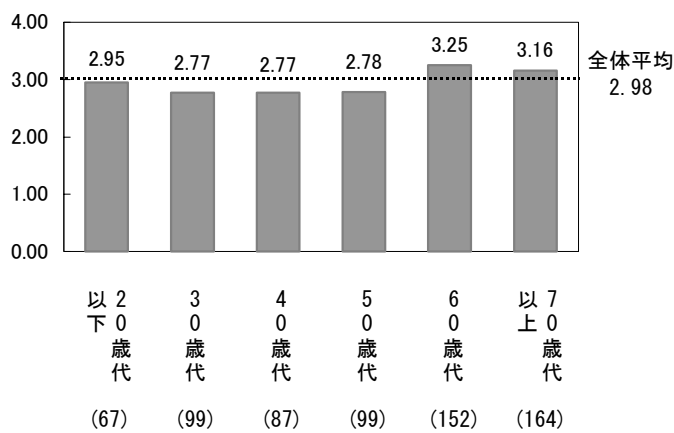
16. 防犯体制の整備



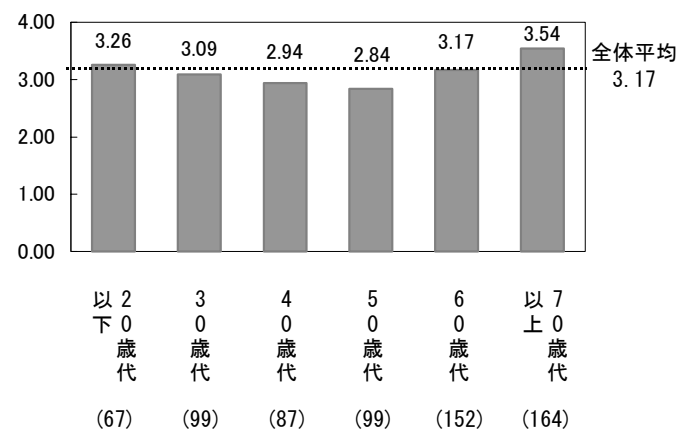
17. 交通安全の推進



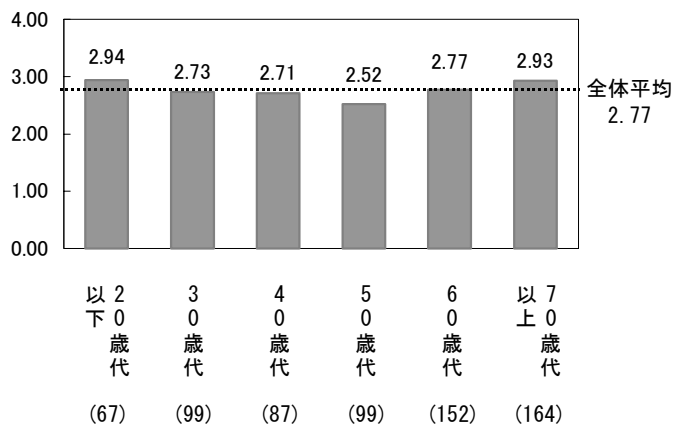
18. 健康づくりの推進



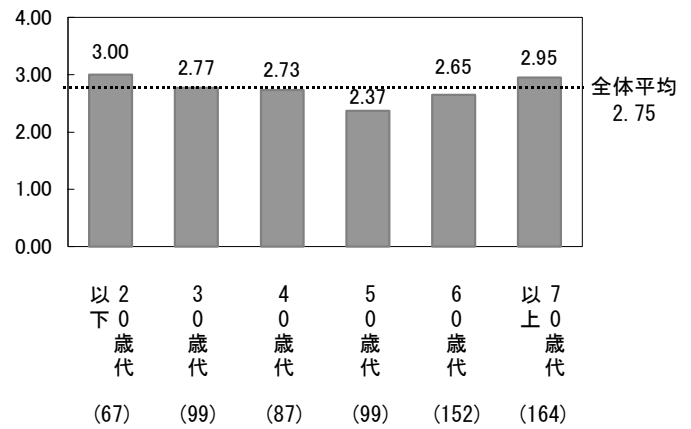
19. 医療体制の整備



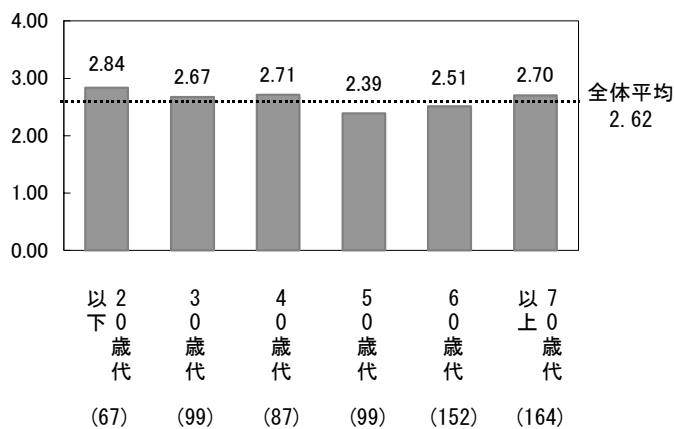
20. 障がい者福祉の推進



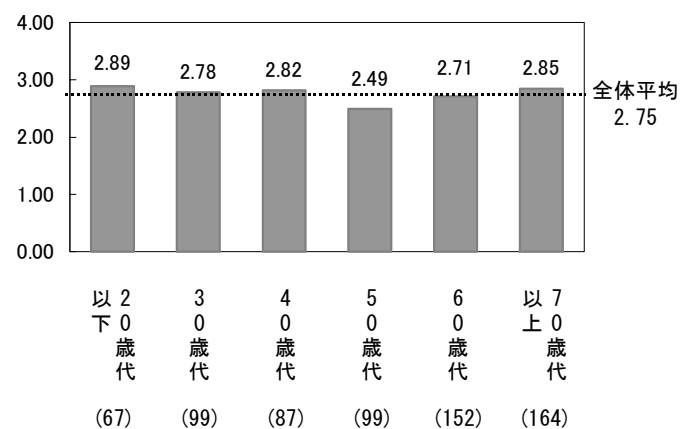
21. 介護・高齢者福祉の推進



22. 市民福祉の推進

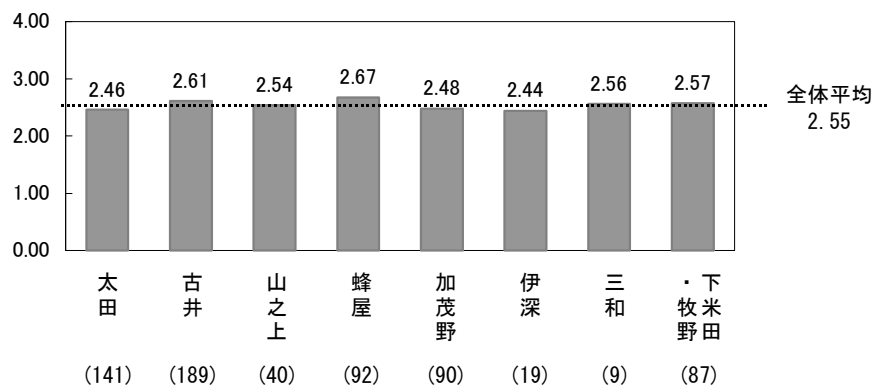


23. 地域福祉の推進

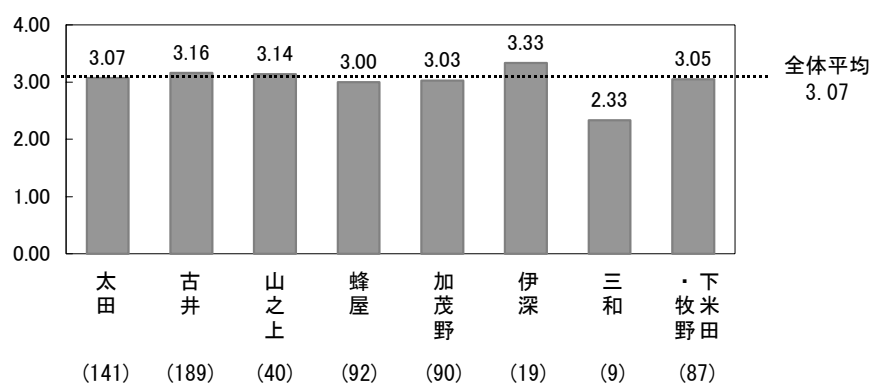


【居住地域別】

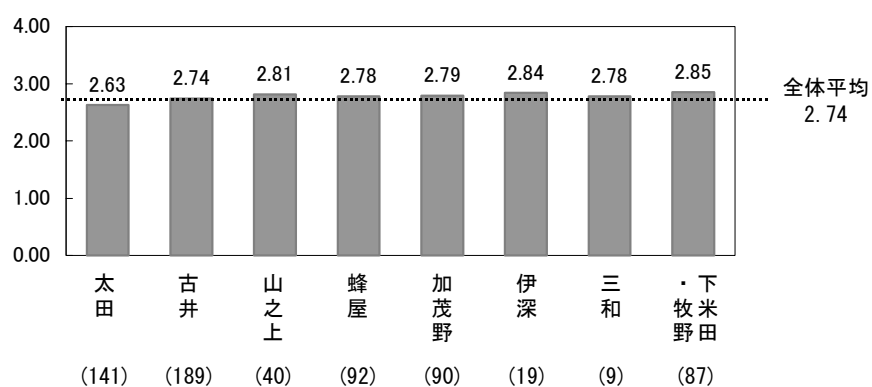
14. 防災対策



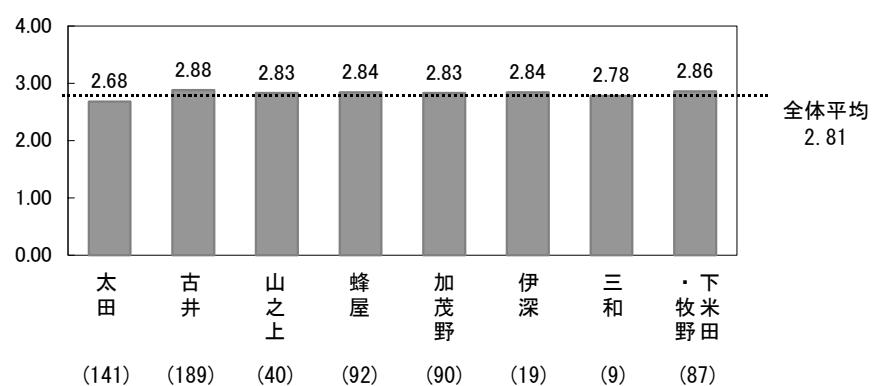
15. 消防・救急体制の整備



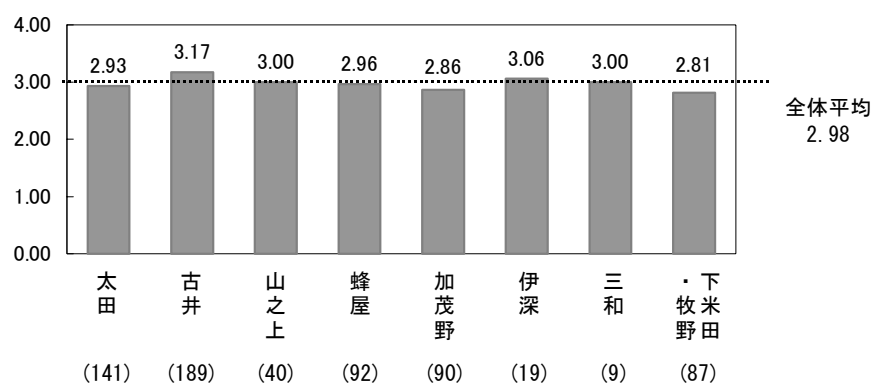
16. 防犯体制の整備



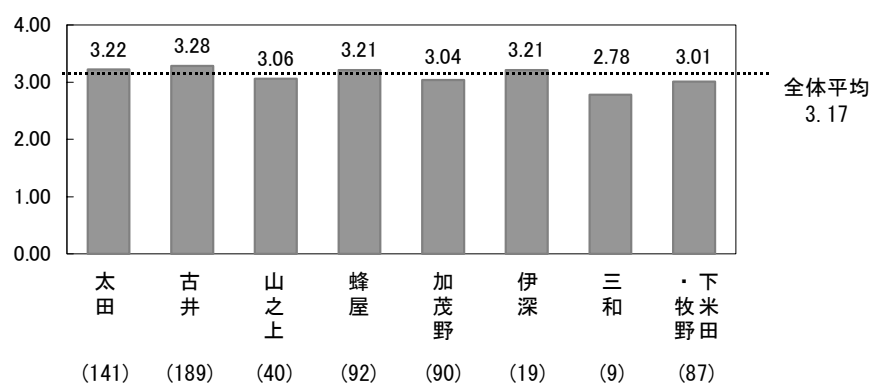
17. 交通安全の推進



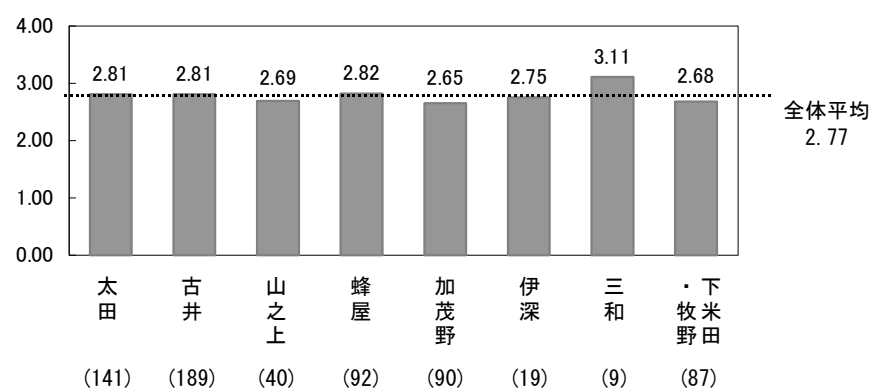
18. 健康づくりの推進



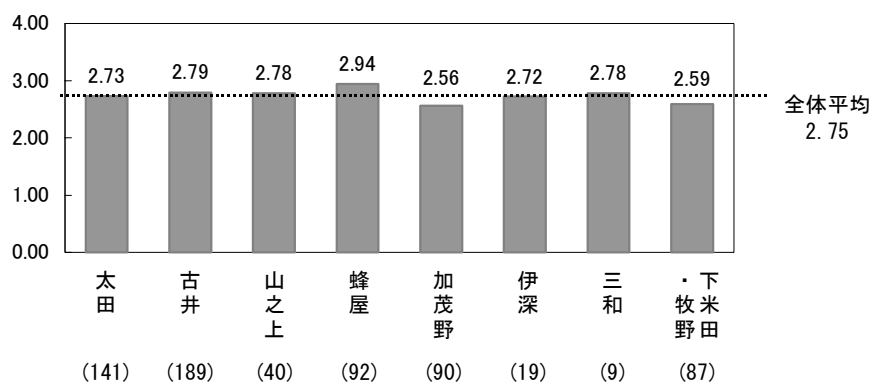
19. 医療体制の整備



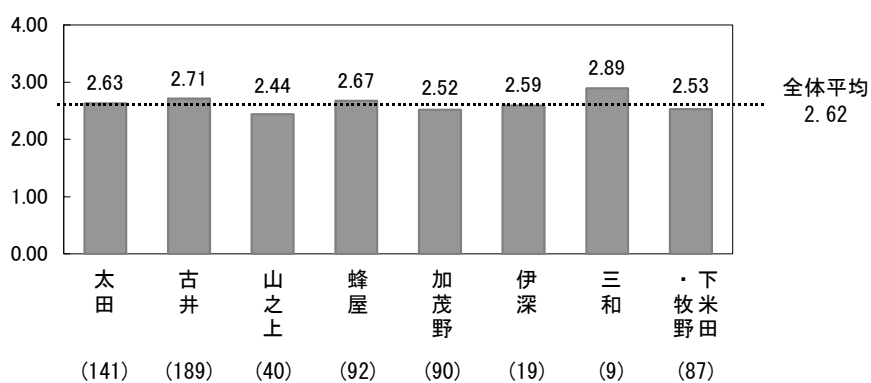
20. 障がい者福祉の推進



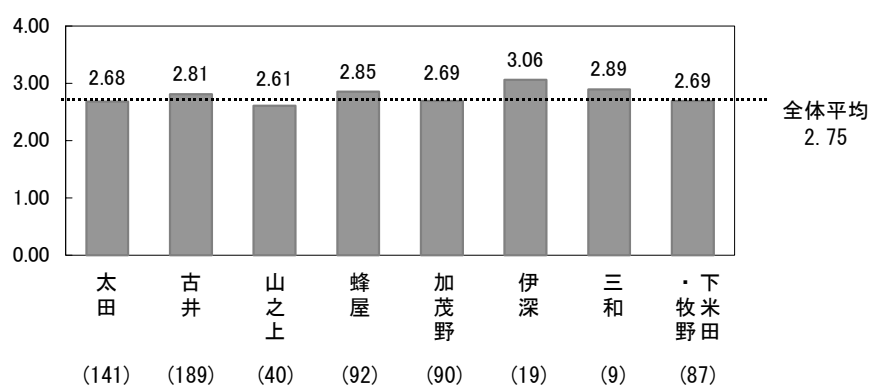
21. 介護・高齢者福祉の推進



22. 市民福祉の推進



23. 地域福祉の推進



基本目標 3

仲良くの「まる」

■快適でこちよく定住できるまち■

基本目標3では、「母子保健の推進」が3.04、「文化・芸術の振興」が3.01、「子育て支援の推進」が2.99と他の項目より高い満足度を示しています。

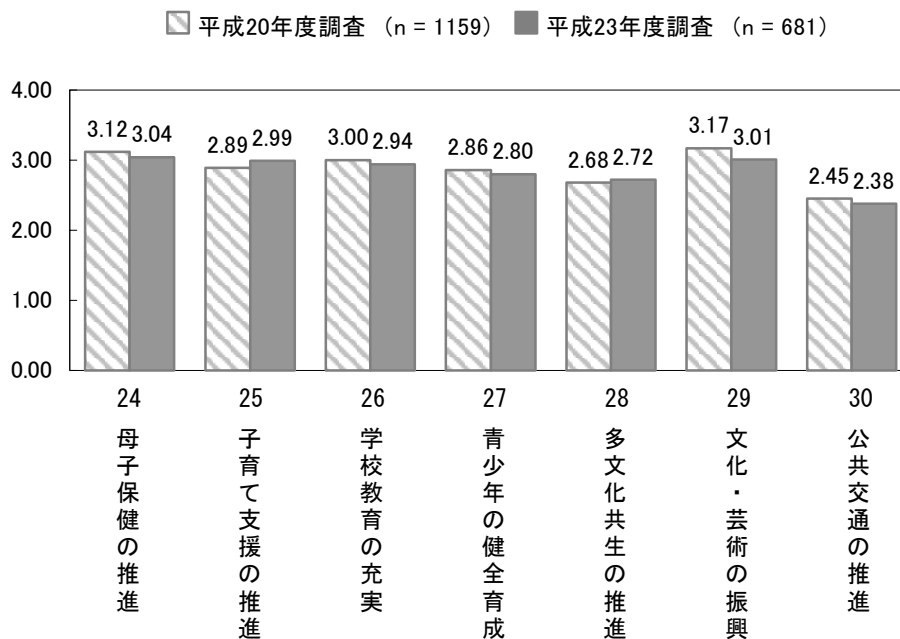
前回調査と比較すると、前回に比べ「文化・芸術の振興」で満足度が減少しています。

性別でみると、「公共交通の推進」を除くすべての項目で男性に比べ女性の満足度が高くなっています。

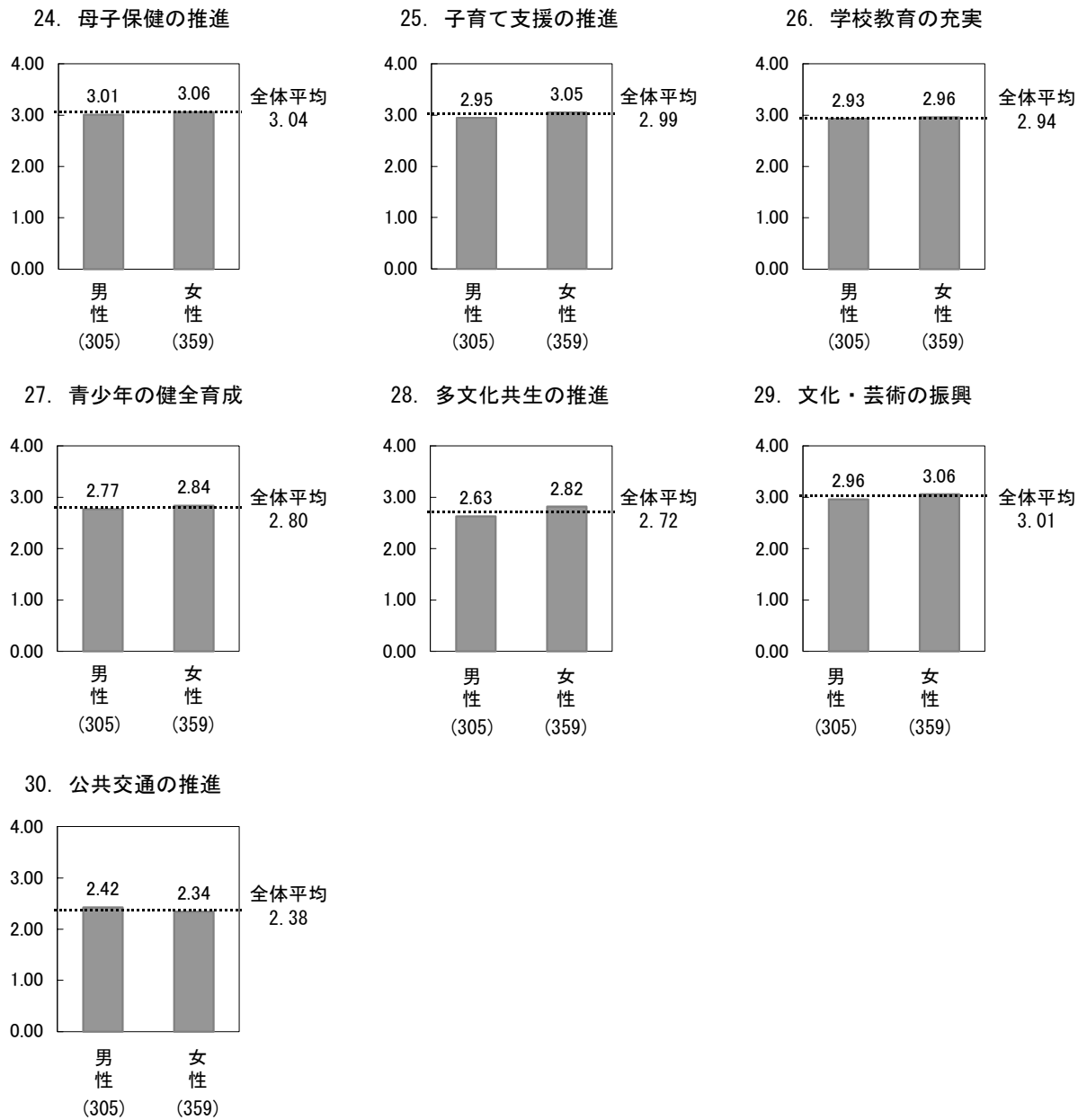
年代別でみると、他の年代に比べ70歳代以上で比較的満足度が高く、50歳代、60歳代では比較的満足度が低い傾向がみられます。

居住地域別でみると、他の居住地域に比べ太田、山之上、加茂野、伊深、下米田・牧野で比較的満足度が低い傾向がみられます。

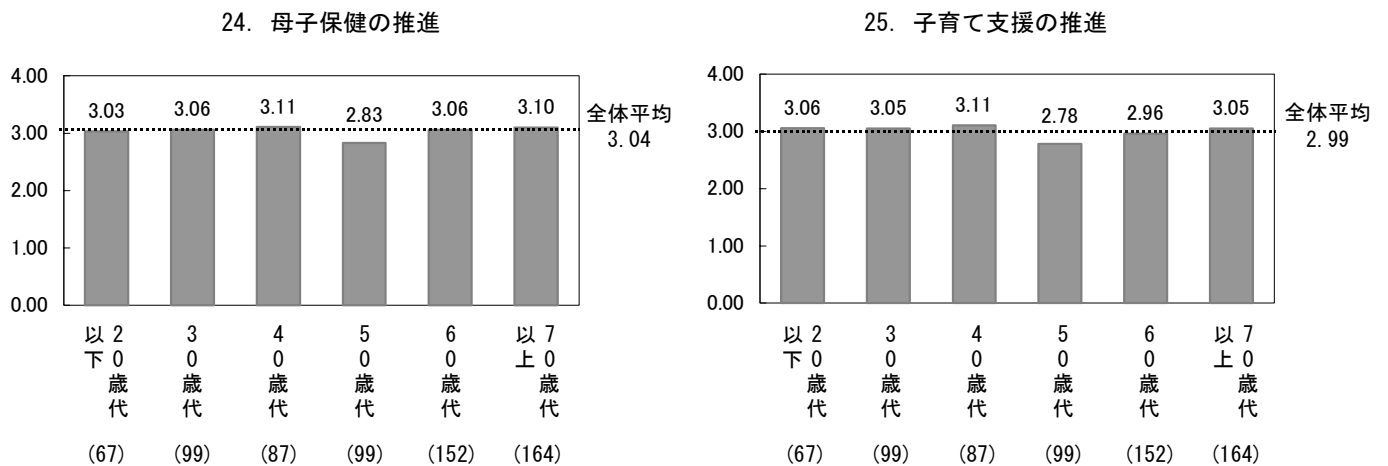
【指標ごとの満足度】



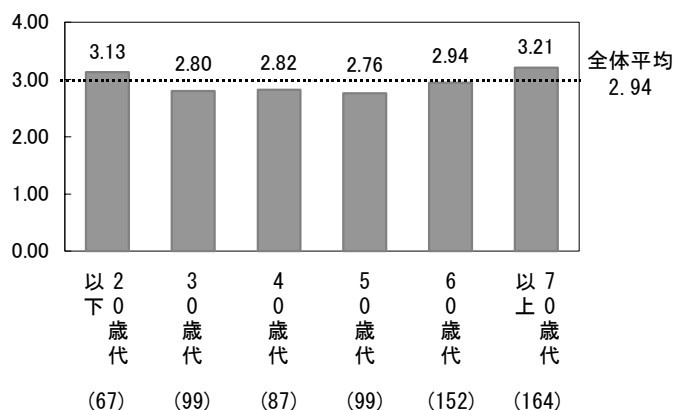
【性別】



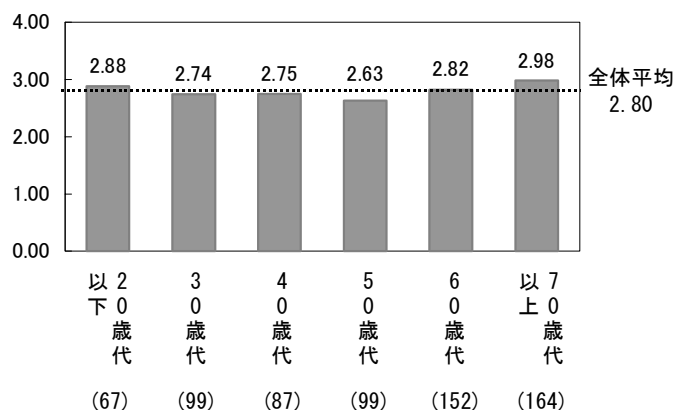
【年代別】



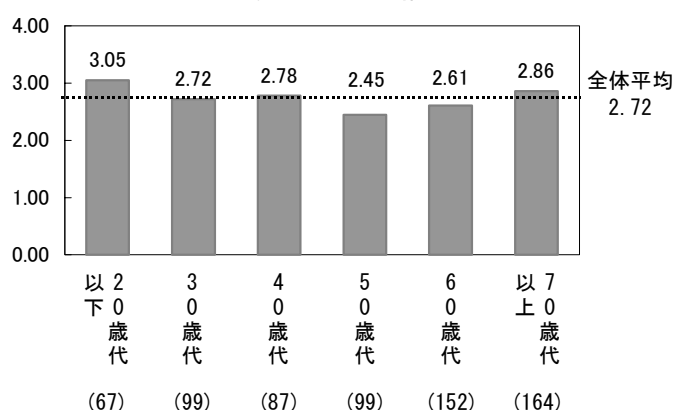
26. 学校教育の充実



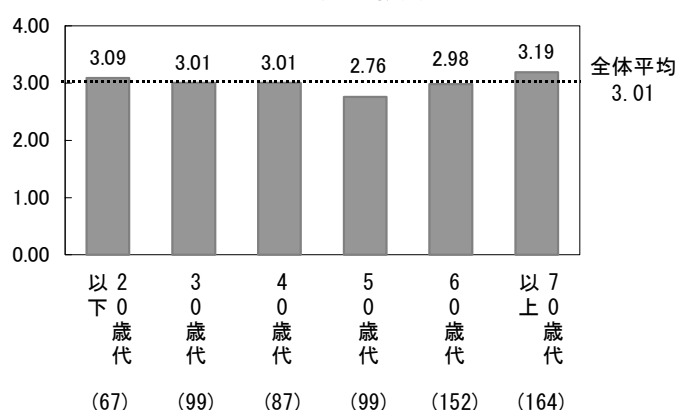
27. 青少年の健全育成



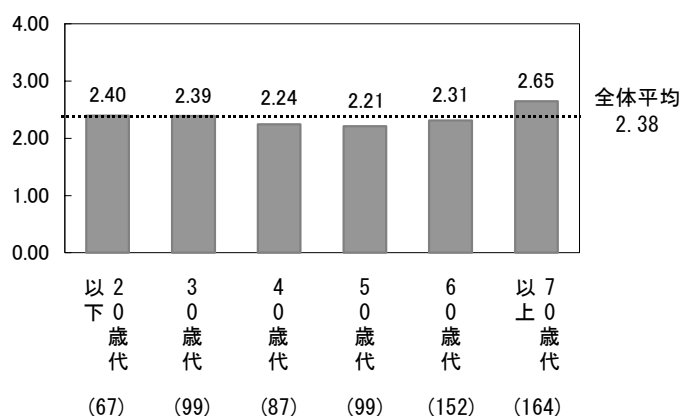
28. 多文化共生の推進



29. 文化・芸術の振興

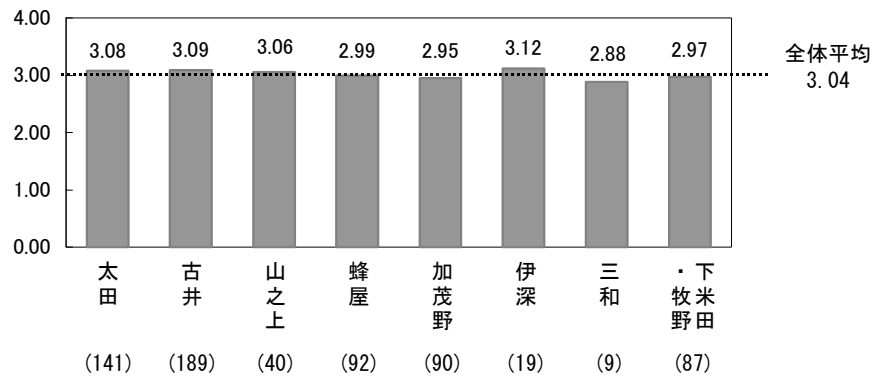


30. 公共交通の推進

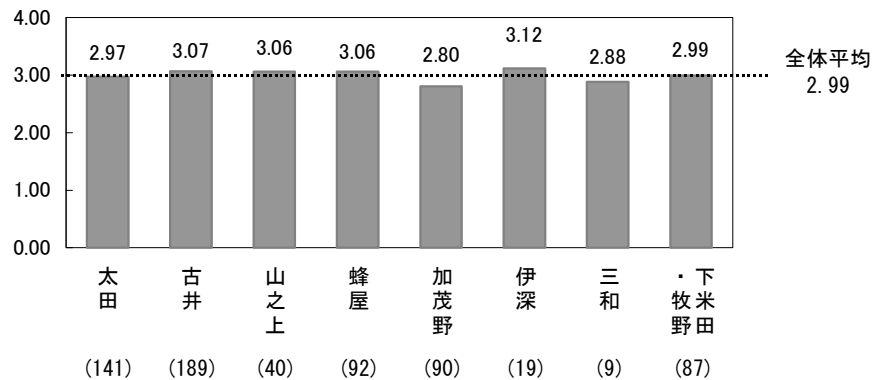


【居住地域別】

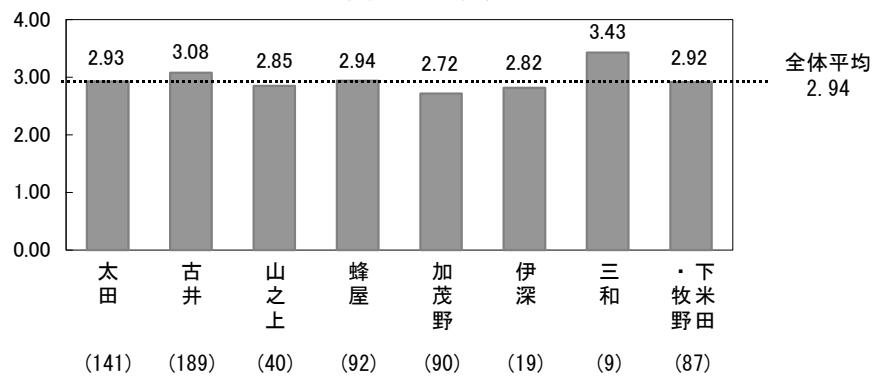
24. 母子保健の推進



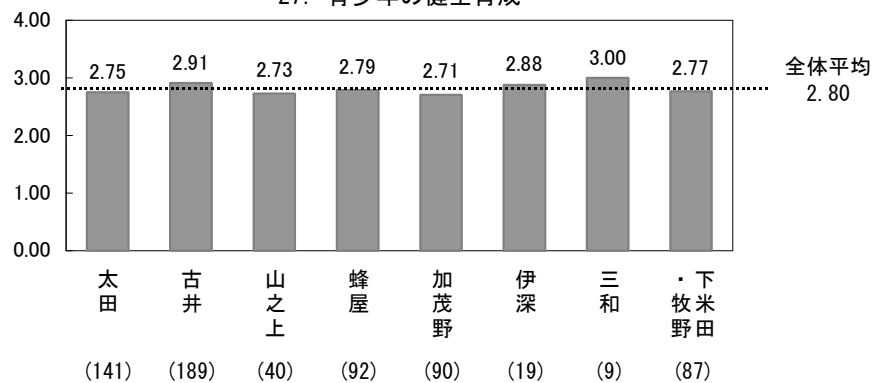
25. 子育て支援の推進



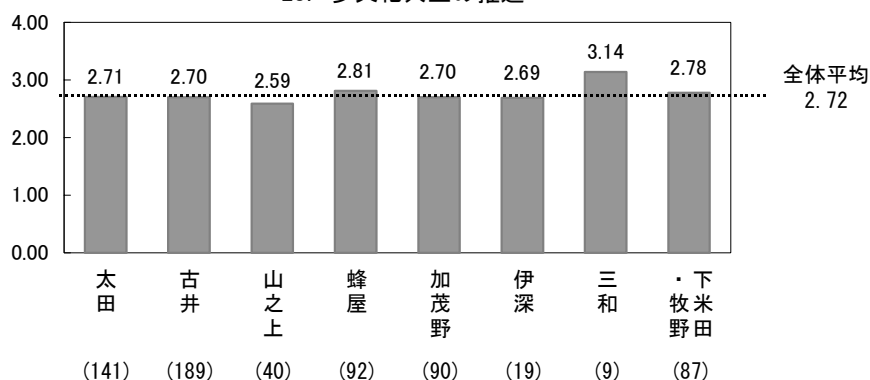
26. 学校教育の充実



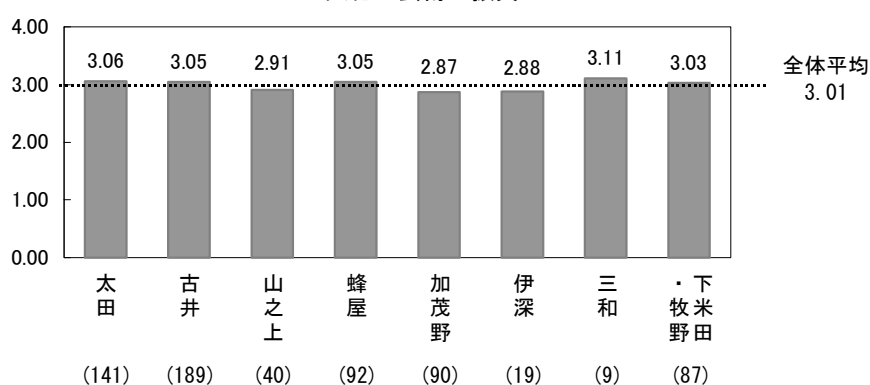
27. 青少年の健全育成



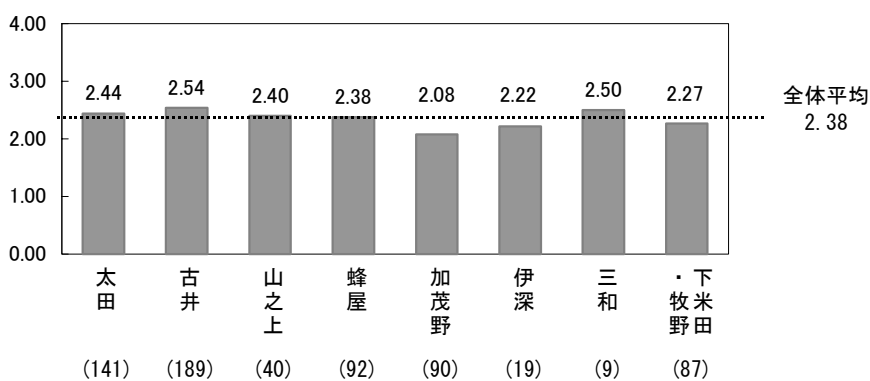
28. 多文化共生の推進



29. 文化・芸術の振興



30. 公共交通の推進



基本目標4では、「ごみの減量、省エネ、リサイクル対策」が3.10と他の項目より高い満足度を示しています。

前回調査と比較すると、前回に比べ「ごみの減量、省エネ、リサイクル対策」で満足度が減少しています。

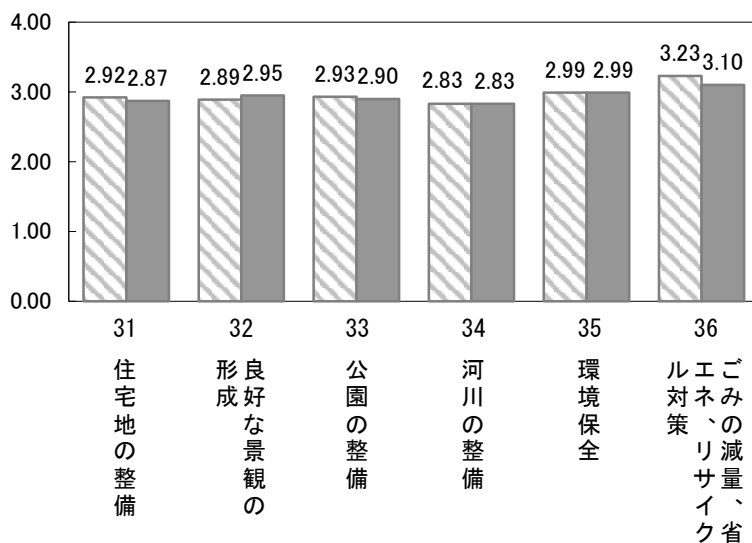
性別でみると、6項目中4項目で男性に比べ女性のほうがやや満足度が高い傾向がみられます。

年代別でみると、他の年代に比べ70歳代以上で比較的満足度が高く、30歳代から60歳代では比較的満足度が低い傾向がみられます。

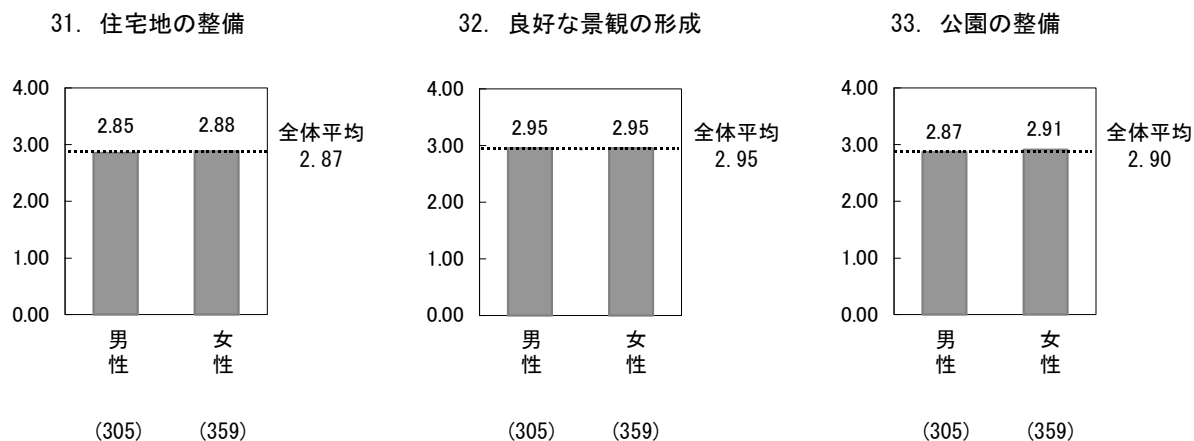
居住地域別でみると、他の居住地域に比べ古井、三和で比較的満足度が高く、加茂野、下米田、牧野では比較的満足度が低い傾向がみられます。

【指標ごとの満足度】

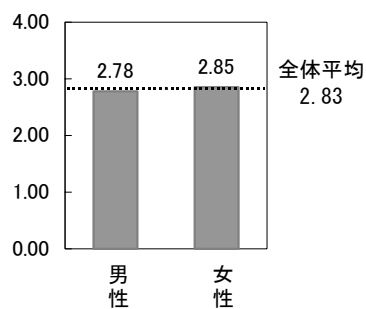
■ 平成20年度調査 (n = 1159) ■ 平成23年度調査 (n = 681)



【性別】

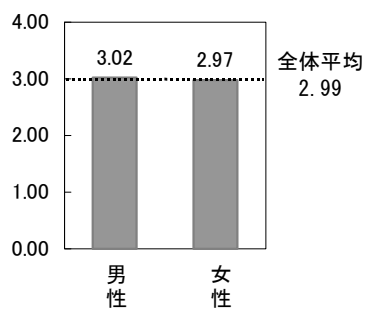


34. 河川の整備



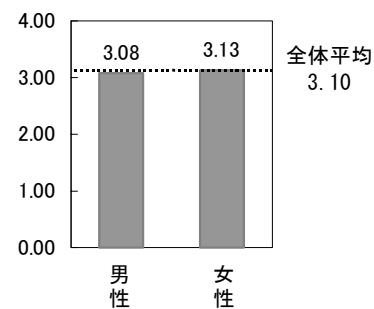
(305) (359)

35. 環境保全



(305) (359)

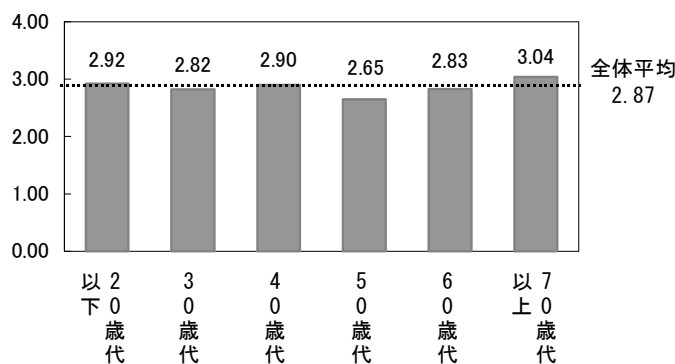
36. ごみの減量、省エネ、リサイクル対策



(305) (359)

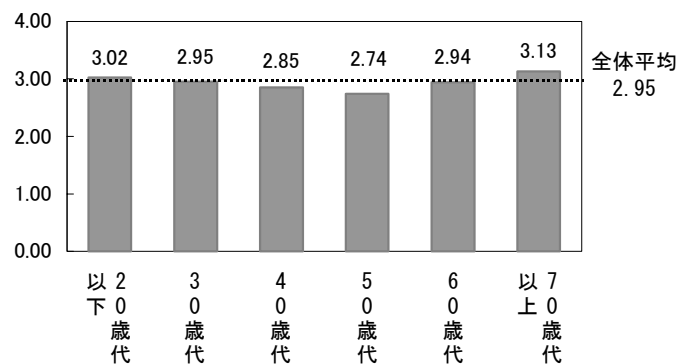
【年代別】

31. 住宅地の整備



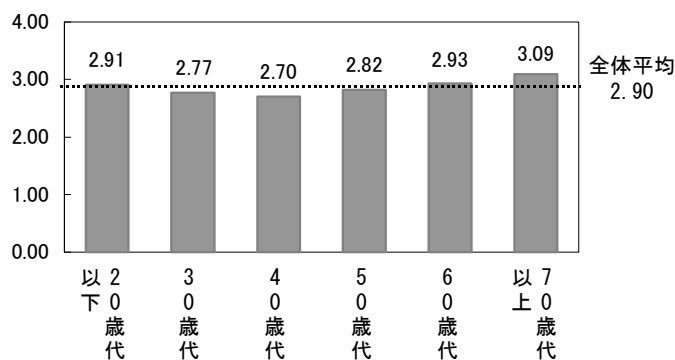
(67) (99) (87) (99) (152) (164)

32. 良好な景観の形成



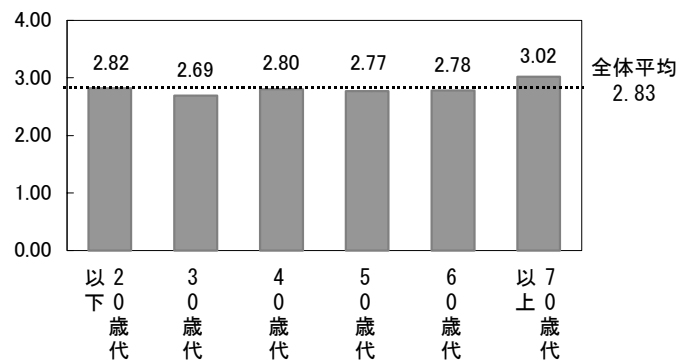
(67) (99) (87) (99) (152) (164)

33. 公園の整備



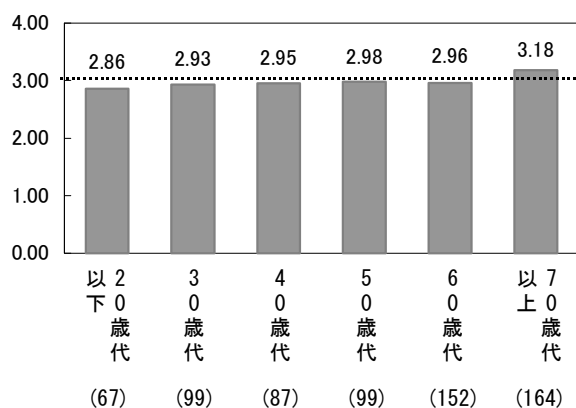
(67) (99) (87) (99) (152) (164)

34. 河川の整備

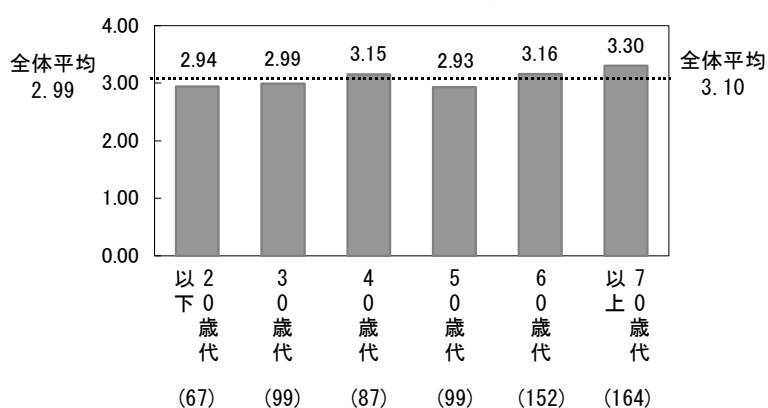


(67) (99) (87) (99) (152) (164)

35. 環境保全

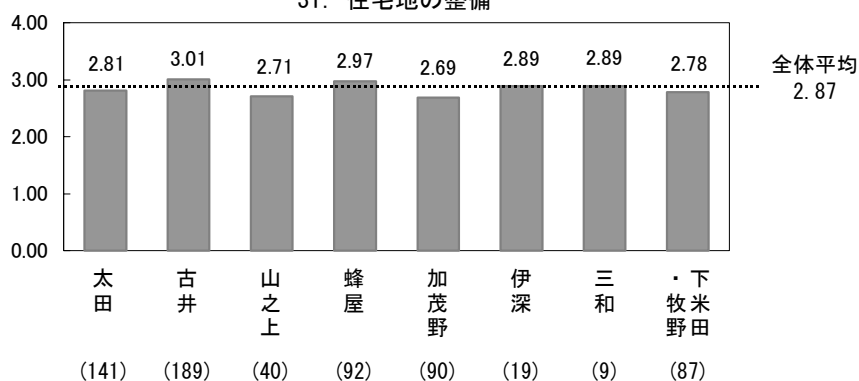


36. ごみの減量、省エネ、リサイクル対策

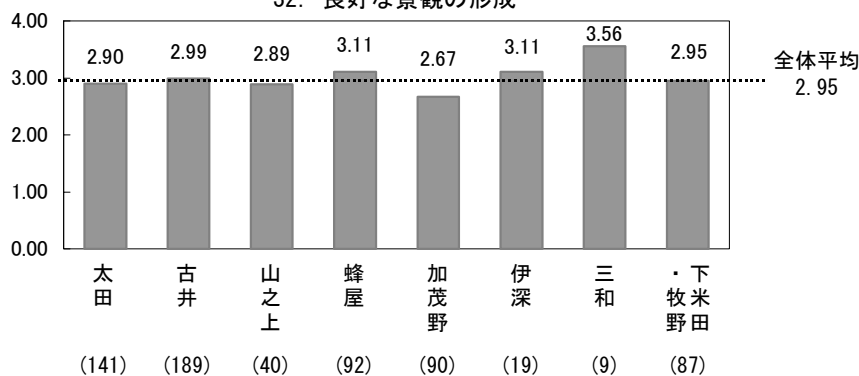


【居住地域別】

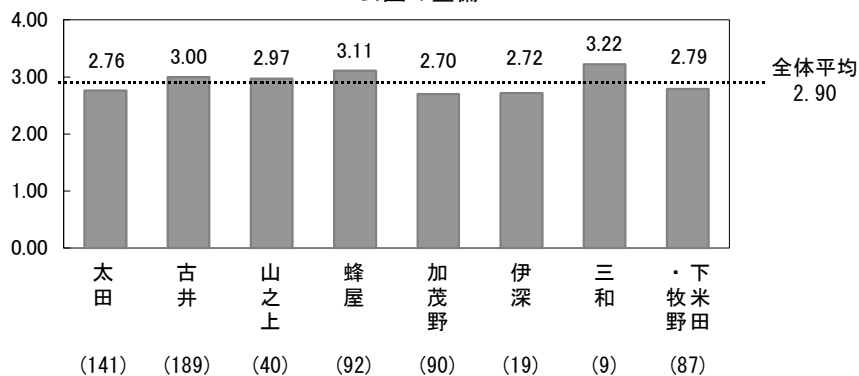
31. 住宅地の整備



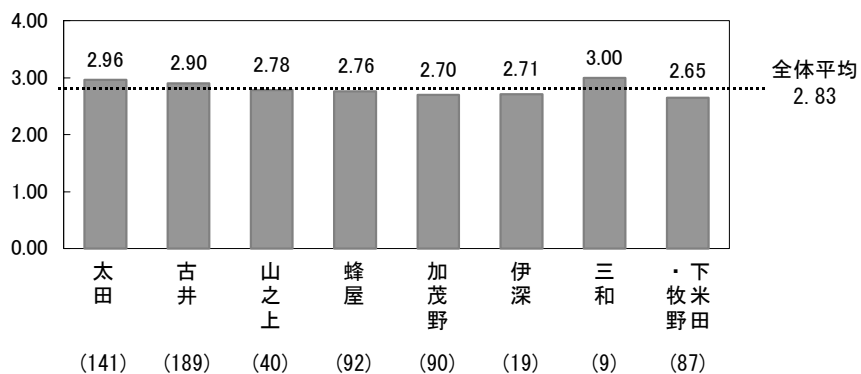
32. 良好な景観の形成



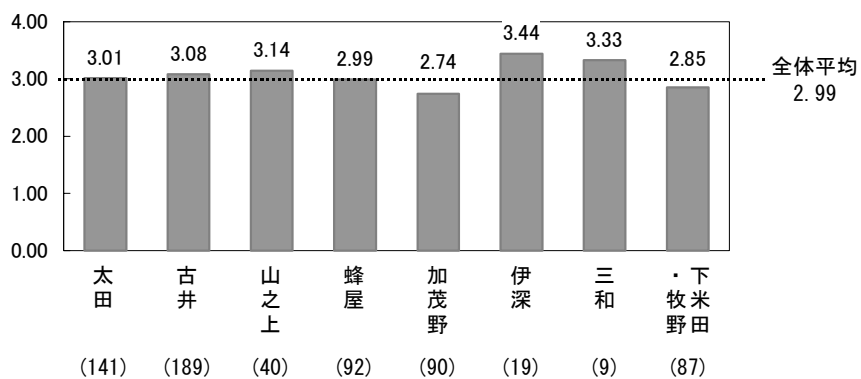
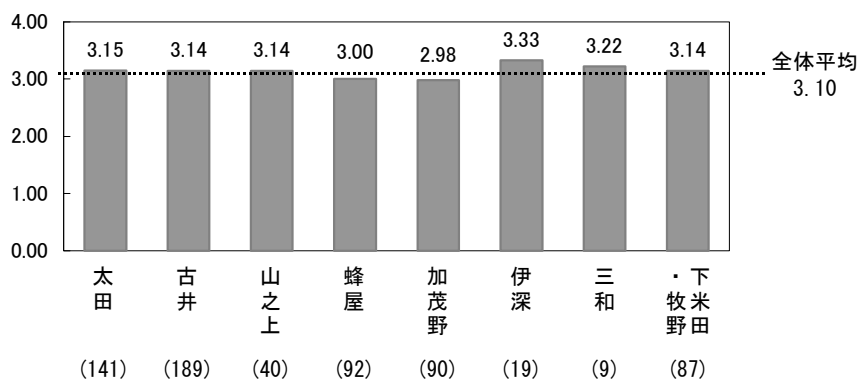
33. 公園の整備



34. 河川の整備



35. 環境保全

36. ごみの減量、省エネ、
リサイクル対策

市役所の経営方針

市役所の経営方針では、「行政サービスの向上」が3.00と他の項目より高い満足度を示しています。

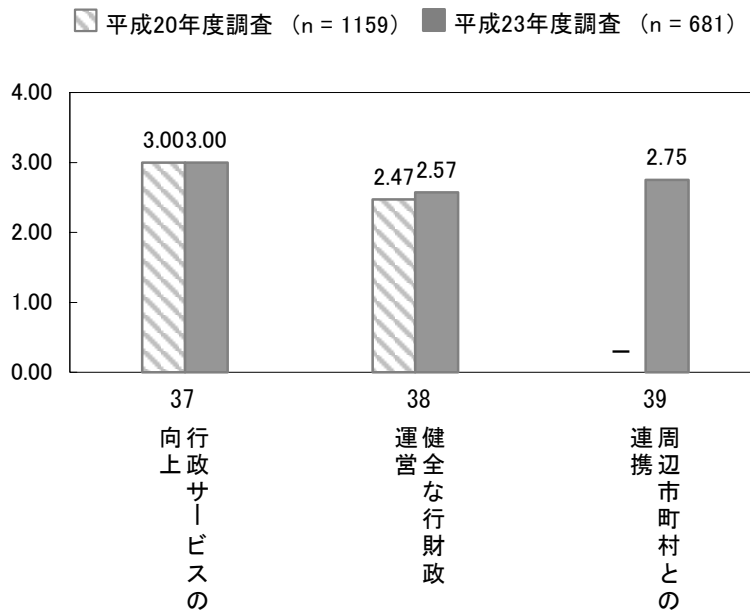
前回調査と比較すると、前回に比べ「健全な行財政運営」で満足度が増加しています。

性別でみると、すべての項目で男性に比べ女性のほうがやや満足度が高い傾向がみられます。

年代別でみると、他の年代に比べ40歳代、70歳代以上で比較的満足度が高く、20歳代以下、30歳代、50歳代、60歳代では比較的満足度が低い傾向がみられます。

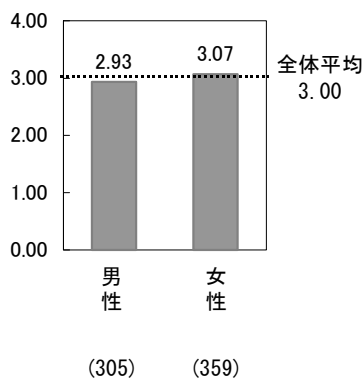
居住地域別でみると、他の地域に比べ三和で比較的満足度が高く、山之上、蜂屋、下米田・牧野では比較的満足度が低い傾向がみられます。

【指標ごとの満足度】

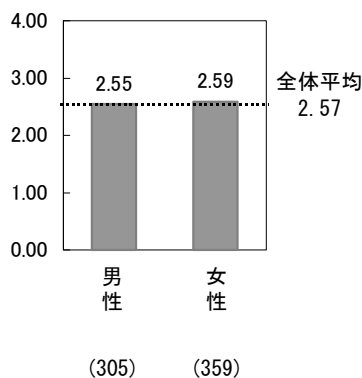


【性別】

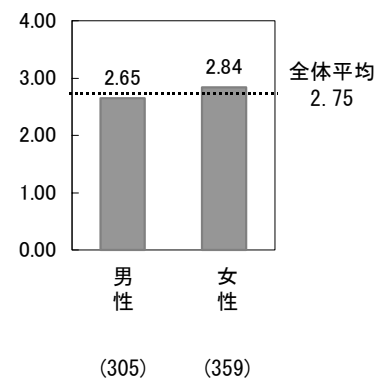
37. 行政サービスの向上



38. 健全な行財政運営

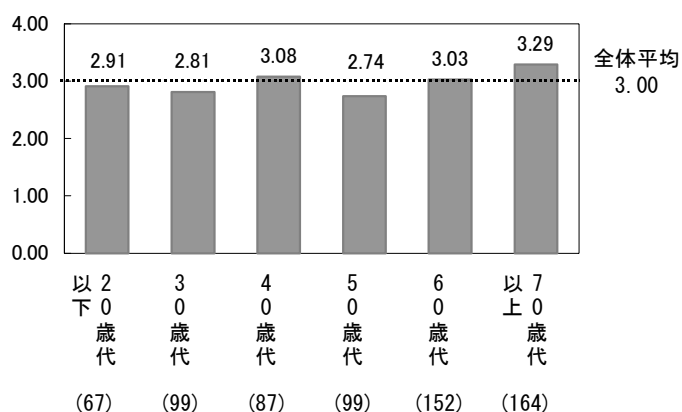


39. 周辺市町村との連携

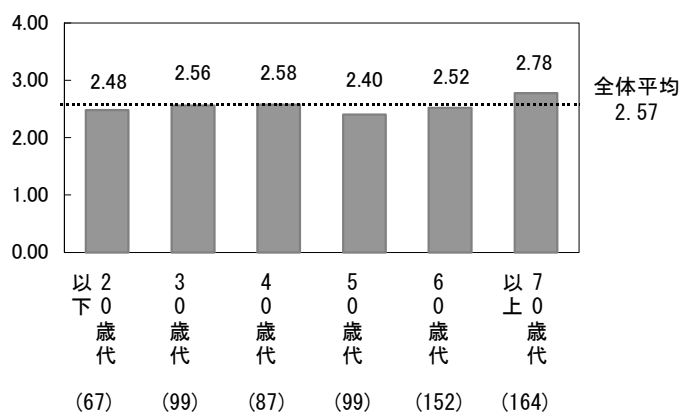


【年代別】

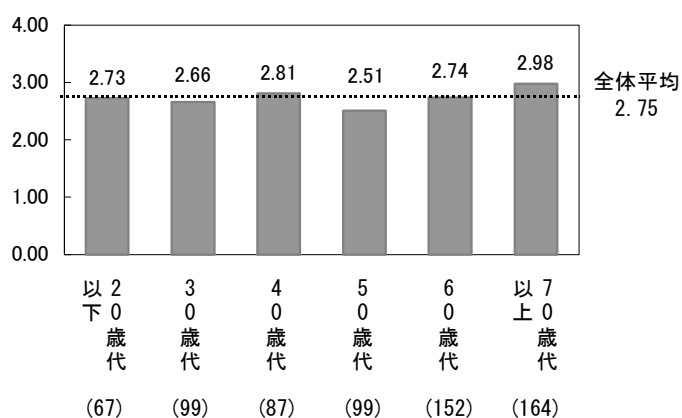
37. 行政サービスの向上



38. 健全な行財政運営

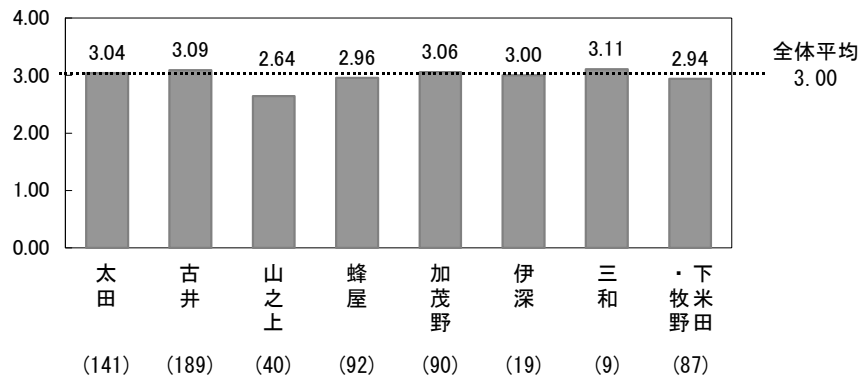


39. 周辺市町村との連携

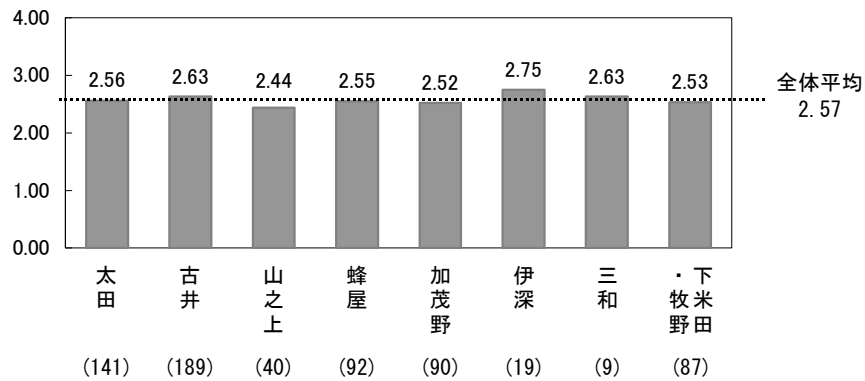


【居住地域別】

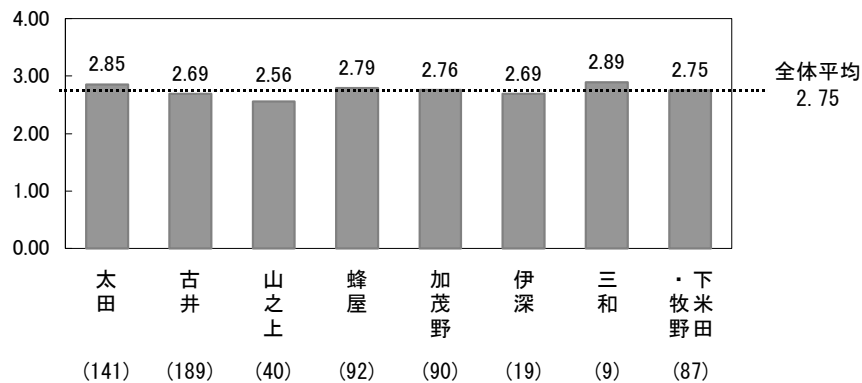
37. 行政サービスの向上



38. 健全な行財政運営



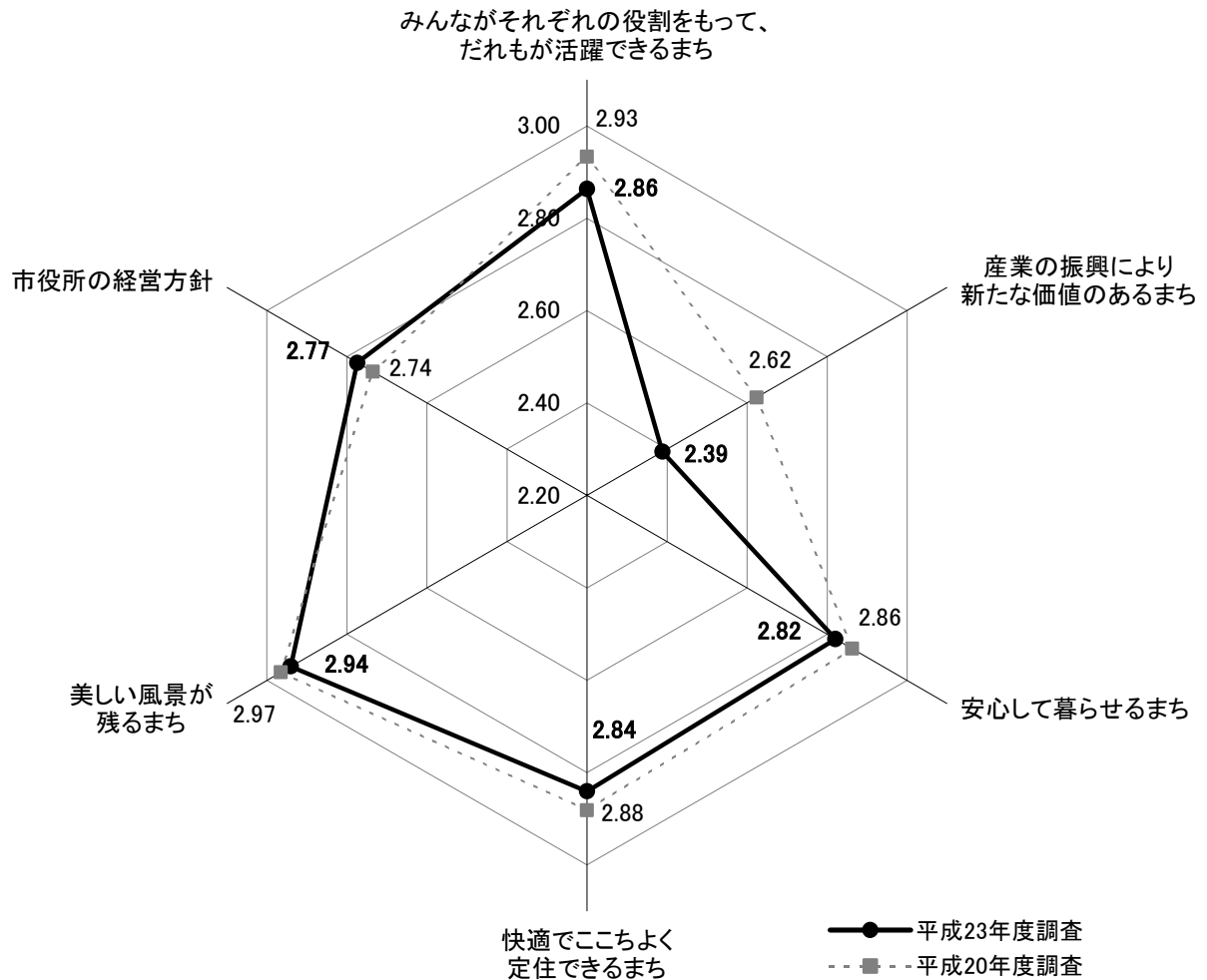
39. 周辺市町村との連携



■目標ごとの総合評価■

目標ごとの平均点を表すと、以下のようになります。「美しい風景が残るまち」が2.94と最も高くなっています。一方、「産業の振興により新たな価値のあるまち」が他の分野に比べ2.39と低くなっています。

前回調査と比較すると「産業の振興により新たな価値のあるまち」が減少傾向にあります。



※平成20年度調査の分野と、平成23年度調査の目標との整合性をもたせました。

■今後、特に期待する取り組みについて■

「介護・高齢者福祉の推進」の割合が 12.8%と最も高く、次いで「労働環境の整備」の割合が 12.6%、「防犯体制の整備」の割合が 12.3%となっています。

n = 681



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ 20 歳代以下で「美濃加茂ブランドの創造」「商業の振興」「市街地の整備」「公共交通の推進」の割合が高くなっています。また、20 歳代以下、30 歳代で「母子保健の推進」「子育て支援の推進」の割合が、40 歳代以下で「学校教育の充実」の割合が、40 歳代で「行政サービスの向上」の割合が高くなっています。

単位：％

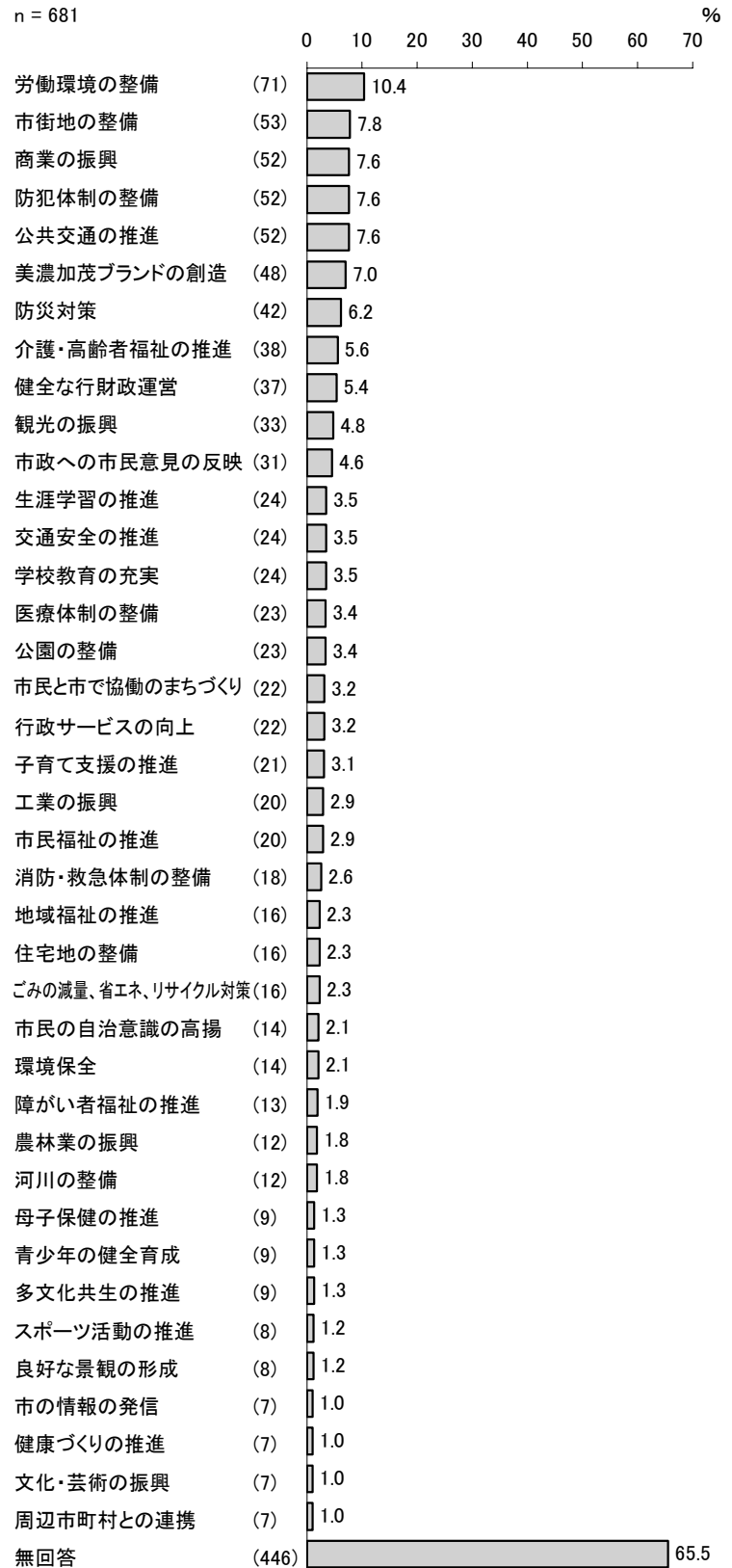
区分		有効回答数 (件)	市の情報の発信	市政への市民意見の反映	生涯学習の推進	スポーツ活動の推進	市民と市で協働のまちづくり	市民の自治意識の高揚	美濃加茂ブランドの創造	労働環境の整備	商業の振興	工業の振興	市街地の整備	農林業の振興	観光の振興
年代別	20 歳代以下	67	3.0	4.5	11.9	7.5	3.0	—	19.4	20.9	14.9	7.5	17.9	3.0	6.0
	30 歳代	99	8.1	8.1	9.1	6.1	4.0	3.0	14.1	17.2	8.1	11.1	12.1	2.0	11.1
	40 歳代	87	2.3	13.8	6.9	2.3	3.4	5.7	11.5	19.5	9.2	1.1	8.0	5.7	6.9
	50 歳代	99	5.1	13.1	7.1	2.0	10.1	7.1	12.1	15.2	7.1	7.1	11.1	5.1	9.1
	60 歳代	152	6.6	9.9	7.2	3.9	9.2	7.9	12.5	9.2	9.2	9.2	9.9	4.6	8.6
	70 歳代以上	164	4.3	6.7	2.4	1.8	5.5	4.3	7.9	4.9	5.5	3.7	4.9	3.7	2.4

区分		防災対策	消防・救急体制の整備	防犯体制の整備	交通安全の推進	健康づくりの推進	医療体制の整備	障がい者福祉の推進	介護・高齢者福祉の推進	市民福祉の推進	地域福祉の推進	母子保健の推進	子育て支援の推進	学校教育の充実	青少年の健全育成
年代別	20 歳代以下	13.4	6.0	16.4	7.5	—	14.9	6.0	14.9	7.5	6.0	11.9	25.4	13.4	3.0
	30 歳代	10.1	12.1	20.2	9.1	3.0	12.1	7.1	11.1	4.0	6.1	10.1	19.2	16.2	6.1
	40 歳代	10.3	9.2	19.5	5.7	1.1	10.3	2.3	12.6	3.4	4.6	3.4	9.2	14.9	3.4
	50 歳代	10.1	7.1	8.1	6.1	4.0	9.1	3.0	18.2	6.1	5.1	4.0	8.1	7.1	4.0
	60 歳代	9.9	7.2	12.5	4.6	4.6	9.2	3.3	14.5	5.3	7.2	2.6	4.6	5.9	2.0
	70 歳代以上	7.9	5.5	5.5	4.3	1.2	4.3	1.8	9.1	3.0	3.7	2.4	4.3	2.4	1.8

区分		多文化共生の推進	文化・芸術の振興	公共交通の推進	住宅地の整備	良好な景観の形成	公園の整備	河川の整備	環境保全	ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	行政サービスの向上	健全な行財政運営	周辺市町村との連携	無回答
年代別	20 歳代以下	6.0	6.0	23.9	9.0	4.5	9.0	4.5	9.0	9.0	4.5	11.9	6.0	43.3
	30 歳代	4.0	2.0	10.1	1.0	4.0	11.1	2.0	9.1	7.1	7.1	16.2	2.0	46.5
	40 歳代	4.6	2.3	14.9	3.4	2.3	5.7	2.3	4.6	4.6	1.1	10.3	—	49.4
	50 歳代	4.0	2.0	4.0	8.1	3.0	5.1	3.0	4.0	6.1	13.1	12.1	2.0	60.6
	60 歳代	3.3	3.3	9.9	3.9	3.3	4.6	3.9	5.3	7.2	3.9	6.6	—	60.5
	70 歳代以上	0.6	3.0	3.7	0.6	2.4	1.8	2.4	4.3	2.4	4.9	4.9	2.4	75.0

■取り組みに不満があるが、その取り組みに今後、期待している人の割合■

問17でそれぞれの取り組みに不満（「不満」もしくは「やや不満」）と回答し、かつそれぞれの取り組みにおいて「今後、特に期待している取り組み」に回答した人の割合については、「労働環境の整備」の割合が10.4%、「市街地の整備」の割合が7.8%、「商業の振興」「防犯体制の整備」「公共交通の推進」の割合が7.6%となっています。

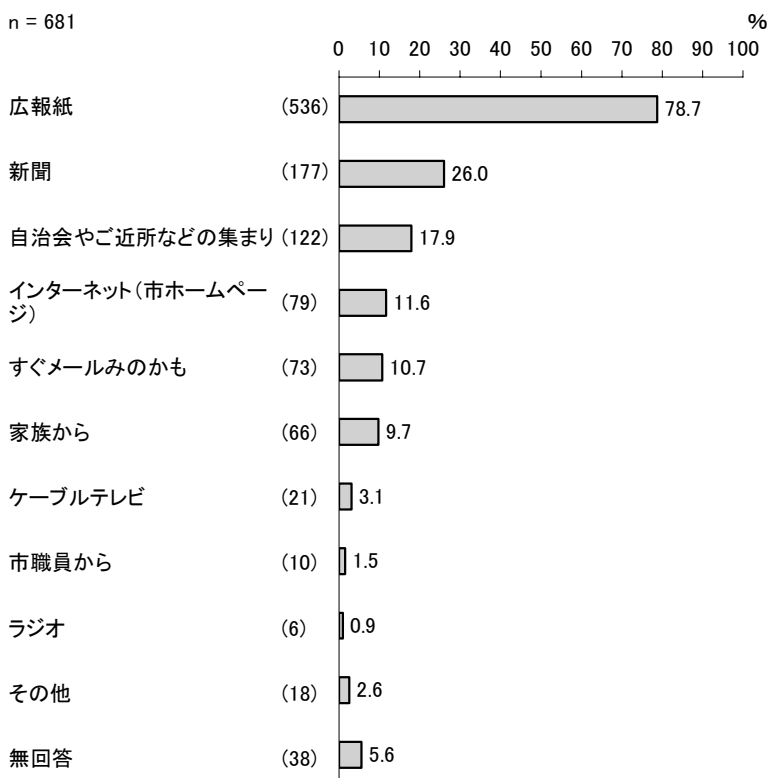


※ ここでの「無回答」については、不満以外の回答をした人も含みます。

6 情報化について

問 18 日ごろ市の情報をどのように収集していますか。(○は2つまで)

「広報紙」の割合が 78.7%と最も高く、次いで「新聞」の割合が 26.0%、「自治会やご近所などの集まり」の割合が 17.9%となっています。



①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「インターネット(市ホームページ)」「自治会やご近所などの集まり」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ女性で「すぐメールみのかも」「家族から」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ 20 歳代以下で「家族から」の割合が、40 歳代以下で「インターネット(市ホームページ)」の割合が、30 歳代、40 歳代で「すぐメールみのかも」の割合が、50 歳代以上で「自治会やご近所などの集まり」の割合が、60 歳代以上で「新聞」の割合が高くなっています。一方、20 歳代で「広報紙」の割合が低く、6 割未満となっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	広報紙	インターネット (市ホームページ)	ケーブルテレビ	すぐメールみのかも	新聞	市職員から	家族から	自治会やご近所 などの集まり	ラジオ	その他	無回答
性別	男性	305	79.7	14.8	3.0	8.2	24.3	1.6	6.2	20.3	0.3	3.3	4.3
	女性	359	79.1	9.2	3.3	13.4	27.0	1.4	12.5	15.0	1.4	2.2	6.1
年代別	20 歳代以下	67	56.7	26.9	4.5	4.5	19.4	4.5	29.9	6.0	1.5	1.5	3.0
	30 歳代	99	80.8	17.2	5.1	21.2	11.1	—	11.1	11.1	—	6.1	1.0
	40 歳代	87	83.9	20.7	1.1	25.3	13.8	1.1	6.9	10.3	—	—	—
	50 歳代	99	84.8	12.1	2.0	9.1	24.2	—	5.1	25.3	—	2.0	4.0
	60 歳代	152	84.9	4.6	2.6	6.6	34.9	2.6	6.6	23.0	0.7	3.3	5.9
	70 歳代以上	164	75.6	3.7	3.7	4.9	36.0	1.2	7.3	20.1	2.4	2.4	12.8

②美濃加茂市の住みよさ別

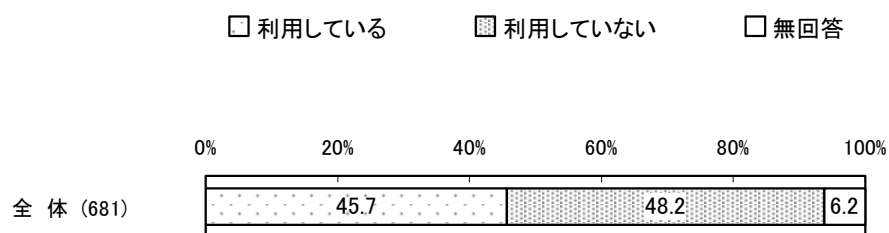
美濃加茂市の住みよさ別でみると、他に比べ住みよい、まあまあ住みよい、どちらともいえないと感じている人で「広報紙」の割合が高く、7割を超えています。また、あまり住みよいとはいえないと感じている人で「新聞」の割合が、住みにくいと感じている人で「インターネット（市ホームページ）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数 (件)	広報紙	インターネット (市ホームページ)	ケーブルテレビ	すぐメールみのかも	新聞	市職員から	家族から	自治会やご近所などの集まり	ラジオ	その他	無回答
美濃加茂市の住みよさ別	住みよい	160	76.3	6.9	1.3	10.0	23.8	1.3	11.3	19.4	0.6	2.5	10.0
	まあまあ住みよい	351	83.5	11.7	4.6	11.4	29.1	1.1	10.0	18.5	1.1	2.3	2.0
	どちらともいえない	89	76.4	16.9	1.1	14.6	18.0	2.2	10.1	13.5	—	4.5	5.6
	あまり住みよいとはいえない	53	66.0	7.5	3.8	7.5	34.0	1.9	3.8	17.0	—	1.9	9.4
	住みにくい	6	66.7	33.3	—	—	16.7	16.7	—	16.7	—	—	16.7
	わからない	8	62.5	25.0	—	—	25.0	—	25.0	12.5	12.5	12.5	—

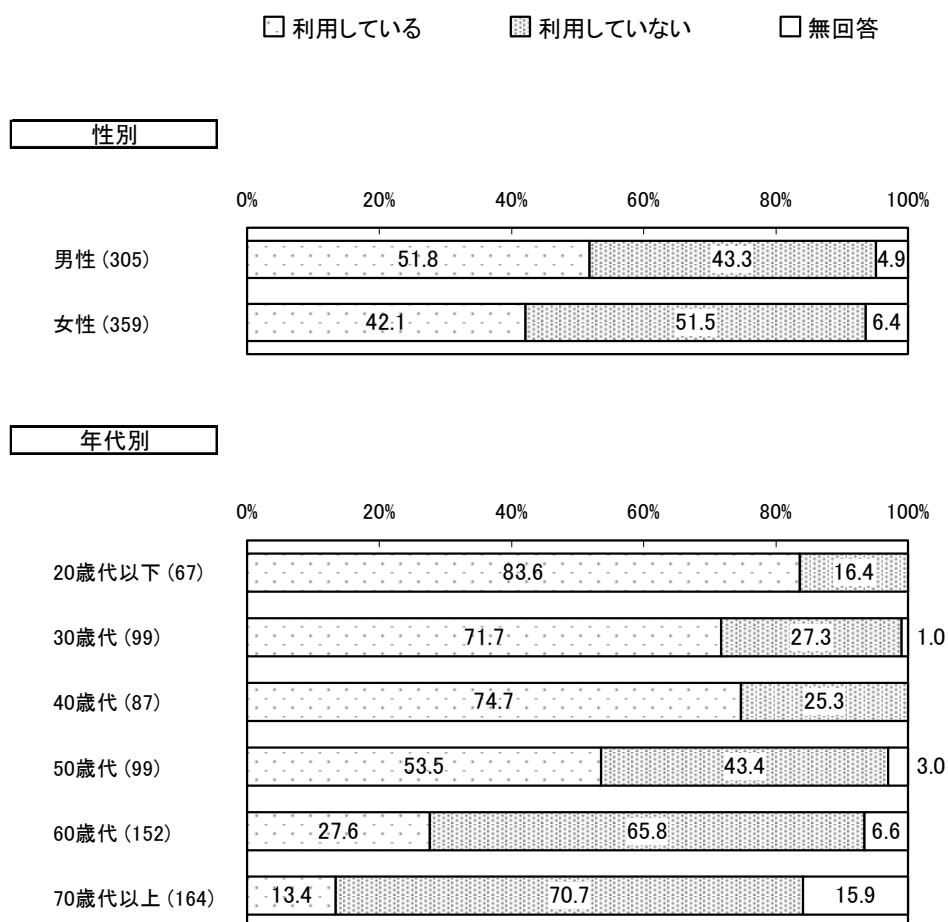
問 19 インターネットを利用していますか。(○は1つ)

「利用している」の割合が45.7%、「利用していない」の割合が48.2%となっています。



①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「利用している」の割合が高く、約5割となっています。年代別でみると、年代がさがるにつれ「利用している」の割合が高くなる傾向がみられます。

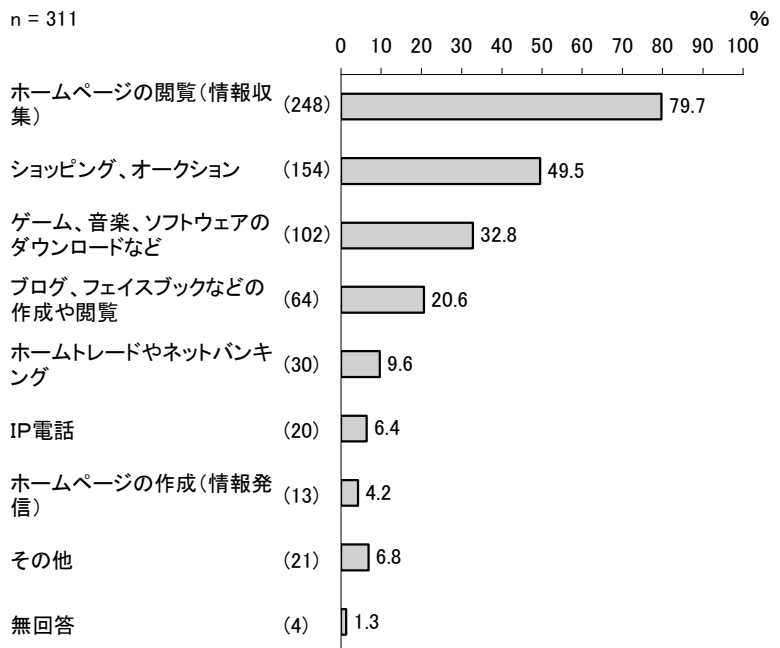


問 19 で、「1 利用している」を選んだ方にお聞きします。

問 19-1 インターネットをどのような目的で利用していますか。(〇はいくつでも)

「ホームページの閲覧(情報収集)」の割合が 79.7%と最も高く、次いで「ショッピング、オークション」の割合が 49.5%、「ゲーム、音楽、ソフトウェアのダウンロードなど」の割合が 32.8%となっています。

n = 311



①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「ホームトレードやネットバンキング」の割合が高くなっています。

年代別でみると、年代がさがるにつれ「ホームページの閲覧(情報収集)」「ブログ、フェイスブックなどの作成や閲覧」の割合が高くなる傾向がみられます。また、20歳代以下で「ゲーム、音楽、ソフトウェアのダウンロードなど」の割合が高く、約5割となっています。20歳代以下、30歳代では「ショッピング、オークション」の割合が、50歳代では「ホームトレードやネットバンキング」の割合が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数(件)	ホームページの閲覧(情報収集)	ホームページの作成(情報発信)	ショッピング、オークション	IP電話	ブログ、フェイスブックなどの作成や閲覧	ゲーム、音楽、ソフトウェアのダウンロードなど	ホームトレードやネットバンキング	その他	無回答
性別	男性	158	78.5	5.7	48.7	7.0	19.0	31.6	14.6	7.6	2.5
	女性	151	81.5	2.6	51.0	6.0	21.9	34.4	4.6	5.3	—
年代別	20歳代以下	56	85.7	3.6	57.1	7.1	37.5	48.2	8.9	—	—
	30歳代	71	84.5	2.8	59.2	5.6	26.8	28.2	7.0	1.4	—
	40歳代	65	81.5	1.5	47.7	7.7	13.8	43.1	10.8	4.6	1.5
	50歳代	53	73.6	9.4	35.8	9.4	13.2	26.4	18.9	11.3	3.8
	60歳代	42	76.2	4.8	50.0	2.4	11.9	19.0	7.1	14.3	—
	70歳代以上	22	68.2	4.5	40.9	4.5	9.1	22.7	—	18.2	4.5

問 19 で、「1 利用している」を選んだ方にお聞きします。

問 19-2 現在、ご家庭でのインターネット回線はどの回線を利用していますか。(○はいくつでも)

「光ファイバー」の割合が 59.5%
と最も高く、次いで「携帯電話、スマートフォン」の割合が 28.6%、
「ケーブルインターネット」の割合が 16.4%となっています。

n = 311

光ファイバー

(185)

59.5

携帯電話、スマートフォン

(89)

28.6

ケーブルインターネット

(51)

16.4

ADSL

(29)

9.3

ISDN、アナログ回線

(6)

1.9

イー・モバイル

(3)

1.0

その他

(4)

1.3

無回答

(13)

4.2

①性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ 20 歳代以下で「携帯電話、スマートフォン」の割合が高く、4 割を超えています。また、40 歳代で「ADSL」、50 歳代で「ケーブルインターネット」の割合が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	光 ファイ バー	ケ ー ブ ル イ ン タ ー ネ ッ ト	A D S L	I S D N、 ア ナ ロ グ 回 線	イー・ モ バ イ ル	携 帯 電 話、 ス マ ー ト フ ォ ン	そ の 他	無 回 答
性別	男性	158	60.1	15.2	10.1	1.9	0.6	27.2	1.9	2.5
	女性	151	58.3	17.9	8.6	2.0	1.3	30.5	0.7	6.0
年代別	20 歳代以下	56	64.3	5.4	5.4	—	3.6	46.4	1.8	7.1
	30 歳代	71	60.6	18.3	5.6	2.8	—	32.4	1.4	2.8
	40 歳代	65	53.8	18.5	18.5	—	—	29.2	—	4.6
	50 歳代	53	58.5	24.5	7.5	1.9	1.9	13.2	—	1.9
	60 歳代	42	64.3	19.0	9.5	2.4	—	23.8	—	4.8
	70 歳代以上	22	50.0	9.1	9.1	9.1	—	18.2	9.1	4.5

②居住地域別

居住地域別でみると、他の地域に比べ下米田・牧野で「光ファイバー」の割合が、太田で「I SDN、アナログ回線」「携帯電話、スマートフォン」の割合が高くなっています。

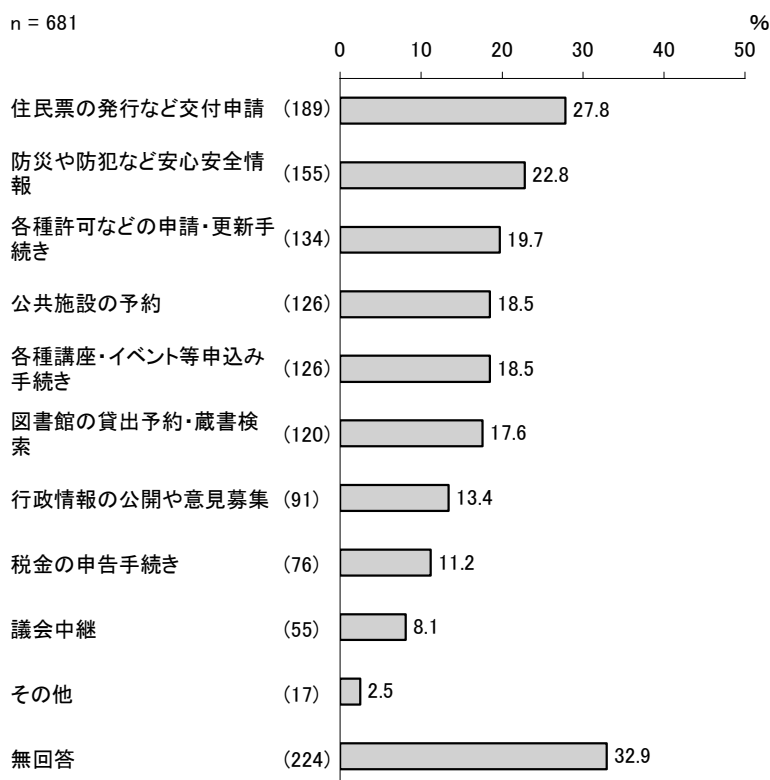
単位：％

区分		有効回答数 (件)	光 ファイ バー	ケ ー ブ ル イ ン タ ー ネ ッ ト	A D S L	I S D N、 ア ナ ロ グ 回 線	イ ー モ バ イ ル	携 帯 電 話、 ス マ ー ト フ ォ ン	そ の 他	無 回 答
居住地域別	太田	59	52.5	10.2	13.6	6.8	—	40.7	3.4	5.1
	古井	77	62.3	14.3	9.1	1.3	1.3	27.3	1.3	2.6
	山之上	21	57.1	33.3	—	—	—	19.0	4.8	—
	蜂屋	54	57.4	24.1	7.4	—	—	24.1	—	3.7
	加茂野	47	66.0	8.5	14.9	2.1	—	27.7	—	4.3
	伊深	8	—	50.0	37.5	—	12.5	12.5	—	—
	三和	4	—	100.0	—	—	—	—	—	—
	下米田・牧野	38	76.3	5.3	—	—	2.6	34.2	—	10.5
	わからない	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—

問 20 今後、インターネットを利用したどのような行政サービスを期待しますか。(〇は3つまで)

「住民票の発行など交付申請」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「防災や防犯など安心安全情報」の割合が 22.8%、「各種許可などの申請・更新手続き」の割合が 19.7%となっています。

n = 681



①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「防災や防犯など安心安全情報」「行政情報の公開や意見募集」「住民票の発行など交付申請」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ女性で「各種講座・イベント等申込み手続き」の割合が高くなっています。

年代別でみると、年代がさがるほど「公共施設の予約」「図書館の貸出予約・蔵書検索」「各種許可などの申請・更新手続き」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ 30 歳代で「住民票の発行など交付申請」の割合が高く、5 割を超えています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	公共施設の予約	図書館の貸出 予約・蔵書検索	議会中継	防災や防犯など安 心安全情報	行政情報の公開や 意見募集	住民票の発行など 交付申請	税金の申告手続き	各種許可などの申 請・更新手続き	各種講座・イベン ト等申込み手続き	その他	無回答
性別	男性	305	17.4	18.0	10.8	26.9	16.4	31.5	12.1	20.0	12.8	2.6	28.9
	女性	359	20.1	17.8	6.1	19.8	11.1	25.1	10.6	20.1	24.0	2.5	34.8
年代別	20 歳代以下	67	32.8	37.3	6.0	20.9	14.9	40.3	14.9	37.3	17.9	—	10.4
	30 歳代	99	28.3	25.3	4.0	28.3	8.1	55.6	19.2	36.4	22.2	—	9.1
	40 歳代	87	34.5	29.9	4.6	21.8	10.3	40.2	11.5	24.1	29.9	—	14.9
	50 歳代	99	19.2	13.1	14.1	24.2	20.2	30.3	11.1	22.2	22.2	6.1	19.2
	60 歳代	152	9.2	12.5	11.2	24.3	17.8	17.8	7.9	11.8	18.4	5.3	42.1
	70 歳代以上	164	7.3	6.7	7.3	18.9	9.8	7.9	7.9	6.7	9.1	1.8	63.4

②美濃加茂市の住みよさ別

美濃加茂市の住みよさ別でみると、他に比べ住みよいと感じている人で「防災や防犯など安心安全情報」の割合が高くなっています。

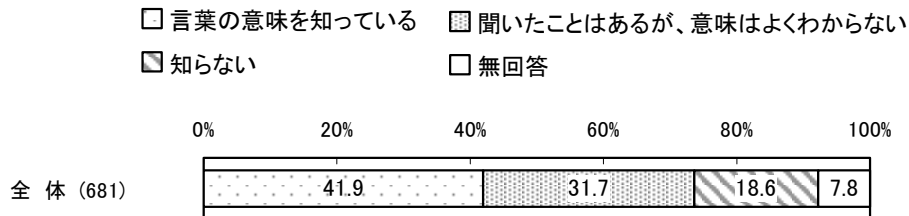
単位：％

区分		有効回答数 (件)	公共施設の予約	図書館の貸出予約・蔵書検索	議会中継	防災や防犯など安心安全情報	見募集	行政情報の公開や意見募集	住民票の発行など交付申請	税金の申告手続き	各種許可などの申請・更新手続き	各種講座・イベント等申込み手続き	その他	無回答
美濃加茂市の住みよさ別	住みよい	160	14. 4	11. 9	10. 0	28. 1	15. 6	18. 8	10. 6	11. 3	15. 0	1. 9	43. 1	
	まあまあ住みよい	351	18. 2	20. 5	8. 8	22. 5	13. 4	30. 5	11. 7	21. 1	18. 8	2. 0	29. 3	
	どちらともいえない	89	27. 0	19. 1	3. 4	20. 2	13. 5	37. 1	12. 4	28. 1	21. 3	1. 1	23. 6	
	あまり住みよいとはいえない	53	17. 0	20. 8	5. 7	15. 1	13. 2	20. 8	3. 8	17. 0	20. 8	7. 5	39. 6	
	住みにくい	6	33. 3	16. 7	16. 7	16. 7	—	16. 7	—	—	33. 3	—	50. 0	
	わからない	8	25. 0	—	12. 5	25. 0	—	50. 0	25. 0	62. 5	25. 0	12. 5	—	

7 外国人市民との共生について

問 21 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

「言葉の意味を知っている」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」の割合が 31.7%、「知らない」の割合が 18.6%となっています。



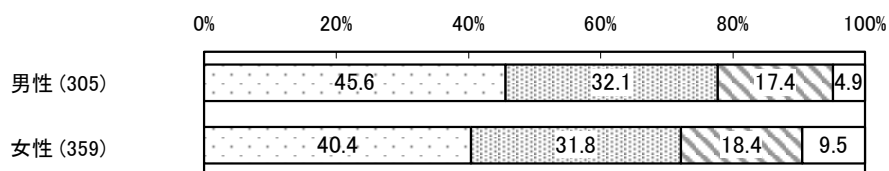
①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「言葉の意味を知っている」の割合が高くなっています。

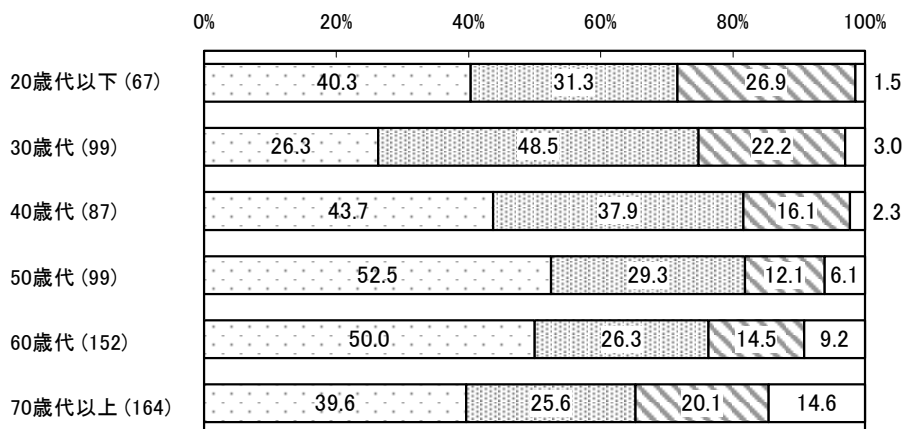
年代別でみると、他の年代に比べ 50 歳代、60 歳代で「言葉の意味を知っている」の割合が高く、約 5 割となっています。一方、30 歳代で「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」の割合が高く、約 5 割となっています。

☐ 言葉の意味を知っている ☒ 聞いたことはあるが、意味はよくわからない
☒ 知らない ☐ 無回答

性別

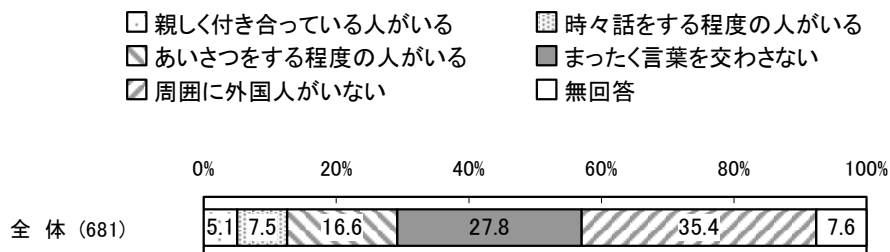


年代別



問 22 あなたは、外国人市民との程度のお付き合いがありますか。(○は1つ)

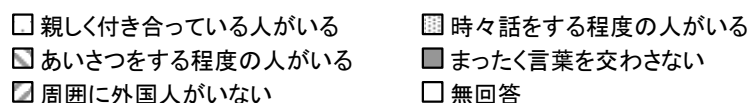
「周囲に外国人がいない」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「まったく言葉を交わさない」の割合が 27.8%、「あいさつをする程度の人がある」の割合が 16.6%となっています。



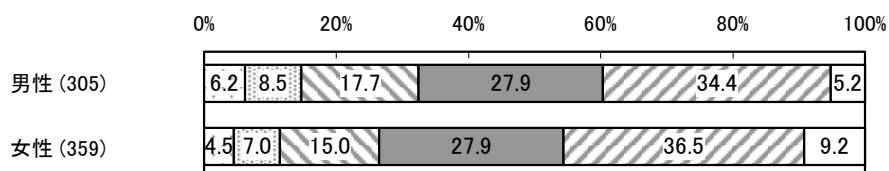
①性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

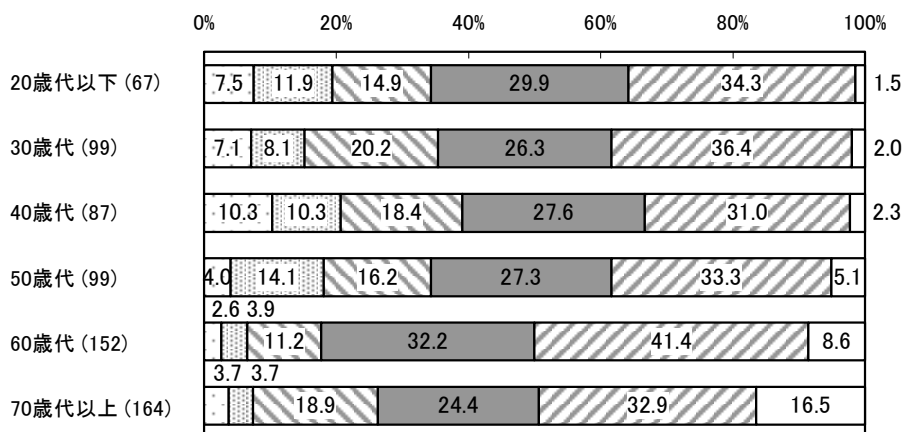
年代別でみると、他の年代に比べ 40 歳代で「親しく付き合っている人がある」の割合が、50 歳代で「時々話をする程度の人がある」の割合が高くなっています。一方、60 歳代で「まったく言葉を交わさない」「周囲に外国人がいない」の割合が高くなっています。



性別

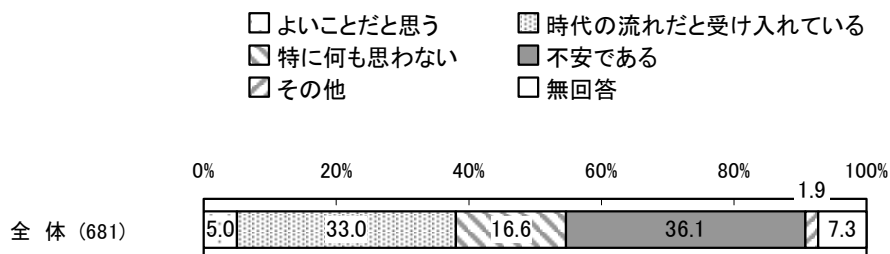


年代別



問 23 あなたは、隣近所に外国人市民が増えることについてどう思いますか。(○は1つ)

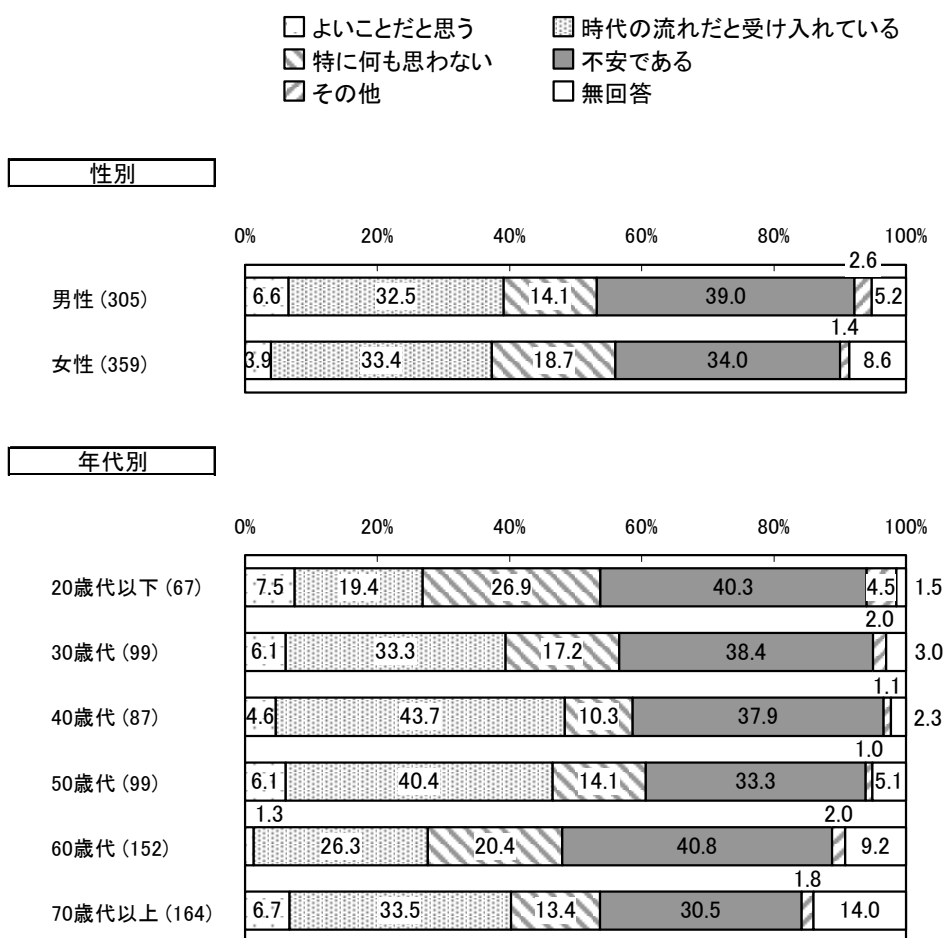
「不安である」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「時代の流れだと受け入れている」の割合が 33.0%、「特に何も思わない」の割合が 16.6%となっています。



①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「不安である」の割合が高く、約 4 割となっています。

年代別でみると、他の年代に比べ 40 歳代、50 歳代で「時代の流れだと受け入れている」の割合が高く、4 割を超えています。

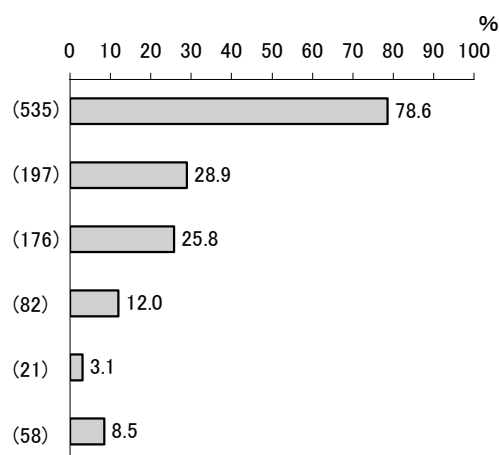


問 24 とともに暮らしやすい社会を築くために、あなたは外国人市民にどのようなことを期待しますか。(〇は2つまで)

「日本の法律、生活ルールや習慣を守ってほしい」の割合が 78.6%と最も高く、次いで「日本語や日本の文化を学んでほしい」の割合が 28.9%、「地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい」の割合が 25.8%となっています。

n = 681

日本の法律、生活ルールや習慣を守ってほしい
日本語や日本の文化を学んでほしい
地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい
外国の言葉や文化を教えてほしい
その他
無回答



①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい」の割合が高く、約3割となっています。

年代別でみると、他の年代に比べ 40 歳代で「日本の法律、生活ルールや習慣を守ってほしい」の割合が高く、約9割となっています。50 歳代、70 歳代以上では「地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい」の割合が高くなっています。

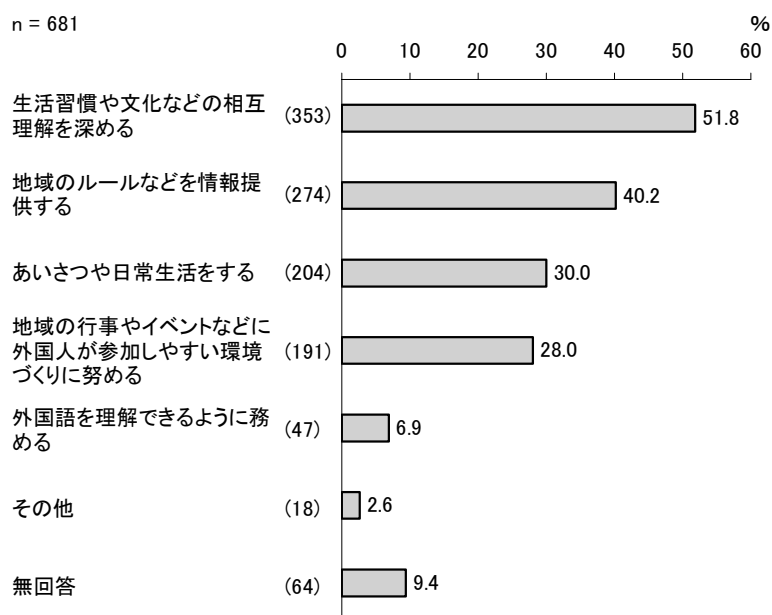
単位：%

区分		有効回答数(件)	日本の法律、生活ルールや習慣を守ってほしい	日本語や日本の文化を学んでほしい	外国の言葉や文化を教えてほしい	地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい	その他	無回答
性別	男性	305	78.4	31.1	10.8	29.5	4.3	7.2
	女性	359	79.4	27.6	13.4	23.1	2.2	8.9
年代別	20 歳代以下	67	83.6	34.3	16.4	16.4	3.0	3.0
	30 歳代	99	84.8	32.3	19.2	20.2	2.0	3.0
	40 歳代	87	89.7	26.4	17.2	25.3	2.3	3.4
	50 歳代	99	77.8	26.3	14.1	31.3	4.0	6.1
	60 歳代	152	79.6	28.3	9.2	25.7	5.9	9.9
	70 歳代以上	164	67.1	28.7	4.9	30.5	1.2	16.5

問 25 とともに暮らしやすい社会を築くために、日本人住民としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

「生活習慣や文化などの相互理解を深める」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「地域のルールなどを情報提供する」の割合が 40.2%、「あいさつや日常生活をする」の割合が 30.0%となっています。

n = 681



①性別・年代別

性別でみると、大きな差異はみられません。

年代別でみると、他の年代に比べ 20 歳代以下、40 歳代で「生活習慣や文化などの相互理解を深める」の割合が高く、6 割を超えています。

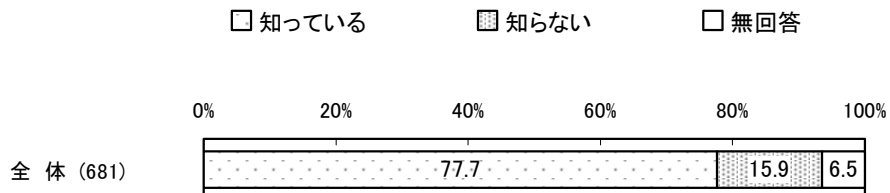
単位：%

区分		有効回答数 (件)	生活習慣や文化などの 相互理解を深める	地域のルールなどを 情報提供する	あいさつや日常生活 をする	地域の行事やイベントなどに 外国人が参加しやすい環境づくりに 努める	外国語を理解できるように 務める	その他	無回答
性別	男性	305	52.8	38.7	28.9	30.5	8.5	3.9	7.5
	女性	359	51.8	42.3	30.1	26.2	5.8	1.7	10.6
年代別	20 歳代以下	67	64.2	40.3	34.3	19.4	11.9	3.0	4.5
	30 歳代	99	55.6	43.4	30.3	30.3	8.1	2.0	3.0
	40 歳代	87	63.2	44.8	24.1	27.6	6.9	1.1	2.3
	50 歳代	99	47.5	43.4	36.4	29.3	7.1	3.0	8.1
	60 歳代	152	47.4	42.1	22.4	34.2	3.9	3.9	13.2
	70 歳代以上	164	46.3	32.9	33.5	23.8	7.3	2.4	15.9

8 住宅の耐震化について

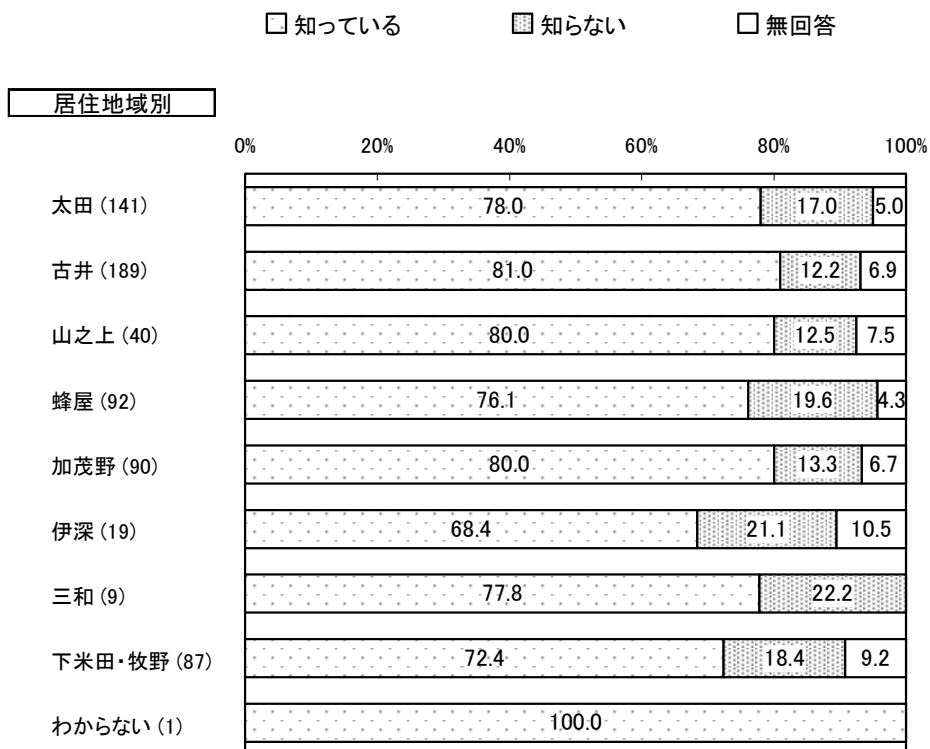
問 26 建築物における最低限度の耐震能力の基準を上げた、新しい耐震基準が実施されたのは昭和56年です。その、新耐震基準以前に建てられた建築物は、大地震が発生した場合、被害が大きくなる可能性が高いことを知っていますか。

「知っている」の割合が77.7%、「知らない」の割合が15.9%となっています。



①居住地域別

居住地域別でみると、他の地域に比べ太田、古井、山之上、加茂野で「知っている」の割合が高く、約8割となっています。

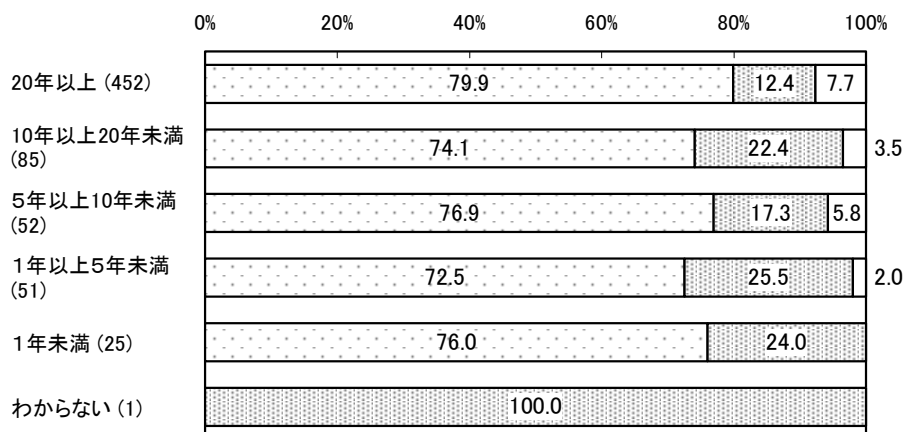


②居住年数別

居住年数別でみると、大きな差異はみられません。

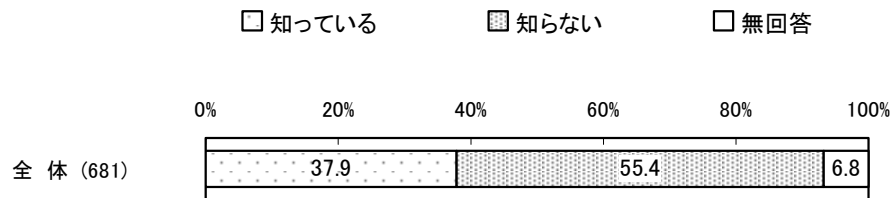
☐ 知っている ☒ 知らない ☐ 無回答

居住年数別



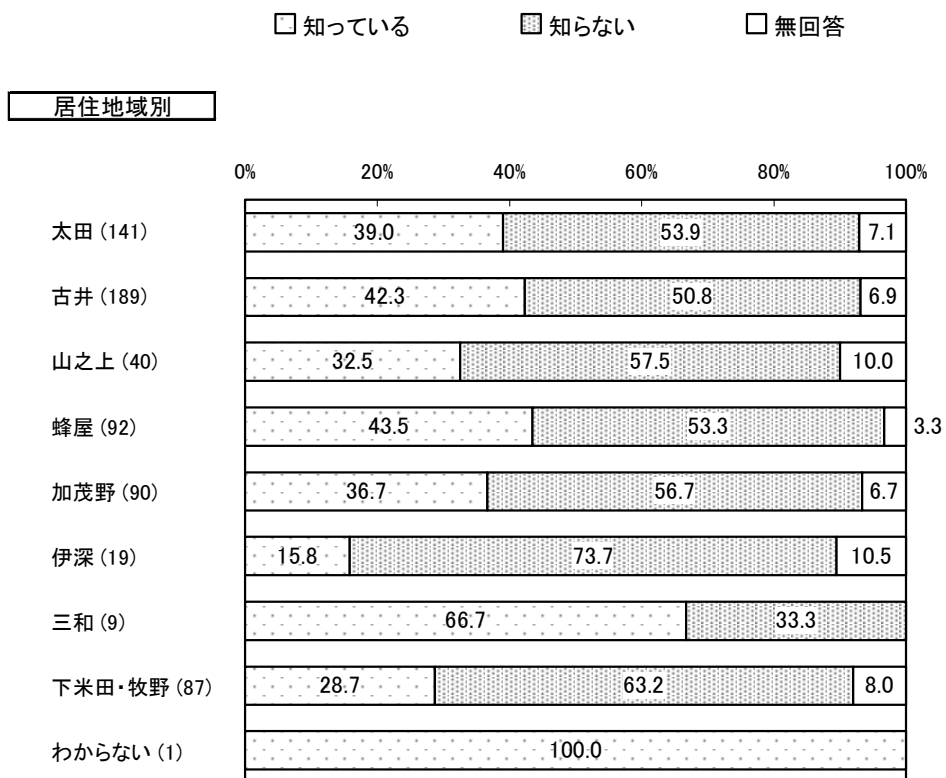
問 27 市が昭和５６年５月３１日以前に着工された木造住宅を対象に、建物の無料耐震診断を行っていることを知っていますか。

「知っている」の割合が 37.9%、「知らない」の割合が 55.4%となっています。



①居住地域別

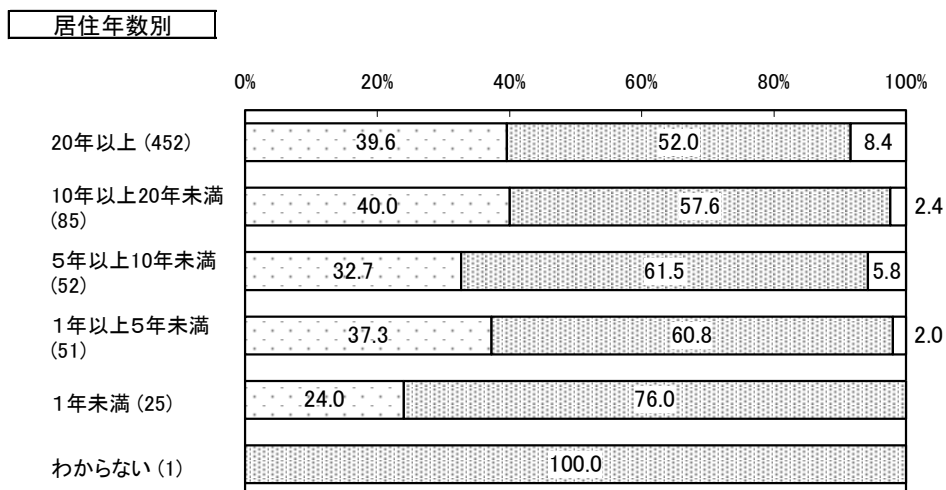
居住地域別でみると、他の地域に比べ伊深で「知らない」の割合が高く、7 割を超えています。



②居住年数別

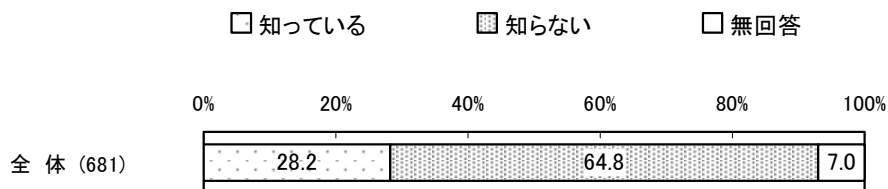
居住年数別でみると、1年未満で「知らない」の割合が高く、7割を超えています。

□ 知っている ■ 知らない □ 無回答



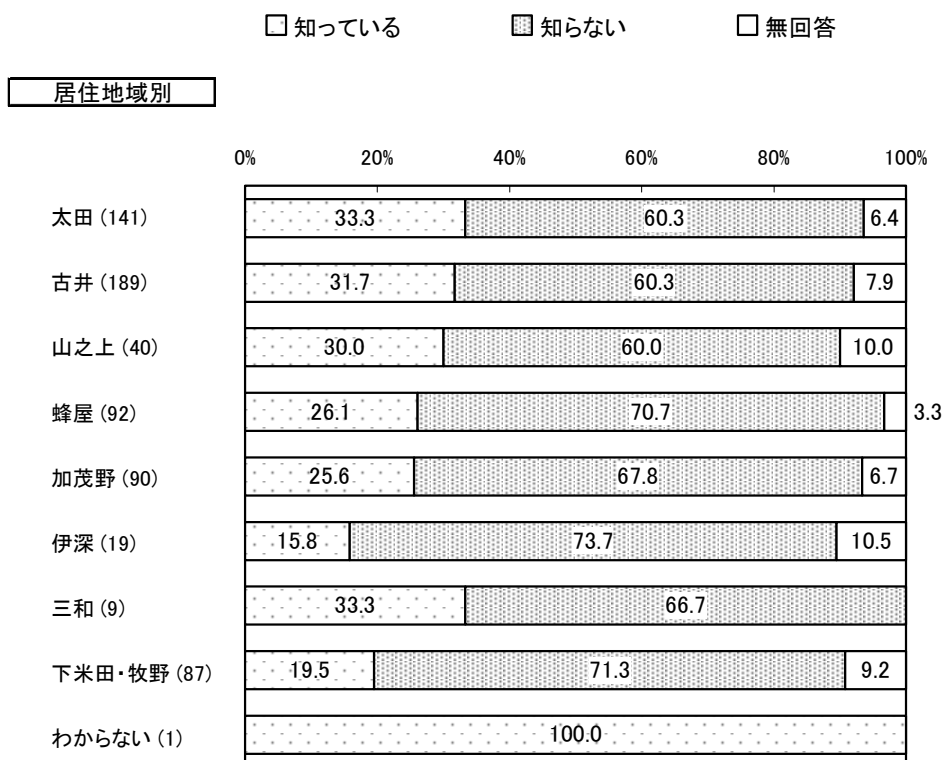
問 28 市が昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅で一定の要件を満たした住宅を対象に、耐震補強工事に必要な費用に対して、助成を行っていることを知っていますか。

「知っている」の割合が28.2%、「知らない」の割合が64.8%となっています。



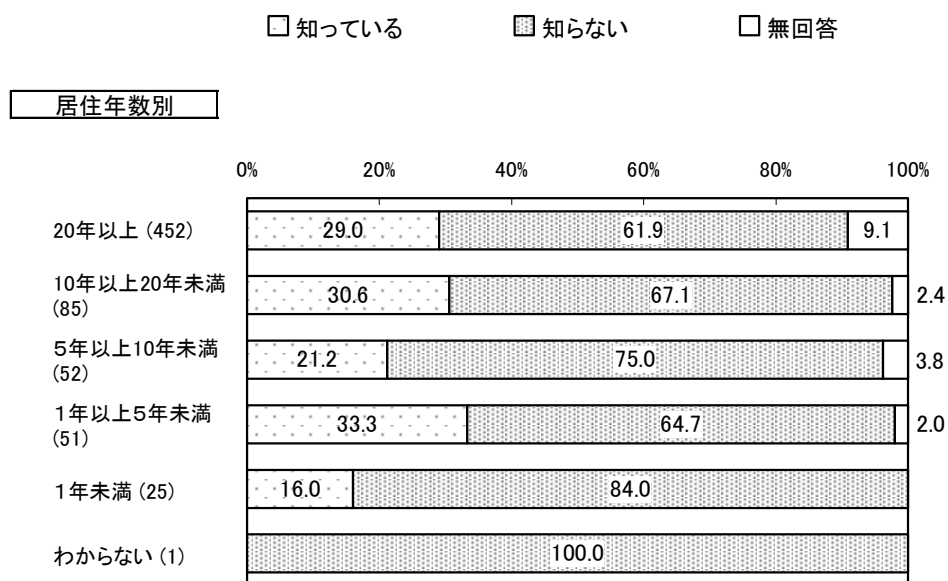
①居住地域別

居住地域別でみると、他の地域に比べ蜂屋、伊深、下米田・牧野で「知らない」の割合が高く、7割を超えています。



②居住年数別

居住年数別でみると、1年未満で「知らない」の割合が高く、8割を超えています。



問 27、問 28 のいずれかで、「1 知っている」を選んだ方にお聞きします。

問 28-1 情報をどのように知りましたか。(○はいくつでも)

「広報紙」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「新聞」の割合が 29.0%、「人から聞いた」の割合が 18.6%となっています。

n = 269

広報紙

(156)

0 10 20 30 40 50 60 70 %

58.0

新聞

(78)

29.0

人から聞いた

(50)

18.6

建築業者

(40)

14.9

インターネット(市ホームページ)

(10)

3.7

市職員の訪問

(7)

2.6

その他

(9)

3.3

無回答

(30)

11.2

①居住地域別

居住地域別でみると、他の地域に比べ山之上、加茂野、下米田・牧野で「新聞」の割合が高く、約 4 割となっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	広報紙	新聞	インターネット (市ホームページ)	市職員の訪問	建築業者	人から聞いた	その他	無回答
居住地域別	太田	58	55.2	27.6	6.9	8.6	15.5	15.5	6.9	12.1
	古井	84	66.7	25.0	2.4	1.2	13.1	25.0	2.4	6.0
	山之上	15	46.7	40.0	—	—	33.3	6.7	—	13.3
	蜂屋	40	50.0	22.5	2.5	—	7.5	15.0	2.5	25.0
	加茂野	33	57.6	39.4	3.0	—	12.1	9.1	3.0	9.1
	伊深	4	50.0	25.0	—	—	25.0	—	—	25.0
	三和	6	66.7	33.3	16.7	—	—	50.0	16.7	—
	下米田・牧野	26	53.8	38.5	3.8	3.8	23.1	26.9	—	7.7
	わからない	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—

②居住年数別

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれて「広報紙」の割合が高くなる傾向がみられます。

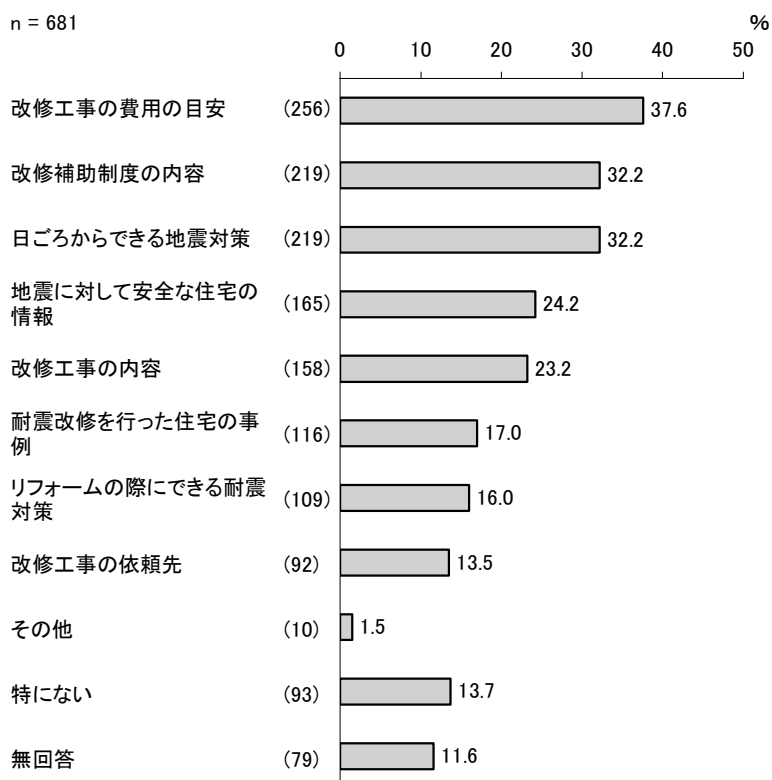
単位：％

区分		有効回答数 (件)	広報紙	新聞	インターネット (市ホームページ)	市職員の訪問	建築業者	人から聞いた	その他	無回答
居住年数別	20年以上	187	62.0	27.8	2.7	2.7	15.0	20.3	2.7	12.8
	10年以上20年未満	35	54.3	34.3	5.7	2.9	20.0	14.3	8.6	5.7
	5年以上10年未満	18	50.0	27.8	16.7	5.6	—	11.1	5.6	5.6
	1年以上5年未満	20	40.0	35.0	—	—	20.0	20.0	—	10.0
	1年未満	6	16.7	33.3	—	—	16.7	16.7	—	16.7
	わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 29 住まいの耐震対策について知りたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

「改修工事の費用の目安」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「改修補助制度の内容」「日ごろからできる地震対策」の割合が 32.2%、「地震に対して安全な住宅の情報」の割合が 24.2%となっています。

n = 681



①居住地域別

居住地域別でみると、他の地域に比べ伊深、三和で「改修工事の費用の目安」の割合が高く、5割を超えています。また、太田、三和で「地震に対して安全な住宅の情報」の割合が、加茂野で「リフォームの際にできる耐震対策」の割合が、伊深で「日ごろからできる地震対策」の割合が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	改修補助制度の内容	改修工事の依頼先	改修工事の費用の目安	改修工事の内容	地震に対して安全な住宅の情報	耐震改修を行った住宅の事例	リフォームの際にできる耐震対策	日ごろからできる地震対策	その他	特になし	無回答
居住地域別	太田	141	28.4	15.6	34.8	22.7	34.0	21.3	19.1	36.2	4.3	15.6	9.9
	古井	189	32.8	15.3	40.7	25.9	19.0	14.8	11.6	31.7	1.6	11.1	11.1
	山之上	40	30.0	7.5	35.0	15.0	22.5	20.0	12.5	30.0	—	15.0	15.0
	蜂屋	92	27.2	12.0	32.6	23.9	23.9	20.7	14.1	34.8	—	17.4	6.5
	加茂野	90	40.0	16.7	45.6	25.6	23.3	15.6	24.4	26.7	1.1	13.3	12.2
	伊深	19	42.1	10.5	52.6	31.6	10.5	15.8	10.5	42.1	—	15.8	15.8
	三和	9	77.8	33.3	66.7	33.3	33.3	11.1	11.1	33.3	—	—	—
	下米田・牧野	87	33.3	8.0	32.2	18.4	23.0	13.8	14.9	28.7	—	12.6	17.2
	わからない	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—

②居住年数別

居住年数別でみると、5 年未満で「日ごろからできる地震対策」の割合が高く、4 割を超えています。また、10 年以上 20 年未満で「リフォームの際にできる耐震対策」の割合が、10 年以上で「改修工事の費用の目安」の割合が高くなっています。

単位：％

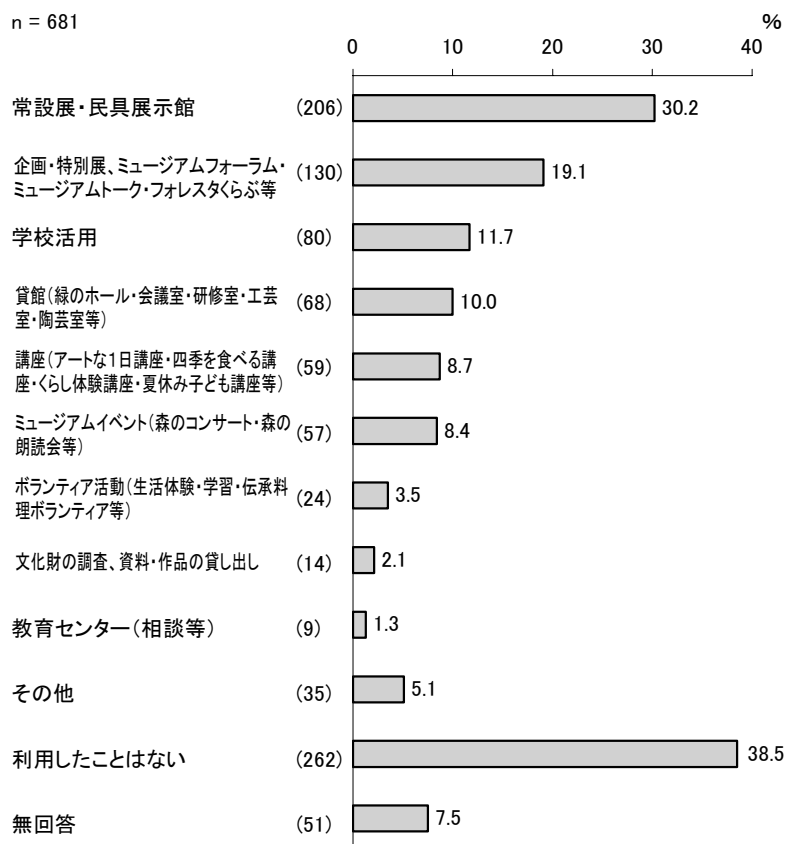
区分		有効回答数 (件)	改修補助制度の内容	改修工事の依頼先	改修工事の費用の目安	改修工事の内容	地震に対して安全な住宅の情報	耐震改修を行った住宅の事例	リフォームの際にできる耐震対策	リフォームの際にできる地震対策	その他	特にない	無回答
居住年数別	20 年以上	452	35.0	13.7	39.6	25.9	24.8	18.8	15.3	31.2	1.5	11.7	13.3
	10 年以上 20 年未満	85	30.6	16.5	43.5	21.2	24.7	18.8	23.5	23.5	2.4	17.6	7.1
	5 年以上 10 年未満	52	26.9	7.7	34.6	13.5	21.2	5.8	13.5	36.5	—	19.2	3.8
	1 年以上 5 年未満	51	23.5	11.8	29.4	19.6	21.6	15.7	13.7	43.1	—	17.6	13.7
	1 年未満	25	32.0	20.0	24.0	20.0	24.0	8.0	8.0	48.0	4.0	16.0	—
	わからない	1	100.0	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—

9 「文化の森」について

問 30 あなたは、「文化の森」を利用したことがありますか。(〇はいくつでも)

「常設展・民具展示館」の割合が30.2%、「企画・特別展、ミュージアムフォーラム・ミュージアムトーク・フォレストくらぶ等」の割合が19.1%、「学校活用」の割合が11.7%となっています。一方、「利用したことはない」の割合が38.5%と最も高くなっています。

n = 681



①性別・年代別

性別でみると、男性に比べ女性で「常設展・民具展示館」「企画・特別展、ミュージアムフォーラム・ミュージアムトーク・フォレストくらぶ等」「学校活用」「講座（アートな1日講座・四季を食べる講座・くらし体験講座・夏休み子ども講座等）」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ男性で「利用したことはない」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ20歳代以下で「学校活用」の割合が、40歳代で「常設展・民具展示館」「企画・特別展、ミュージアムフォーラム・ミュージアムトーク・フォレストくらぶ等」「講座（アートな1日講座・四季を食べる講座・くらし体験講座・夏休み子ども講座等）」の割合が高くなっています。一方、30歳代、50歳代、60歳代で「利用したことはない」の割合が高く、4割を超えています。

単位：％

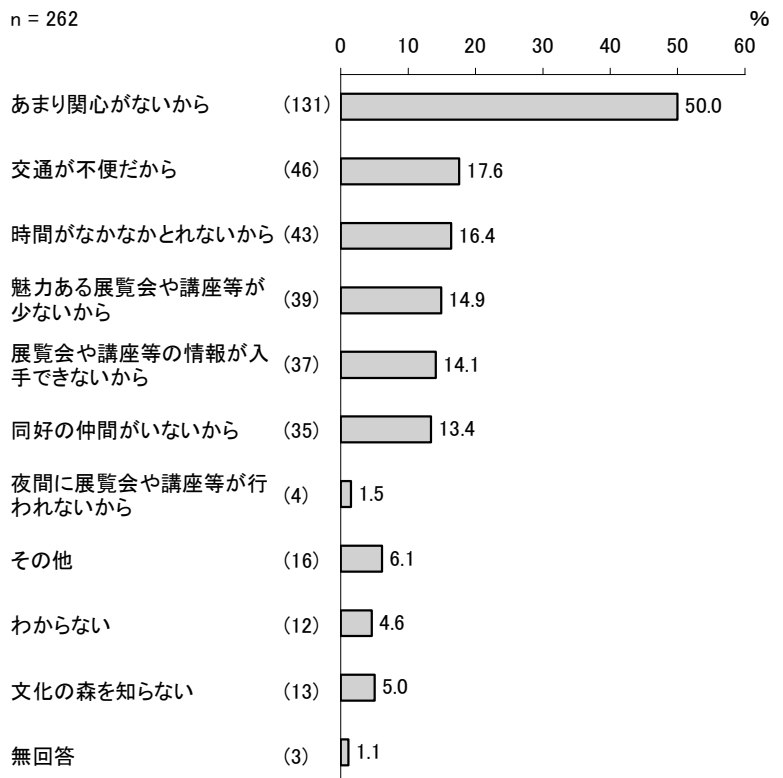
区分		有効回答数（件）	常設展・民具展示館	企画・特別展、ミュージアムフォーラム・ミュージアムトーク・フォレストくらぶ等	学校活用	教育センター（相談等）	貸館（緑のホール・会議室・研修室・工芸室・陶芸室等）	講座（アートな1日講座・四季を食べる講座・くらし体験講座・夏休み子ども講座等）	ミュージアムイベント（森のコンサート・森の朗読会等）	体験・学習・伝承料理ボランティア等）	貸し出し	文化財の調査、資料・作品の	その他	利用したことはない	無回答
性別	男性	305	25.9	15.1	8.9	1.3	7.9	5.6	6.2	3.0	2.3	5.2	44.6	5.6	
	女性	359	34.8	22.6	14.2	1.4	12.0	11.7	10.6	4.2	1.7	5.3	33.4	8.1	
年代別	20歳代以下	67	20.9	13.4	44.8	—	10.4	10.4	7.5	9.0	4.5	4.5	34.3	—	
	30歳代	99	31.3	16.2	12.1	1.0	8.1	10.1	7.1	2.0	2.0	12.1	44.4	1.0	
	40歳代	87	41.4	36.8	27.6	3.4	8.0	14.9	9.2	2.3	1.1	3.4	28.7	2.3	
	50歳代	99	29.3	18.2	7.1	—	11.1	4.0	13.1	2.0	1.0	3.0	41.4	5.1	
	60歳代	152	32.2	15.1	1.3	1.3	7.9	7.2	9.9	3.9	0.7	5.3	42.8	10.5	
	70歳代以上	164	27.4	17.7	1.8	1.8	13.4	8.5	5.5	3.7	3.0	3.7	36.6	14.6	

問 30 で、「11 利用したことはない」を選んだ方にお聞きします。

問 30-1 利用したことがない理由は何ですか。(○は3つまで)

「あまり関心がないから」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「交通が不便だから」の割合が 17.6%、「時間がなかなかとれないから」の割合が 16.4%となっています。

n = 262



①性別・年代別

性別でみると、女性に比べ男性で「あまり関心がないから」の割合が高く、約 6 割となっています。一方、男性に比べ女性で「交通が不便だから」の割合が高くなっています。

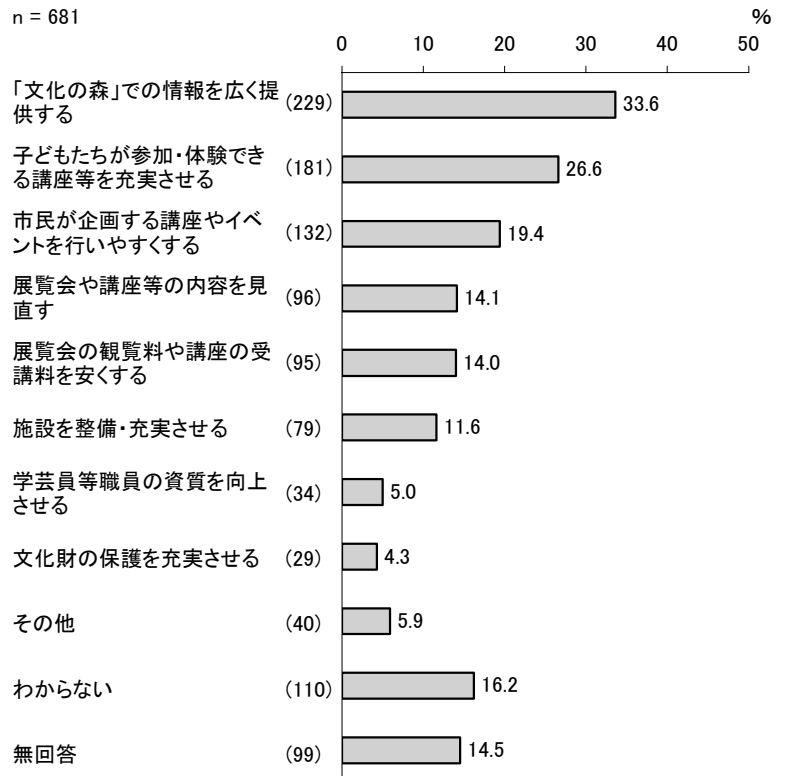
年代別でみると、他の年代に比べ 20 歳代以下で「あまり関心がないから」の割合が高く、約 6 割となっています。また、40 歳代、50 歳代で「時間がなかなかとれないから」の割合が、70 歳代以上で「交通が不便だから」「同好の仲間がいないから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	交通が不便だから	魅力ある展覧会や講座等が少ないから	時間がなかなかとれないから	夜間に展覧会や講座等が行われないから	同好の仲間がいないから	展覧会や講座等の情報が入手できないから	あまり関心がないから	その他	わからない	文化の森を知らない	無回答
性別	男性	136	11.8	16.9	14.7	1.5	12.5	13.2	58.1	5.1	5.1	5.9	0.7
	女性	120	23.3	13.3	19.2	1.7	14.2	15.8	41.7	7.5	3.3	3.3	1.7
年代別	20 歳代以下	23	4.3	8.7	17.4	—	8.7	21.7	60.9	—	4.3	13.0	—
	30 歳代	44	6.8	6.8	18.2	—	6.8	6.8	54.5	2.3	9.1	9.1	2.3
	40 歳代	25	20.0	16.0	24.0	4.0	4.0	20.0	48.0	12.0	—	4.0	—
	50 歳代	41	12.2	19.5	24.4	4.9	7.3	12.2	43.9	7.3	7.3	4.9	—
	60 歳代	65	12.3	18.5	15.4	1.5	12.3	15.4	52.3	6.2	3.1	1.5	1.5
	70 歳代以上	60	36.7	16.7	8.3	—	28.3	15.0	46.7	8.3	3.3	1.7	1.7

問 31 「文化の森」での教育文化活動を、もっと活発にするために、市に対して要望することは何ですか。(〇はいくつでも)

「文化の森」での情報を広く提供する」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「子どもたちが参加・体験できる講座等を充実させる」の割合が 26.6%、「市民が企画する講座やイベントを行いやすくする」の割合が 19.4%となっています。



①性別・年代別

性別でみると、男性に比べ女性で「子どもたちが参加・体験できる講座等を充実させる」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ 40 歳代以下で「子どもたちが参加・体験できる講座等を充実させる」の割合が高く、4 割を超えています。また、20 歳代以下で「文化財の保護を充実させる」の割合が、30 歳代、50 歳代で「施設を整備・充実させる」の割合が、40 歳代、50 歳代で「展覧会や講座等の内容を見直す」「市民が企画する講座やイベントを行いやすくする」の割合が高くなっています。

単位：%

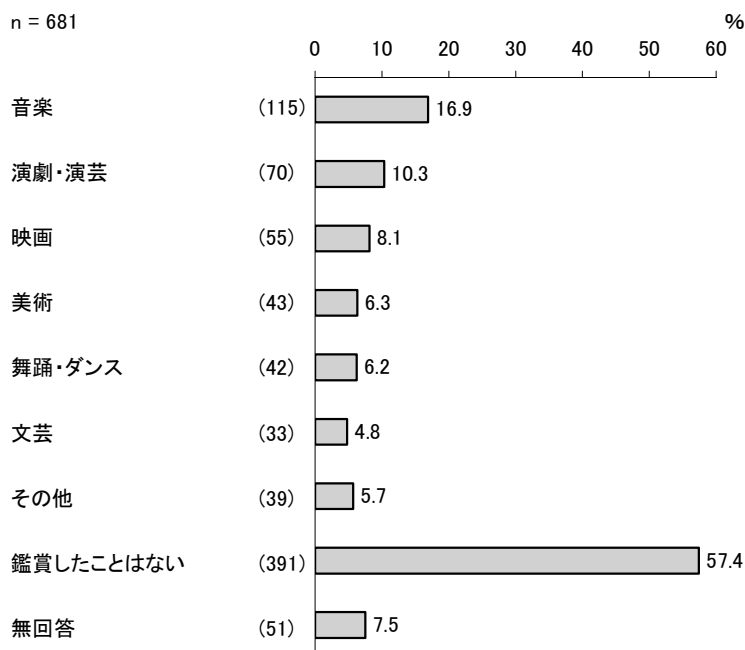
区分		有効回答数 (件)	施設を整備・ 充実させる	展覧会の観覧料 や講座の受講料 を安くする	学芸員等職員 の資質を向上 させる	展覧会や講座 等の内容を見 直す	子どもたちが参 加・体験できる講 座等を充実させる	市民が企画する講 座やイベントを行 いやすくする	文化財の保護 を充実させる	「文化の森」 での情報を広 く提供する	その他	わからない	無回答
性別	男性	305	12.8	16.7	7.5	15.7	23.9	18.4	5.2	32.8	6.6	16.7	11.1
	女性	359	11.1	12.0	3.1	13.1	29.0	20.3	3.3	35.1	5.6	15.3	16.7
年代別	20 歳代以下	67	11.9	13.4	3.0	16.4	44.8	14.9	11.9	31.3	9.0	16.4	3.0
	30 歳代	99	20.2	11.1	4.0	8.1	52.5	20.2	1.0	31.3	—	18.2	1.0
	40 歳代	87	13.8	17.2	4.6	20.7	47.1	28.7	2.3	35.6	4.6	14.9	4.6
	50 歳代	99	19.2	12.1	7.1	20.2	16.2	27.3	4.0	37.4	6.1	18.2	11.1
	60 歳代	152	2.6	14.5	4.6	11.2	14.5	15.8	3.9	37.5	9.9	14.5	21.7
	70 歳代以上	164	9.8	15.2	6.1	12.8	9.8	14.0	4.3	29.9	5.5	15.9	27.4

10 文化会館について

問 32 あなたは、平成23年4月から現在までに、文化会館で各種公演や作品を直接鑑賞したことがありますか。(〇はいくつでも)

「音楽」の割合が16.9%、「演劇・演芸」の割合が10.3%、「映画」の割合が8.1%となっています。一方、「鑑賞したことはない」の割合が57.4%と最も高くなっています。

n = 681



①性別・年代別

性別でみると、男性に比べ女性で「音楽」「舞踊・ダンス」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ男性で「鑑賞したことはない」の割合が高くなっています。

年代別でみると、30歳代以下で「鑑賞したことはない」の割合が高く、約7割となっています。一方、40歳代で「音楽」の割合が、70歳代以上で「美術」の割合が高くなっています。

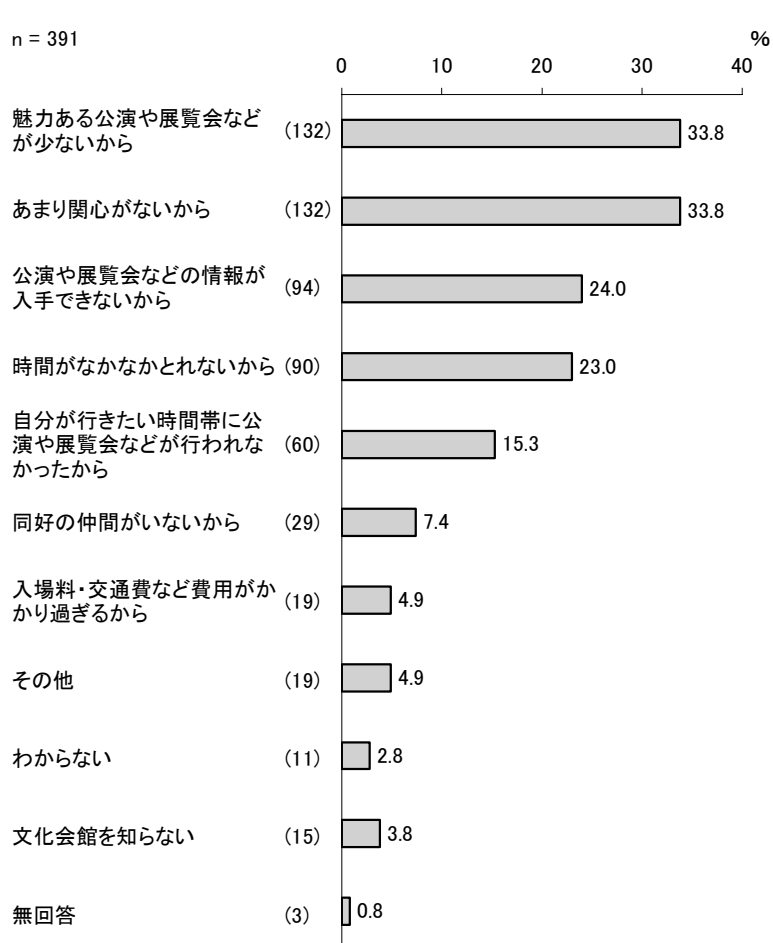
単位：%

区分		有効回答数(件)	音楽	演劇・演芸	舞踊・ダンス	映画	美術	文芸	その他	鑑賞したことはない	無回答
性別	男性	305	13.1	10.2	2.6	6.9	7.9	3.3	6.6	62.0	6.6
	女性	359	20.9	10.3	9.5	9.5	4.7	6.4	5.0	54.0	7.5
年代別	20歳代以下	67	10.4	11.9	1.5	6.0	1.5	—	4.5	71.6	—
	30歳代	99	12.1	6.1	5.1	2.0	—	5.1	6.1	69.7	2.0
	40歳代	87	24.1	9.2	6.9	9.2	2.3	3.4	2.3	59.8	3.4
	50歳代	99	19.2	4.0	2.0	8.1	5.1	3.0	4.0	65.7	6.1
	60歳代	152	17.8	10.5	9.2	9.2	6.6	4.6	6.6	55.9	9.2
	70歳代以上	164	17.7	15.9	8.5	11.6	14.0	9.1	7.9	40.2	14.6

問 32 で、「8 鑑賞したことはない」を選んだ方にお聞きします。

問 32-1 鑑賞したことがない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「魅力ある公演や展覧会などが少ないから」「あまり関心がないから」の割合が 33.8%、次いで「公演や展覧会などの情報が入手できないから」の割合が 24.0%、「時間がなかなかとれないから」の割合が 23.0%となっています。



①性別

性別でみると、女性に比べ男性で「入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから」「魅力ある公演や展覧会などが少ないから」「あまり関心がないから」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ女性で「自分が行きたい時間帯に公演や展覧会などが行われなかったから」「公演や展覧会などの情報が入手できないから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数(件)	入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから	魅力ある公演や展覧会などが少ないから	時間がなかなかとれないから	自分が行きたい時間帯に公演や展覧会などが行われなかったから	同好の仲間がいないから	公演や展覧会などの情報が入手できないから	あまり関心がないから	その他	わからない	文化会館を知らない	無回答
性別	男性	189	8.5	37.0	21.7	11.1	6.3	21.7	39.7	3.2	2.1	3.7	1.1
	女性	194	1.5	31.4	24.2	19.1	8.2	26.8	27.8	6.7	3.1	4.1	0.5

②年代別

年代別でみると、他の年代に比べ 30 歳代以下で「あまり関心がないから」の割合が高く、4 割を超えています。また、70 歳代以上で「同好の仲間がいないから」の割合が高くなっています。

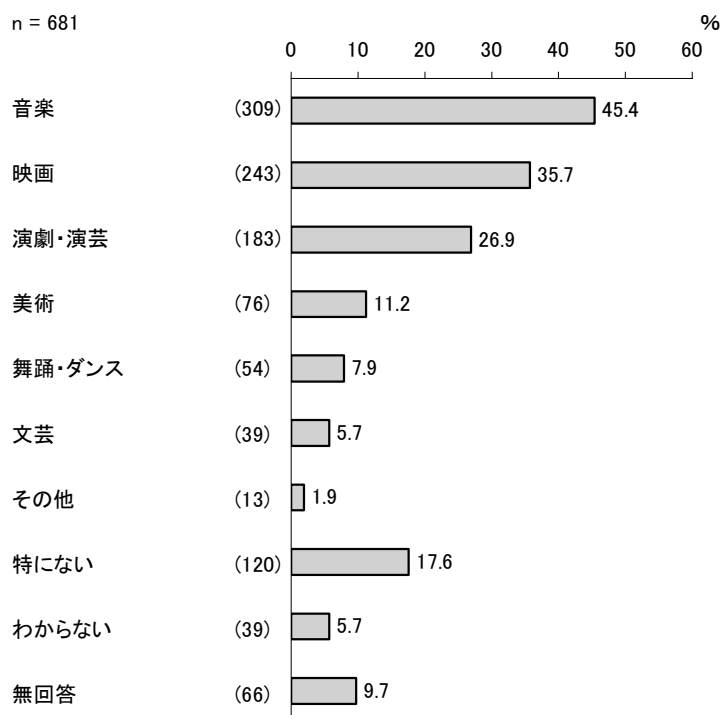
単位：％

区分		有効回答数（件）	入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから	魅力ある公演や展覧会などが少ないから	時間がなかなかとれないから	自分が行きたい時間帯に公演や展覧会などが行われなかったから	同好の仲間がいないから	公演や展覧会などの情報が入手できないから	あまり関心がないから	その他	わからない	文化会館を知らない	無回答
年代別	20 歳代以下	48	4.2	20.8	29.2	4.2	2.1	31.3	41.7	6.3	4.2	12.5	—
	30 歳代	69	4.3	34.8	23.2	11.6	4.3	23.2	42.0	2.9	1.4	7.2	—
	40 歳代	52	3.8	34.6	30.8	19.2	9.6	13.5	32.7	3.8	1.9	—	1.9
	50 歳代	65	6.2	44.6	26.2	24.6	4.6	23.1	27.7	3.1	3.1	—	1.5
	60 歳代	85	3.5	36.5	21.2	14.1	5.9	28.2	28.2	7.1	1.2	3.5	—
	70 歳代以上	66	7.6	28.8	10.6	15.2	16.7	24.2	34.8	6.1	4.5	1.5	1.5

問 33 あなたが、今後文化会館で鑑賞したいと思うものはありますか。(〇はいくつでも)

「音楽」の割合が 45.4%と最も高く、次いで「映画」の割合が 35.7%、「演劇・演芸」の割合が 26.9%となっています。

n = 681



①性別・年代別

性別でみると、男性に比べ女性で「音楽」「演劇・演芸」「舞踊・ダンス」「映画」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ男性で「特にない」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ 30 歳代、40 歳代で「音楽」の割合が高く、5 割を超えています。

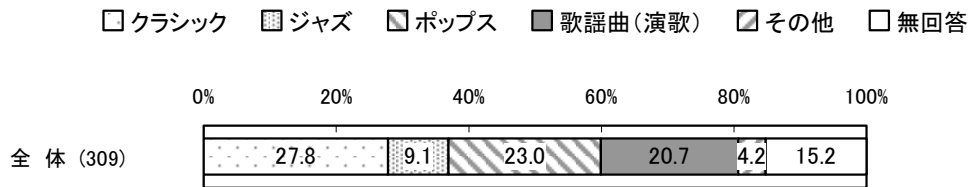
単位：%

区分		有効回答数 (件)	音楽	演劇・演芸	舞踊・ダンス	映画	美術	文芸	その他	特にない	わからない	無回答
性別	男性	305	39.3	22.6	3.9	32.8	11.8	4.6	2.0	23.0	6.9	9.2
	女性	359	51.0	30.9	11.4	39.0	10.9	6.4	1.9	13.1	4.7	9.5
年代別	20 歳代以下	67	43.3	26.9	6.0	37.3	7.5	6.0	1.5	16.4	7.5	1.5
	30 歳代	99	50.5	22.2	10.1	42.4	7.1	3.0	2.0	17.2	11.1	2.0
	40 歳代	87	56.3	31.0	8.0	37.9	11.5	3.4	1.1	19.5	4.6	3.4
	50 歳代	99	44.4	24.2	6.1	39.4	12.1	1.0	3.0	20.2	4.0	9.1
	60 歳代	152	40.8	28.9	8.6	30.9	13.2	7.2	2.0	19.7	5.3	12.5
	70 歳代以上	164	42.1	27.4	7.9	33.5	12.8	9.1	1.8	14.6	3.7	17.7

問 33 で、「1 音楽」を選んだ方にお聞きします。

問 33-1 具体的にどのようなジャンルの音楽を鑑賞したいですか。(〇は1つ)

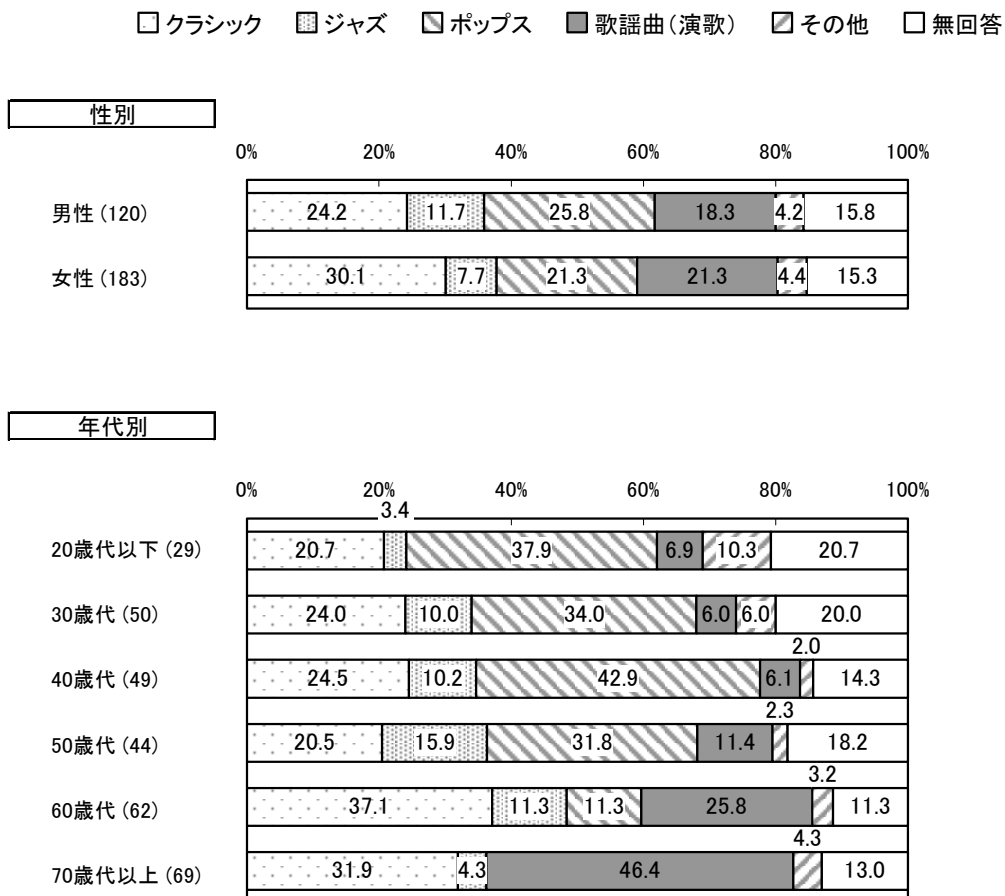
「クラシック」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「ポップス」の割合が 23.0%、「歌謡曲(演歌)」の割合が 20.7%となっています。



①性別・年代別

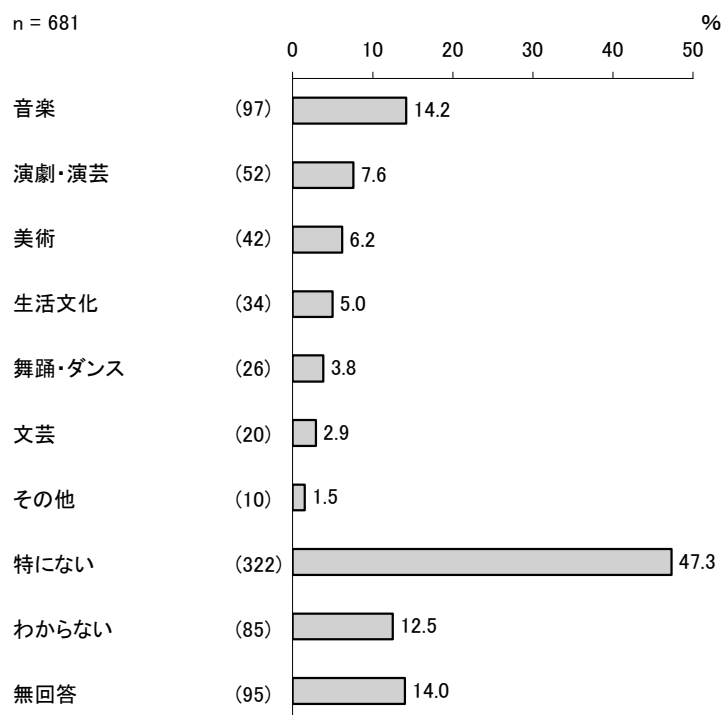
性別でみると、男性に比べ女性で「クラシック」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ 40 歳代で「ポップス」の割合が高く、約 4 割となっています。また、60 歳以上で「クラシック」の割合が、70 歳代以上で「歌謡曲(演歌)」の割合が高くなっています。



問 34 あなたが、今後文化会館を利用して活動したいと思うものはありますか。(〇はいくつでも)

「音楽」の割合が 14.2%、「演劇・演芸」の割合が 7.6%、「美術」の割合が 6.2%となっています。一方、「特にない」の割合が 47.3%と最も高くなっています。



①性別・年代別

性別でみると、男性に比べ女性で「音楽」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ男性で「特にない」の割合が高くなっています。

年代別でみると、他の年代に比べ 30 歳代で「音楽」の割合が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	音楽	演劇・演芸	舞踊・ダンス	美術	文芸	生活文化	その他	特にない	わからない	無回答
性別	男性	305	11.5	6.9	1.6	7.5	2.3	3.3	1.3	52.8	13.1	12.1
	女性	359	17.0	8.1	5.6	5.0	3.6	6.1	1.7	43.2	11.7	15.0
年代別	20 歳代以下	67	16.4	3.0	1.5	4.5	1.5	3.0	—	58.2	17.9	3.0
	30 歳代	99	23.2	8.1	3.0	4.0	—	3.0	1.0	52.5	14.1	4.0
	40 歳代	87	16.1	10.3	4.6	8.0	4.6	4.6	1.1	56.3	13.8	2.3
	50 歳代	99	17.2	4.0	5.1	6.1	2.0	5.1	3.0	46.5	17.2	10.1
	60 歳代	152	9.9	8.6	4.6	4.6	2.6	4.6	1.3	50.0	10.5	19.1
	70 歳代以上	164	9.8	8.5	3.0	8.5	5.5	6.7	1.8	34.8	6.7	27.4

参考資料

1. 美濃加茂市 5 次総意識調査 アンケート調査票

美濃加茂市 5 次総意識調査にご協力ください**～みなさんの意見でまちづくりを進めます～**

これからのまちづくりにみなさんのご意見を反映して進めていく目的で、「美濃加茂市 5 次総（第 5 次総合計画）意識調査」を行います。

現在、美濃加茂市では、新しいまちづくりの方針となる、第 5 次総合計画を策定し、その実現に向けたまちづくりを進めています。

この調査は、第 5 次総合計画に掲げる将来像、「まあるいまち みのかも」を実現するための基本項目などについて、みなさんのお考えやご意見をもとにお答えいただくものです。

みなさんのお考えで美濃加茂市を夢のある魅力いっぱいのまちにしていきたいと思います。ぜひ、この意識調査にご協力いただきますよう、お願いいたします。

なお、調査の結果は、後日ホームページなどで公表させていただきます。

平成 24 年 2 月

美濃加茂市長 渡辺 直由

◆ご記入にあたってのお願い◆

- この調査をお願いする方は、美濃加茂市在住の 18 歳以上の方で住民基本台帳から 1,500 人を無作為に抽出させていただきました。回答は、可能な限り**封筒の宛て名のご本人様**がご記入下さい。
- この調査は、無記名でご回答いただきますし、他の目的には使用しませんのでご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ありません。
- 質問は、選択式になっておりますのであてはまる番号に、「○」をつけてください。また、質問ごとにご意見等がありましたらご記入ください。
- ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封しました返信用封筒に入れて、**平成 24 年 3 月 21 日（水）まで**に郵便ポストに投函して下さい。**調査票、返信用封筒ともに無記名**で結構です。また、**切手は不要**です。

（お問い合わせ先）

美濃加茂市役所 経営企画部 市政情報課

担当（渡辺・奥村・大坪）

電話 0574-25-2111（内線 243・244）

あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(○はひとつ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年代は次のどれですか。(○はひとつ)

- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 10歳代 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳代 |
| 2. 20歳代 | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | 8. 80歳代以上 |

問3 あなたが住んでいる地域は次のどれですか。(○はひとつ)

- | | | |
|--------|--------|-----------------------------------|
| 1. 太田 | 4. 蜂屋 | 7. 三和 |
| 2. 古井 | 5. 加茂野 | 8. 下米田・牧野 |
| 3. 山之上 | 6. 伊深 | 9. わからない(町) |

問4 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(○はひとつ)

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 3世代が同居(親と子と孫) |
| 2. 夫婦のみ | 5. その他() |
| 3. 2世代が同居(親と子) | |

問5 ご家族に該当するお子さんがみえますか。(○は複数可)

- | | |
|---------|------------------|
| 1. 未就学児 | 3. 中学生 |
| 2. 小学生 | 4. 中学生以下の同居人はいない |

問6 あなたは美濃加茂市に住んで何年になりますか。(○はひとつ)

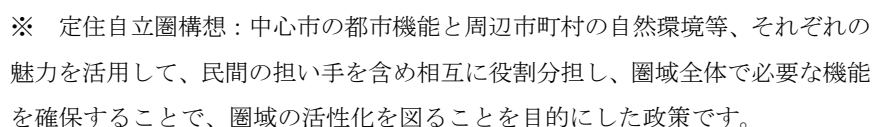
- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 20年以上 | 4. 1年以上5年未満 |
| 2. 10年以上20年未満 | 5. 1年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 6. わからない |

問7 あなたのお住まいは次のいずれにあてはまりますか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. 持ち家(一戸建て) | 4. 賃貸住宅・アパート・マンション |
| 2. 持ち家(分譲マンションなど) | 5. 勤務先住宅(公務員住宅・社宅・寮など) |
| 3. 借家(一戸建て) | 6. その他() |

問8 あなたの主な職業は何ですか。(○はひとつ)

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1. 農林業 | 6. パート・アルバイト、フリーター、内職 |
| 2. 自営業 | 7. 学生 |
| 3. 会社員 | 8. 家事に専念している主婦(夫) |
| 4. 公務員 | 9. 無職 |
| 5. 団体職員 | 10. その他() |



今後の定住意向についておたずねします。

問 13 あなたにとって、美濃加茂市は住みよいまちですか。(○はひとつ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 住みよい | 4. あまり住みよいとはいえない |
| 2. まあまあ住みよい | 5. 住みにくい |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

問 14 あなたは、これからも美濃加茂市に住み続けたいですか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 4. できれば住み続けたくない |
| 2. できれば住み続けたい | 5. 住み続けたくない |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

問 15 これから美濃加茂市で住み続けていくためには、何があったらよいと思いますか。
(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 自然環境が豊かであること | 10. 医療機関や福祉施設が整っていること |
| 2. 交通の利便性がよいこと | 11. 教育環境が充実していること |
| 3. 住宅地などの住まいの環境がよいこと | 12. スポーツ活動や余暇活動が充実していること |
| 4. まちのイメージや雰囲気がいよいこと | 13. 物価や家賃が安いこと |
| 5. 買い物に便利であること | 14. まちに親しみや愛着があること |
| 6. 治安がよいこと | 15. 市民の意見が行政に反映されること |
| 7. 近所づきあいがよいこと | 16. その他 () |
| 8. 働く場が充実していること | 17. わからない |
| 9. 通勤・通学が便利であること | |

■ 美濃加茂市第5次総合計画

平成22年4月から10年間の美濃加茂市のまちづくりの指針となるのが第5次総合計画です。

その中で10年後のあるべき姿として、夢のある明るい未来がイメージできるよう、「**まあるいまち みのかも**」を掲げています。

まあるいまちをつくるには、市民一人ひとりがまちづくりの主役として活躍していくことが大切です。すべての人がいきいきと輝き、すべての人がともに成長する、魅力いっぱいの「**まあるいまち みのかも**」をつくっていきましょう。

問16 第5次総合計画の10年後のあるべき姿、「まあいいまち みのかも」をつくっていくために、次の取り組みの中で、「特に力を入れてほしいこと」を選び、その項目の番号を下の に記入してください。(3つまで)

1	●広報紙やホームページなどでの情報共有の推進 ●市政への市民参加の充実
2	●生涯学習機会の充実 ●地域の団体やNPO法人などの活動の活性化と充実
3	●市民や団体、市役所などとの協働 ●市民が主役となる自治会や各種団体の活動促進及び活性化
4	●新たな分野の産業をつくりだすための環境整備 ●商品や製品の高付加価値化 ●美濃加茂市のイメージアップと国内外への発信
5	●企業誘致の推進 ●既存商工業の基盤強化 ●雇用環境の充実
6	●中心市街地の整備 ●商店街の活性化によるまちなかの再生
7	●農業の担い手の育成・確保 ●農業経営基盤の強化
8	●観光交流資源の魅力向上 ●観光客の受入体制づくり
9	●地域ぐるみの防災・減災体制の整備 ●地域の防犯・交通安全活動の活性化
10	●予防に重点をおいた健康づくりと介護予防の推進 ●地域医療体制の強化
11	●見守りと支えあいの地域福祉活動の推進 ●協働による福祉サービスの充実
12	●子育て支援の充実 ●魅力ある学校教育の推進 ●地域教育の推進
13	●外国人市民の定住環境の整備 ●地域での外国人市民との共生社会づくり
14	●地域に密着した文化の継承と保存 ●文化や芸術活動の振興
15	●市内の交通ネットワークの充実 ●広域交通網や地域間交通ネットワークの強化
16	●優良な農地の保全と生活環境の適切な利用による調和 ●快適な住環境の整備
17	●美しいまちなみづくり ●身近な公園の整備や緑化の推進
18	●森林や里山、河川の保全 ●循環型社会の形成 ●温暖化防止・クールタウンの構築
19	●市職員の経営能力の育成 ●効果の上がる市役所の組織づくり
20	●市の行財政改革の徹底 ●事業に対する目標の管理と評価による改善
21	●周辺市町村との連携による個性を活かした地域づくり

番号記入欄 →

----------------------	----------------------	----------------------

目標	調 査 項 目	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	特に期待する取り組みに○をつけてください
みんながそれぞれの役割をもって、だれもが活躍できるまちをつくる	1【市の情報の発信】 広報紙などで、十分に行政の情報が得られていると感じますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
	2【市政への市民意見の反映】 市政に市民の意見が十分に反映されていますか？	5	4	3	2	1	
	3【生涯学習の推進】 誰もが学びたいときに学べる環境が整っていますか？	5	4	3	2	1	
	4【スポーツ活動の推進】 スポーツ活動が活発に行われていますか？	5	4	3	2	1	
	5【市民と市で協働のまちづくり】 市民と市役所で協働のまちづくりが進んでいますか？	5	4	3	2	1	
	6【市民の自治意識の高揚】 市民が積極的に地域づくりに取り組んでいますか？	5	4	3	2	1	
産業 また な 振 興 を 価 値 に く る の あ り	7【美濃加茂ブランドの創造】 国内外に誇れる美濃加茂市ならではのブランドがあると感じますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください

産業振興により新たな価値のあるまちをつくる	8【労働環境の整備】 働く場所がたくさんあり、働きやすい環境が整っていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
	9【商業の振興】 商業活動が活発に行われ、身近な商店街がにぎわっていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
	10【工業の振興】 企業誘致を行うなど、工業活動が活発に行われていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
11【市街地の整備】 駅前などの市街地が、買い物がしやすく便利であると感じますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください	
12【農林業の振興】 農林業が活発に行われ、地元産の安全で質の高い農林産物が手に入りますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください	
13【観光の振興】 まちの資源を活かした、魅力的な観光地になっていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください	
安心して暮らせるまちをつくる	14【防災対策】 地域や家庭の中で突然の災害発生に備えた防災体制が築かれていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
	15【消防・救急体制の整備】 消防・救急体制が整っていると感じますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください

快適でここによく定住できるまちをつくる	24【母子保健の推進】 子どもの健康づくりに関する体制が整っていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
	25【子育て支援の推進】 子育て支援サービスが充実し、安心して子どもを産み、育てられるまちだと思いますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
	26【学校教育の充実】 幼児や小中学生への教育内容は充実していますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
	27【青少年の健全育成】 青少年を地域ぐるみで育んでいますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
28【多文化共生の推進】 外国人市民や多様な文化への理解が深まっていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください	
29【文化・芸術の振興】 市の文化や歴史・芸術が大切にされていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください	
30【公共交通の推進】 市内の公共交通機関は使いやすいですか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください	
美しい風景が残る	31【住宅地の整備】 市内に快適な住環境が整備されていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください

美しい風景が残るまちをつくる	32【良好な景観の形成】 景観やまちなみが美しいと感じますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
	33【公園の整備】 身近な公園がきちんと整備されていると感じますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
	34【河川の整備】 河川空間が安心できる憩いの場になっていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
35【環境保全】 自然環境が保全され、まちの空気や水はきれいになっていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください	
36【ごみの減量、省エネ、リサイクル対策】 ごみ減量や省エネルギー対策、リサイクル活動が活発に行われていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください	
市役所の経営方針	37【行政サービスの向上】 市の職員の対応は、明るく親切ですか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
	38【健全な行財政運営】 無駄がなく、税金が有効に使われていますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください
39【周辺市町村との連携】 周辺市町村との連携によって地域の価値が高まっていると感じますか？	5	4	3	2	1	上のような採点をした理由について、ご意見があればお書きください	

情報化について

情報化社会の進展にともない、私たち市民生活も大きく変化する中、情報の収集手段も多様化しています。下記の質問に対して、該当する項目の数字を○で囲んでください。

問18 日ごろ市の情報をどのように収集していますか。(○は2つまで)

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1 広報紙 | 6 市職員から |
| 2 インターネット（市ホームページ） | 7 家族から |
| 3 ケーブルテレビ | 8 自治会やご近所などの集まり |
| 4 すぐメールみのかも | 9 ラジオ |
| 5 新聞 | 10 その他（ ） |

問19 インターネットを利用していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 利用している | 2 利用していない |
|----------|-----------|

問19-1 問19で、「1 利用している」を選んだ方にお聞きします。

インターネットをどのような目的で利用していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 ホームページの閲覧（情報収集） | 7 ホームトレードやネットバン |
| 2 ホームページの作成（情報発信） | キング |
| 3 ショッピング、オークション | 8 その他 |
| 4 I P 電話 | （ ） |
| 5 ブログ、フェイスブックなどの作成や閲覧 | |
| 6 ゲーム、音楽、ソフトウェアのダウンロードなど | |

問19-2 問19で、「1 利用している」を選んだ方にお聞きします。

現在、ご家庭でのインターネット回線はどの回線を利用していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1 光ファイバー | 5 イー・モバイル |
| 2 ケーブルインターネット | 6 携帯電話、スマートフォン |
| 3 ADSL | 7 その他 |
| 4 I SDN、アナログ回線 | （ ） |

問20 今後、インターネットを利用したどのような行政サービスを期待しますか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1 公共施設の予約 | 6 住民票の発行など交付申請 |
| 2 図書館の貸出予約・蔵書検索 | 7 税金の申告手続き |
| 3 議会中継 | 8 各種許可などの申請・更新手続き |
| 4 防災や防犯など安心安全情報 | 9 各種講座・イベント等申込み手続き |
| 5 行政情報の公開や意見募集 | 10 その他（ ） |

外国人市民との共生について

美濃加茂市には、市の総人口の約9%にあたる4,860人あまりの外国人市民が生活しています。
下記の質問に対して、該当する項目の数字を○で囲んでください。

問21 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--------|
| 1 言葉の意味を知っている | 3 知らない |
| 2 聞いたことはあるが、意味はよくわからない | |

※「多文化共生」とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと(総務省)」を意味します。

問22 あなたは、外国人市民とどの程度のお付き合いがありますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 親しく付き合っている人がいる | 4 まったく言葉を交わさない |
| 2 時々話をする程度の人がある | 5 周囲に外国人がいない |
| 3 あいさつをする程度の人がある | |

問23 あなたは、隣近所に外国人市民が増えることについてどう思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 よいことだと思う | 4 不安である |
| 2 時代の流れだと受け入れている | 5 その他 () |
| 3 特に何も思わない | |

問24 とともに暮らしやすい社会を築くために、あなたは外国人市民にどのようなことを期待しますか。
(○は2つまで)

- | | |
|--------------------------|--|
| 1 日本の法律、生活ルールや習慣を守ってほしい | |
| 2 日本語や日本の文化を学んでほしい | |
| 3 外国の言葉や文化を教えてほしい | |
| 4 地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい | |
| 5 その他 () | |

問25 とともに暮らしやすい社会を築くために、日本人住民としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は2つまで)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 生活習慣や文化などの相互理解を深める | |
| 2 地域のルールなどを情報提供する | |
| 3 あいさつや日常生活をする | |
| 4 地域の行事やイベントなどに外国人が参加しやすい環境づくりに努める | |
| 5 外国語を理解できるように努める | |
| 6 その他 () | |

住宅の耐震化について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では多くの尊い命が奪われました。地震による人的被害を減少させるためには、建物の耐震化を促進することも大切です。

下記の質問に対して、該当する項目の数字を○で囲んでください。

問26 建築物における最低限度の耐震能力の基準を引き上げた、新しい耐震基準が実施されたのは昭和56年です。その、新耐震基準以前に建てられた建築物は、大地震が発生した場合、被害が大きくなる可能性が高いことを知っていますか。

- 1 知っている 2 知らない

問27 市が昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅を対象に、建物の無料耐震診断を行っていることを知っていますか。

- 1 知っている 2 知らない

問28 市が昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅で一定の要件を満たした住宅を対象に、耐震補強工事に必要な費用に対して、助成を行っていることを知っていますか。

- 1 知っている 2 知らない

問28-1 問27、問28のいずれかで、「1 知っている」を選んだ方にお聞きします。
情報をどのように知りましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------|
| 1 広報紙 | 5 建築業者 |
| 2 新聞 | 6 人から聞いた |
| 3 インターネット（市ホームページ） | 7 その他 |
| 4 市職員の訪問 | （ ） |

問29 住まいの耐震対策について知りたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 改修補助制度の内容
- 2 改修工事の依頼先
- 3 改修工事の費用の目安
- 4 改修工事の内容
- 5 地震に対して安全な住宅の情報
- 6 耐震改修を行った住宅の事例
- 7 リフォームの際にできる耐震対策
- 8 日ごろからできる地震対策
- 9 その他（ ）
- 10 特になし

「文化の森」について

「文化の森」は、ミュージアム（博物館・美術館）と教育センターの機能を合わせ持つ施設として、地域の教育文化活動の拠点になることをめざしています。

下記の質問に対して、該当する項目の数字を○で囲んでください。

問30 あなたは、「文化の森」を利用したことがありますか。（○はいくつでも）

- 1 常設展・民具展示館
- 2 企画・特別展、ミュージアムフォーラム・ミュージアムトーク・フォレストくらぶ等
- 3 学校活用
- 4 教育センター（相談等）
- 5 貸館（緑のホール・会議室・研修室・工芸室・陶芸室等）
- 6 講座（アートな1日講座・四季を食べる講座・くらし体験講座・夏休み子ども講座等）
- 7 ミュージアムイベント（森のコンサート・森の朗読会等）
- 8 ボランティア活動（生活体験・学習・伝承料理ボランティア等）
- 9 文化財の調査、資料・作品の貸し出し
- 10 その他（）
- 11 利用したことはない

問30-1 問30で、「11 利用したことはない」を選んだ方にお聞きます。

利用したことがない理由は何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 交通が不便だから | 7 あまり関心がないから |
| 2 魅力ある展覧会や講座等が少ないから | 8 その他 |
| 3 時間がなかなかとれないから | （ ） |
| 4 夜間に展覧会や講座等が行われないから | 9 わからない |
| 5 同好の仲間がいないから | 10 文化の森を知らない |
| 6 展覧会や講座等の情報が入手できないから | |

問31 「文化の森」での教育文化活動を、もっと活発にするために、市に対して要望することは何ですか。（○はいくつでも）

- 1 施設を整備・充実させる
- 2 展覧会の観覧料や講座の受講料を安くする
- 3 学芸員等職員の資質を向上させる
- 4 展覧会や講座等の内容を見直す
- 5 子どもたちが参加・体験できる講座等を充実させる
- 6 市民が企画する講座やイベントを行いやすくする
- 7 文化財の保護を充実させる
- 8 「文化の森」での情報を広く提供する
- 9 その他（）
- 10 わからない

文化会館について

「文化会館」では、各種コンサートをはじめダンスフェスタ・バンドフェスタ、文芸祭・書き初め展や市民演劇など文化芸術に関する事業を行っています。

下記の質問に対して、該当する項目の数字を○で囲んでください。

問32 あなたは、平成23年4月から現在までに、文化会館で各種公演や作品を直接鑑賞したことがありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------|------|-------------|
| 1 音楽 | 4 映画 | 7 その他 |
| 2 演劇・演芸 | 5 美術 | () |
| 3 舞踊・ダンス | 6 文芸 | 8 鑑賞したことはない |

問32-1 問32で、「8 鑑賞したことはない」を選んだ方にお聞きます。
鑑賞したことがない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1 入場料・交通費など費用がかかり過ぎるから | |
| 2 魅力ある公演や展覧会などが少ないから | |
| 3 時間がなかなかとれないから | |
| 4 自分が行きたい時間帯に公演や展覧会などが行われなかったから | |
| 5 同好の仲間がいないから | |
| 6 公演や展覧会などの情報が入手できないから | |
| 7 あまり関心がないから | |
| 8 その他(具体的に | () |
| 9 わからない | 10 文化会館を知らない |

問33 あなたが、今後文化会館で鑑賞したいと思うものはありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------|------|----------|
| 1 音楽 | 4 映画 | 7 その他() |
| 2 演劇・演芸 | 5 美術 | 8 特にない |
| 3 舞踊・ダンス | 6 文芸 | 9 わからない |

問33-1 問33で、「1 音楽」を選んだ方にお聞きます。
具体的にどのようなジャンルの音楽を鑑賞したいですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|-------|
| 1 クラシック | 3 ポップス | 5 その他 |
| 2 ジャズ | 4 歌謡曲(演歌) | () |

問34 あなたが、今後文化会館を利用して活動したいと思うものはありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------|--------|----------|
| 1 音楽 | 4 美術 | 7 その他() |
| 2 演劇・演芸 | 5 文芸 | 8 特にない |
| 3 舞踊・ダンス | 6 生活文化 | 9 わからない |

※質問は以上です。

※この回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、封をして、切手を貼らずに、

3月21日（水）までにポストに投函してください。

※ご協力、誠にありがとうございました。

（なお、アンケート用紙の表紙の依頼文につきましては、経費節減のため、裏面をアンケート記入に使用している関係で、回収させていただきますのでご理解をいただきますようお願いいたします。）

2. 平成 20 年度調査との対応表

平成 23 年度指標	平成 20 年度指標	平成 20 年度 報告書ページ数
1 市の情報の発信	市の情報の発信	22
2 市政への市民意見の反映	市政への市民意見の反映	22
3 生涯学習の推進	生涯学習の推進	16
4 スポーツ活動の推進	スポーツ活動の推進	16
5 市民と市で協働のまちづくり	公民協働のまちづくり	22
6 市民の自治意識の高揚	市民の自治意識の高揚	22
7 美濃加茂ブランドの創造		-
8 労働環境の整備	労働環境の整備	17
9 商業の振興	商業の振興	17
10 工業の振興	工業の振興	17
11 市街地の整備	市街地の整備	19
12 農林業の振興	農林業の振興	17
13 観光の振興	観光の振興	17
14 防災対策	防災対策	20
15 消防・救急体制の整備	消防・救急体制の整備	20
16 防犯体制の整備	防犯体制の整備	20
17 交通安全の推進	交通安全の推進	20
18 健康づくりの推進	健康づくりの推進	14
19 医療体制の整備	医療体制の整備	14
20 障がい者福祉の推進	障がい者福祉の推進	14
21 介護・高齢者福祉の推進	介護・高齢者福祉の推進	14
22 市民福祉の推進	市民福祉の推進	14
23 地域福祉の推進	地域福祉の推進	14
24 母子保健の推進	母子保健の推進	14
25 子育て支援の推進	子育て支援の推進	14
26 学校教育の充実	学校教育の充実	16
27 青少年の健全育成	青少年の健全育成	16
28 多文化共生の推進	多文化共生の推進	20
29 文化・芸術の振興	文化・芸術の振興	16
30 公共交通の推進	公共交通の推進	20
31 住宅地の整備	住宅地の整備	19
32 良好な景観の形成	良好な景観の形成	19
33 公園の整備	公園の整備	19
34 河川の整備	河川の整備	19
35 環境保全	環境保全	17
36 ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	17
37 行政サービスの向上	行政サービスの向上	22
38 健全な行財政運営	健全な行財政運営	22
39 周辺市町村との連携		-

平成 23 年度 美濃加茂市第 5 次総合計画意識調査
報告書

発行 美濃加茂市 経営企画部 市政情報課

〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町 3431-1

TEL : 0574-25-2111

FAX : 0574-25-3917

E-mail : kouhou@city.minokamo.lg.jp